DocuPrint 405/505
ユーザーズガイド

「Adobe」「Adobe ロゴ」「PostScript」「PostScript 3」「PostScript ロゴ」は、
Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の登録商標または商標です。
「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。
「HP」「HP-GL」「HP-GL/2」「HP-UX」は、日本ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
「NetWare」は、Novell, Inc. の登録商標です。
「Macintosh」「漢字 Talk」「MacOS」「AppleTalk」「EtherTalk」「TrueType」は、
Apple Computer, Inc. の登録商標です。
「Intel」「Pentium」は Intel Corporation の商標または登録商標です。
「UNIX」は、X/OPEN Company Ltd. がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
「Solaris」「SunOS」「NIS (Network Information Services)」は、
米国サンマイクロシステムズの商標または登録商標です。
本製品は、RSA Security Inc. の RSA BSAFE Crypto-C を搭載しております。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国
およびその他の国における登録商標です。RSA Security Inc. All rights reserved.
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。
ライセンスについては、「ライセンスについて」に記載してあります。

平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

弊社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

DocuPrint 405/505 は、財団法人日本環境協会エコマーク事務局認定・エコマーク商品類型 No.122「プリンタ」商品です。（認定番号：第 04122008 号）。本機は、省エネルギー、部品の再使用の推進・再資源化、および有害物質の排除を実現することによって、エコマーク認定基準に適合した、ライフサイクルを通して環境に配慮したプリンターです。

ハードディスクドライブのデータ消失

外部からの衝撃やユーザーマニュアルなどに記載された方法に従わない電源の遮断などの理由によって、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスに関連する被害

コンピューターウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

[XEROX] [The Document Company] [Ethernet（イーサネット）] [ContentsBridge] [PDF Bridge] は登録商標です。
[DocuWorks] [CentreWare] は商標です。

はじめに

このたびは DocuPrint 405/505 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、本機で印刷するための準備、操作方法、および使用上の注意事項などについて記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
本書は、読んだあとも必ず保管してください。本書で使用しているイラストは、DocuPrint 505（両面印刷ユニット・インターフェイスユニット標準装備）を例に記載しています。
本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラスⅠのレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。取扱説明書に書かれた以外の操作は行なわないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。
また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。
このような活動の一環として、DocuPrint 405/505 にも、弊社の品質基準に適合したリサイクル・パーツを使用しております。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。

・ 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・ 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は JIS C 61000_3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

   注記　　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

   補足　　補足事項を記述しています。

   参照　　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。

   参照「　　　」：参照先は、本書内です。

   参照『　　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

   [　　　]　　：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

   〈　　　〉　　：キーボード上のキーや、プリンターのハードウエアボタン、ランプなどを表します。

こんなときには、このマニュアルを参照してください

本機に同梱されているマニュアルと記載内容

	セットアップ＆クイックリファレンスガイド	本機の設置手順、用紙のセット方法、困ったときの対処方法などを説明しています。 「セットアップ＆クイックリファレンスガイド目次」を参照してください。
	CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバーおよび弊社ソフトウエアのインストール方法を説明しています。
	CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ	CentreWare Internet Services の項目や各機能の設定方法を説明しています。
	プリンタードライバーのオンラインヘルプ	プリンタードライバーの項目や各機能の設定方法を説明しています。
	ユーザーズガイド（PDF）	印刷設定の説明や、操作パネルのメニュー項目、日常管理について、詳しく説明しています。 （このマニュアルは、マニュアル CD-ROM 内に格納されています。）
	各エミュレーション設定ガイド（PDF）	ART IV、ESC/P、201H、HP-GL、HP-GL/2、PCL の各エミュレーションについて説明しています。 （このマニュアルは、マニュアル CD-ROM 内に格納されています。）

オプション製品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

PostScript Driver Library CD-ROM 内のマニュアル（PDF）	PostScript®プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 （PostScript Driver Library CD-ROM は、PostScript ソフトウエアキットに同梱されています。）
設置手順書	各オプション製品の設置手順を説明しています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足

・ PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Acrobat® Reader がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、CentreWare の CD-ROM を使って、まず Acrobat Reader をインストールしてください。

目次

セットアップ＆クイックリファレンスガイド目次（参考）

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

低電力モードについて

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能をもっています。工場出荷時の設定では 15 分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に定着部の温度を下げて、消費電力を節約するようになっています。
この設定は、2 ～ 240 分の間で 1 分刻みに設定できます。操作の詳細については、本書の「機械管理者メニュー」（P. 80）を参照してください。

補足
・ 本機では、低電力モードよりさらに消費電力を節約するスリープモードを用意しています。

ライセンスについて

OpenSSL について

Copyright (c)1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay について

Copyright (c)1995 — 1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING, NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
    - ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
    - ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
    - ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
    - ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
    - ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
    - ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
    - ❑ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

    (1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

    (2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

    (3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

    権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

    - ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
    - ❑ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
    - ❑ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
    - ❑ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
    - ❑ 学校教科書への掲載。
ただし、権利者への補償金が必要です。
    - ❑ 学校その他教育機関における複製。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
    - ❑ 試験問題としての複製。
ただし、権利者への補償金が必要です。

1 プリンターの基本操作

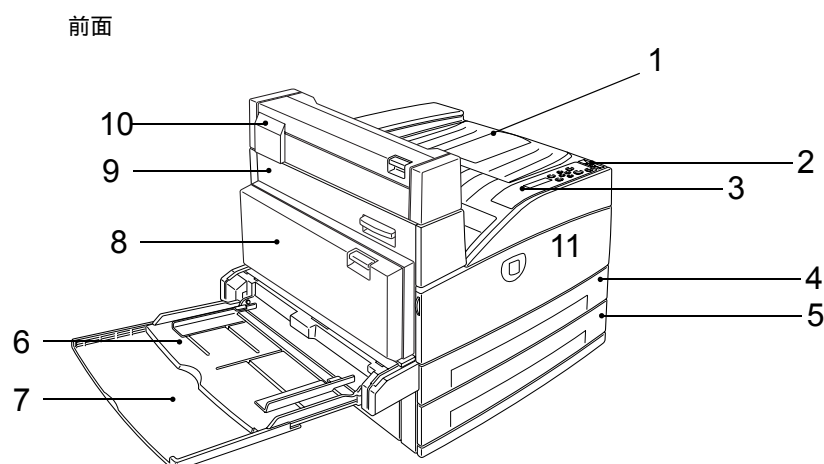
1.1 各部の名称と働き

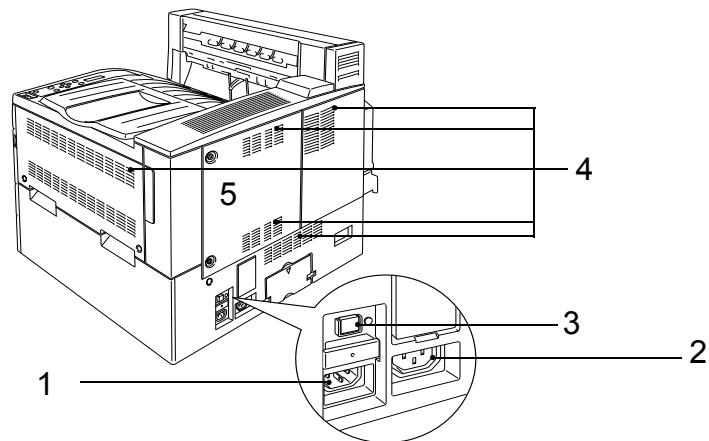
プリンター本体

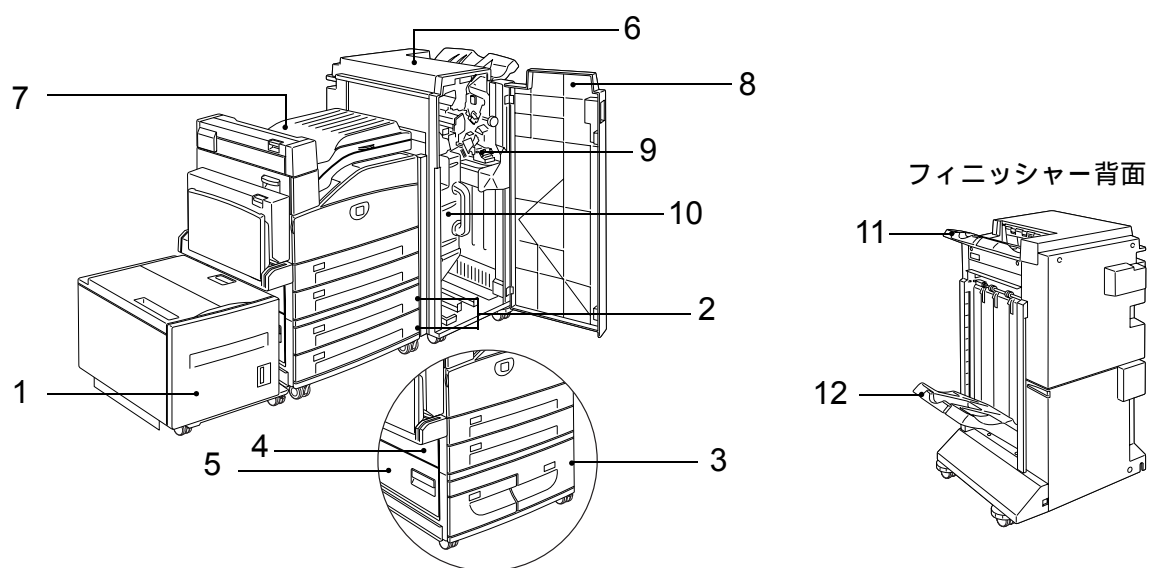
標準構成時　DocuPrint 505 の場合

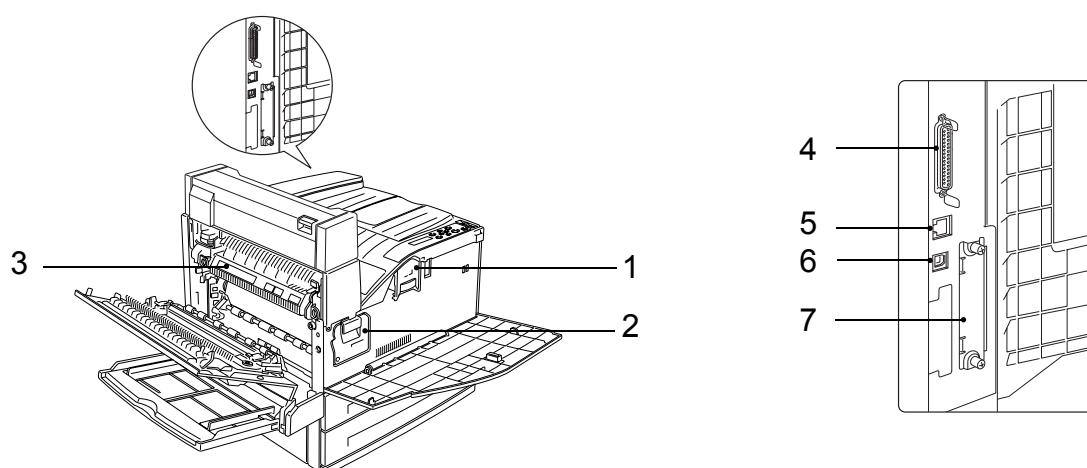
補足

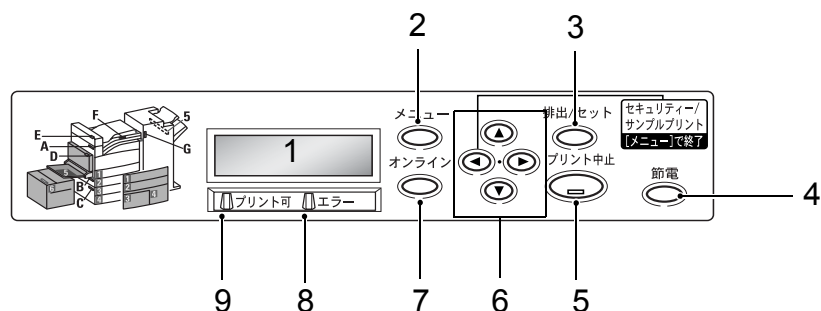
・ 下記の図は、DocuPrint 505 を例にしています。DocuPrint 405 の場合、「8 両面印刷ユニット」と「10 インターフェイスユニット」はオプションになります。

前面

No.	名称	説明
1	センタートレイ	印刷された用紙がおもて面を下にして排出されます。
2	電源スイッチ	電源を入 / 切するスイッチです。〈	〉の側に押すと電源が入り、〈○〉の側に押すと電源が切れます。
3	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。
4	用紙トレイ 1	500 枚トレイがセットされています。
5	用紙トレイ 2	500 枚トレイがセットされています。
6	手差しトレイ （用紙トレイ 5）	はがきや封筒などを印刷するときに使用します。
7	延長トレイ	手差しトレイより長い用紙をセットするときに引き出して使用します。
8	両面印刷ユニット （カバー D）	両面印刷が可能になります。両面印刷ユニット内で用紙が詰まったときは、カバー D と表示されます。DocuPrint 405 の場合はオプションです。
9	カバー A	紙づまりなどのときに開けます。
10	インターフェイスユニット（カバー E）	両面印刷時に用紙を裏返すときに使います。インターフェイスユニット内で用紙が詰まったときは、カバー E と表示されます。DocuPrint 405 の場合はオプションです。
11	フロントカバー	ドラムカートリッジやトナーカートリッジの交換のときに開けます。

背面

No.	名称	説明
1	電源コードコネクター	電源コードを差し込みます。
2	オプション用電源コードコネクター	フィニッシャーの電源コードを差し込みます。
3	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に解除されて電源を切ります。通常は操作しません。
4	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。
5	プリンターオプション用カバー	内蔵増設ハードディスクや増設メモリーなどのオプション製品を取り付けるときに外します。

オプション装着時

No.	名称	説明
1	大容量給紙キャビネット（外付け） （用紙トレイ 6）	2,000 枚の大量の用紙がセットできるキャビネットです。
2	2 トレイモジュール （用紙トレイ 3、4）	500 枚トレイが 2 段セットされています。
3	大容量給紙トレイ （用紙トレイ 3、4）	800 枚トレイと 1,200 枚トレイがセットされています。異なる種類の用紙を大量にセットできます。
4	カバー B	用紙トレイ 1、2 の左側面のカバーです。用紙が詰まったときに開けます。
5	カバー C	用紙トレイ 3、4 の左側面のカバーです。用紙が詰まったときに開けます。（この図では大容量給紙トレイを例にしていますが、2 トレイモジュールの場合も同じ場所にカバー C があります。）
6	フィニッシャー	ホチキス留めしたりやパンチ穴を開けて、指定したトレイに排出できます。
7	フィニッシャー接続部 （カバー F）	プリンターから排出された用紙をフィニッシャーへ送る経路です。フィニッシャー接続部を装着後は、フィニッシャー接続部上部がセンタートレイになります。フィニッシャー接続部内で用紙が詰まったときは、カバー F と表示されます。
8	フィニッシャーフロントカバー （カバー G）	ホチキスカートリッジの交換やパンチ穴のクズの廃棄、フィニッシャー内で用紙が詰まったときに開けます。フィニッシャー内部で用紙が詰まったときは、カバー G と表示されます。
9	ホチキスカートリッジ	ホチキス針をセットします。
10	パンチダストボックス	フィニッシャーであけたパンチ穴のクズが排出されます。
11	排出トレイ	フィニッシャーで処理された用紙がおもて面を下にして排出されます。最大 500 枚まで排出できます。
12	フィニッシャートレイ	フィニッシャーから大量の用紙を排出するときに使用します。用紙がおもて面を下にして排出されます。最大 3,000 枚まで排出できます。

内部図

No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	トナーが入っています。
2	ドラムカートリッジ	トナーを転写するための感光体（ドラム）です。
3	定着ユニット	用紙にトナーを定着させます。プリンター使用時には高温になっていますので、手を触れないように注意してください。
4	パラレルコネクター	パラレルケーブルを差し込みます。
5	ネットワークコネクター	本機をネットワークに接続して使用するときに、ネットワークケーブルを差し込みます。
6	USB コネクター	USB1.1 を使用するときに、USB ケーブルを差し込みます。
7	オプションカバー	USB2.0 を使用するときに、外します。

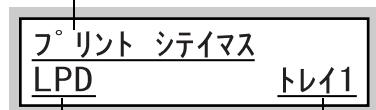
操作パネル

No.	名称	説明
1	LCD ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどを表示します。 参照 ・「ディスプレイの表示について」(P. 17)
2	〈メニュー〉ボタン	メニュー操作に移行します。
3	〈排出 / セット〉ボタン	メニューの候補値の設定を行います。レポート / リストを印刷するときにも使用します。
4	〈節電〉ボタン / ランプ	節電中に押すと節電状態を解除し、節電していないときに押すと節電状態になります。また、節電中はランプが点灯します。
5	〈プリント中止〉ボタン	印刷を中止します。
6	〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタン	ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値間を移行します。また、セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリントをするときや、受信メールを手動で確認し印刷するときは、〈◀〉ボタンを押します。 補足 ・〈▲〉〈▼〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押しつづけると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。
7	〈オンライン〉ボタン	〈オンライン〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、データの受信や印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態(コンピューターからのデータ受信が可能な状態)に移行します。
8	〈エラー〉ランプ	ランプで本機の異常を表します。
9	〈プリント可〉ランプ	点灯中は、コンピューターからのデータを受信できる状態です。

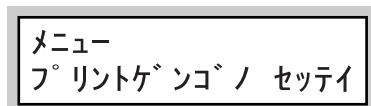
ディスプレイの表示について

本機の状態を表す「プリント画面」と、本機に関する設定をするための「メニュー画面」があります。

補足
・ 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって表示されるメッセージは異なります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っているときは、ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面では、次のような内容が表示されます。

メニュー画面

本機に関する設定をする画面です。
メニュー画面は、〈メニュー〉ボタンを押して表示します。最初のメニュー画面は、次の画面が表示されます。

参照
・ メニュー画面で設定できる項目：「4 操作パネルの設定」(P. 71)

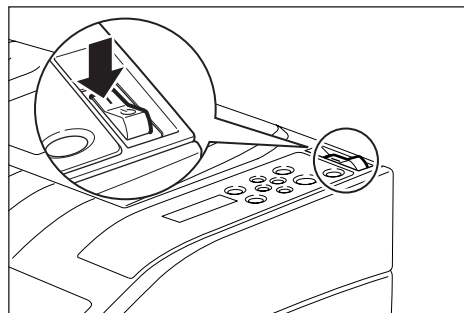
1.2 電源を入れる / 切る

電源を入れる

1. プリンターの電源スイッチの〈｜〉側を押します。

補足

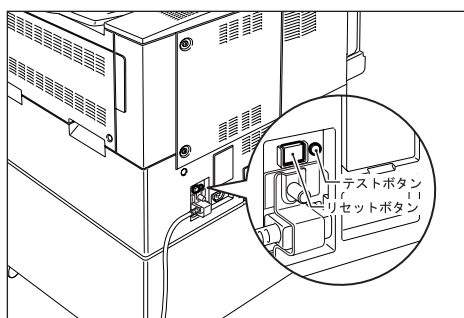
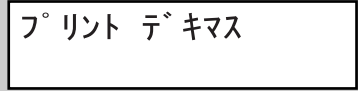
・電源スイッチの〈｜〉側には、電源投入側を示す突起があります。

2. 電源を入れると、操作パネルのディスプレイに「オマチクダサイ」と表示されます。この表示が「プリントデキマス」になることを確認します。

補足

・「オマチクダサイ」の表示になっているときは、本機がウオームアップ中です。この間は、印刷できません。電源を入れてから 45 秒以下（室温 22°C）で操作できる状態になり、表示が「プリントデキマス」に変わります。

・電源が入らない場合は、リセットボタンがリセット状態（ボタンが押し込まれている）になっていることを確認します。

注記

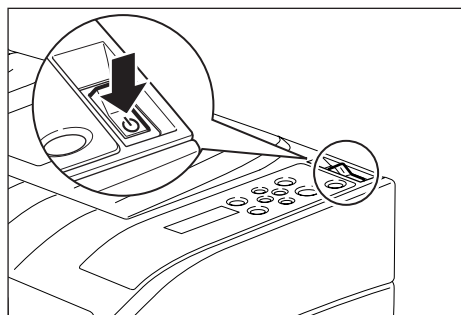
・エラーメッセージが表示された場合には、「メッセージ一覧（50 音順）」（P. 144）を参照して対処をしてください。

電源を切る

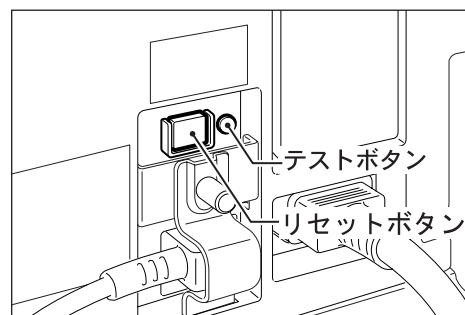
注記

- 印刷中は本機の電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- 電源を切ると、本機内に残っている印刷データや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
- オプションの内蔵増設ハードディスクを装備している場合、電源を切るときには、内蔵増設ハードディスクがアクセス中でないことを確認してから行ってください。アクセス中に電源を切ると、内蔵増設ハードディスクを破損するおそれがあります。

1.　操作パネルのディスプレイ表示などで、プリンターが処理中でないことを確認します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

2.　プリンターの電源スイッチの〈⏻〉側を押し、電源を切ります。

1.3　ブレーカーについて

本機には漏電ブレーカーが付いています。
機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して、漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。
リセットボタンは通常、右図のように押し込まれた状態にしておきます。本機を長期間使わないときや移動する場合は、ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押して、押し込まれていたリセットボタンを解除してください。

注記

・テストボタンを押す場合は、電源が切れた状態になっていることを確認してから行ってください。電源が切れた状態になっていないと、オプションの内蔵増設ハードディスクを装備している場合、内蔵増設ハードディスクが破損するおそれがあります。

1 か月に 1 度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり感電の原因になるおそれがあります。
漏電ブレーカーに異常などがある場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

補足

・リセットボタンは、漏電を検知すると自動的に電源を切ります。通常は操作しないでください。
・押し込まれていたリセットボタンを解除するときは、電源スイッチが切れていることを確認してください。

参照

・ブレーカーの動作点検については、「電源およびアース接続時の注意」(P.22) を参照してください。

1.4　節電状態を解除する

本機は、待機しているときの電力の消費を抑えるために、低電力モードとスリープモードの 2 つのモードを備えています。
工場出荷時は、15 分間印刷データを受信しないと、低電力モードに移行し、さらに 15 分間データを受信しないと（最後のデータ受信から 30 分間経過すると）スリープモードに移行する設定になっています。低電力 / スリープモードに移行するかどうか、および移行する場合は低電力 / スリープモードに切り替わるまでの時間を、低電力モードは 2 ～ 240 分、スリープモードは 5 ～ 240 分の間で設定できます。スリープモード時の消費電力は、7W 以下で、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は、約 45 秒です。

補足

・低電力モードとスリープモードは、どちらかのモードのみを有効にすることもできます。
・低電力モードとスリープモードを両方とも無効に設定することはできません。
・低電力 / スリープモードの設定を変更する手順については、「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 74) を参照してください。
・低電力モードとスリープモードを、共に有効にしている場合は、スリープモードの設定が優先されます。たとえばスリープモード移行時間を 20 分、低電力モード移行時間を 45 分に設定している場合は、最後のデータ受信から 20 分後にスリープモードに移行し、さらに 25 分たっても低電力モードにはならず、スリープモードが継続したままになります。

節電を解除する

節電状態は、コンピューターからのデータを受信すると、自動的に解除されます。また、操作パネルの〈節電〉ボタンを押すと、手動で節電状態を解除できます。

1.5　印刷を中止する / 確認する

印刷を中止する

印刷を中止するには、プリンター側で印刷の指示を取り消す方法と、コンピューター側で印刷の指示を取り消す方法があります。

プリンターで印刷中 / 受信中の印刷データの印刷を中止する

操作パネルの〈プリント中止〉ボタンを押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

補足
・CentreWare Internet Services の［ジョブ］画面で、印刷を中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

プリンターに受信されているすべての印刷データの印刷を中止する

操作パネルで〈オンライン〉ボタンを押して、〈プリント可〉ランプが消えてから、〈プリント中止〉ボタンを押します。中止の処理が完了したら、再度〈オンライン〉ボタンを押します。

中止したい印刷データがコンピューター側で処理中の場合

Windows の場合は、画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
表示されたウィンドウから、中止したいドキュメント名をクリックし、削除（〈Delete〉キーを押す）します。

印刷指示したデータの状態を確認する

Windows での確認方法

画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
表示されたウィンドウから、［状態］を確認します。

CentreWare Internet Services を使用した確認方法について

CentreWare Internet Services の［ジョブ］画面で、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

参照
・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ

1.6 オプション製品の構成やトレイの用紙設定などを取得する

本機をネットワークプリンターとして使用している場合は、本機のオプション構成や操作パネルで設定したトレイに対する用紙種類や用紙サイズなどを、SNMP プロトコルを使ってプリンタードライバーに読み込むことができます。この設定は、[プリンタ構成] タブで行います。ここでは、Windows XP を例に説明します。

注記
- 本機をローカルプリンターとして使用している場合は、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。
- 用紙トレイのサイズや用紙種類は、操作パネルで設定しておく必要があります。ここで設定を変えても、プリンター本体には反映されません。

補足
- この機能を使用する場合は、操作パネルを使って、プリンター側の SNMP ポートを起動（初期値：[キドウ]）しておく必要があります。
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP では、管理者の権利があるユーザーの場合にだけ設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。

1. **［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

2. **［プリンタ構成］タブをクリックします。**

3. **［プリンタ本体から情報を取得］をクリックします。**

本機の情報が、プリンタードライバーに読み込まれます。

4. **［OK］をクリックします。**
本機から取得した情報に従って、［プリンタ構成］タブの内容が更新されます。

2 印刷する

2.1 コンピューターから印刷する

Windows® 環境のアプリケーションから印刷する場合の基本的な流れを説明します。（ご使用になるコンピューターやシステム構成によって、異なる場合があります。）

注記
・ 印刷中は、プリンターの電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから、［印刷］をクリックします。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、印刷を実行します。
本機のさまざまな印刷機能を使用するには、プリンターのプロパティダイアログボックスを表示して、必要な項目を設定します。各項目の説明や設定方法は、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

オンラインヘルプを表示するには

1. [?] をクリックして知りたい機能の項目をクリックします。
項目の説明が表示されます。

2. ［ヘルプ］をクリックします。
［ヘルプ］ウィンドウが表示されます。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利な印刷機能

- **［基本］タブ：両面印刷、まとめて 1 枚（N アップ）、とじしろ / 余白、小冊子作成 / 拡大連写 / 混在原稿 / 回転、セキュリティー / サンプル / 時刻指定**
- **［トレイ / 排出］タブ：OHP 合紙、オフセット排出、表紙付け、ホチキス、パンチ**
- **［スタンプ / フォーム］タブ：スタンプ、フォーム**

補足
・ 印刷機能は、［プリンタと FAX］（OS によっては［プリンタ］）ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
・ ホチキス、パンチは、フィニッシャー（オプション）を装着すると使用できます。

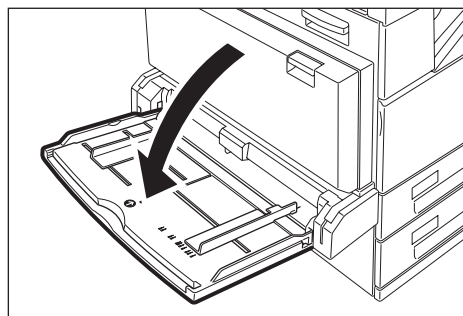
2.2　官製はがきに印刷する

官製はがきに印刷する方法を説明します。

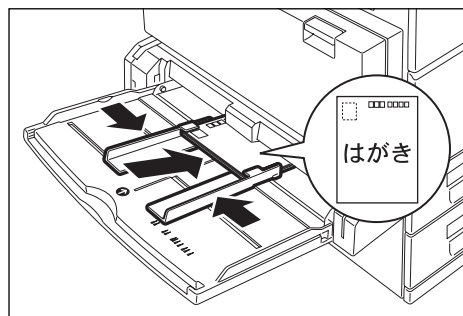
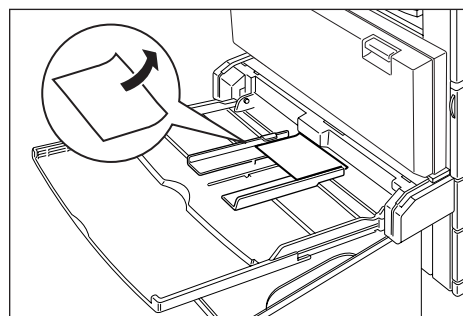
注記
- はがきは、手差しトレイにセットして印刷します。用紙トレイにはセットできません。
- 多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

官製はがきを手差しトレイにセットする

補足
- 手差しトレイに用紙をセットする詳しい手順については、「手差しトレイに用紙をセットする」（P. 62）を参照してください。

1.　手差しトレイを開けます。

2.　手差しトレイ中央に、印刷する面を下にして、はがきを図のようにセットします。

補足
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3.　サイドガイドを、官製はがきの目盛りに合わせます。

注記
- はがきなどの厚い紙にプリントする場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折れ目をつけてしまうと、紙づまりの原因になります。

官製はがきに印刷する

はがきに印刷する設定は、［トレイ / 排出］タブと［基本］タブを表示して行います。ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

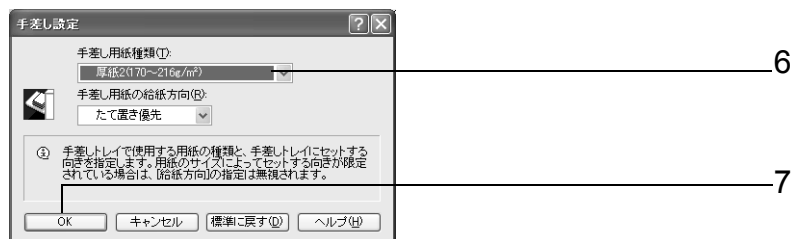
3. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4. ［用紙トレイ選択］から［トレイ 5（手差し）］を選択します。

5. ［手差し設定］をクリックします。

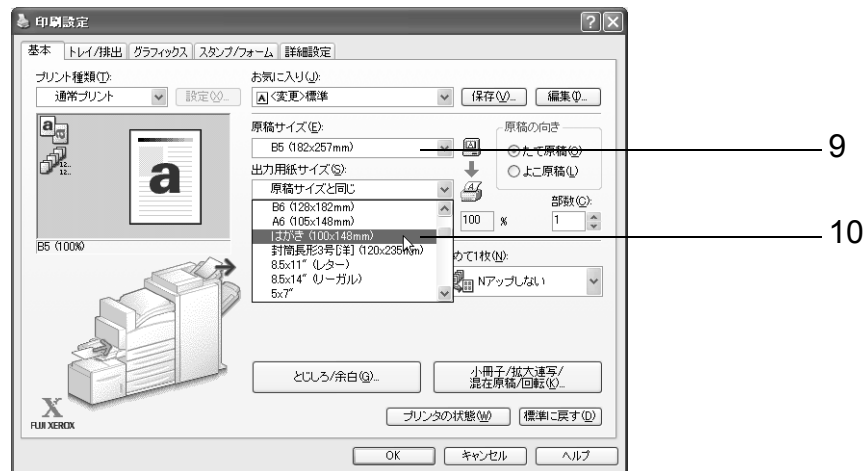
6. ［手差し用紙種類］から［厚紙 2(170 ～ 216g/m^2)］を選択します。

補足

・画面の［手差し用紙種類］では、［厚紙 2（170 ～ 216g/m^2)］と表示されますが、［厚紙 2（170 ～ 216g/m^2)］を選択した場合、190 ～ 215g/m^2 に設定されます。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブをクリックします。

9. ［原稿サイズ］から任意の原稿サイズを選択します。

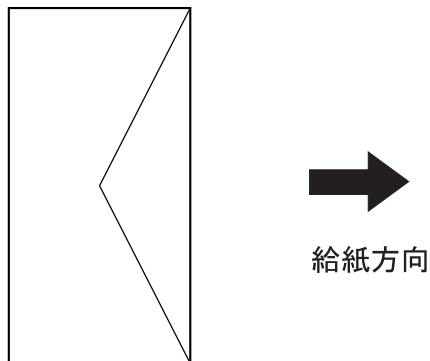
10.［出力用紙サイズ］から［はがき (100 × 148㎜)］を選択します。

11.［OK］をクリックします。

12.［印刷］ダイアログボックスで［OK］をクリックし、印刷を実行します。

2.3　封筒に印刷する

封筒に印刷する方法を説明します。使用できる封筒については、「使用できる用紙」(P. 58) を参照してください。

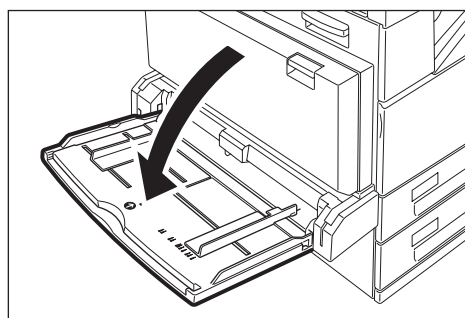
封筒をセットする

封筒は、フラップを閉じて、下の図の向きにセットする必要があります。

次に、封筒長形洋 3 号を例に、手差しトレイにセットする方法を説明します。

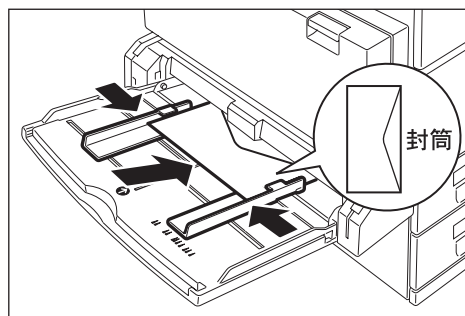
注記
- **印刷できるのは、封筒のおもて面（宛名の面）です。封筒のうら面（フラップを折り返している側）には、印刷できません。**

封筒を手差しトレイにセットする

補足
- **手差しトレイに用紙をセットする詳しい手順については、「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 62) を参照してください。**

1.　手差しトレイを開けます。

2.　手差しトレイ中央に、印刷する面を下にして、フラップが上側にくるように、封筒を図のようにセットします。

補足
- **用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。**

3.　サイドガイドを、封筒の目盛りに合わせます。

封筒に印刷する

封筒に印刷する設定は、［トレイ / 排出］タブと［基本］タブを表示して行います。ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足
・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4. ［用紙トレイ選択］から［トレイ 5（手差し）］を選択します。

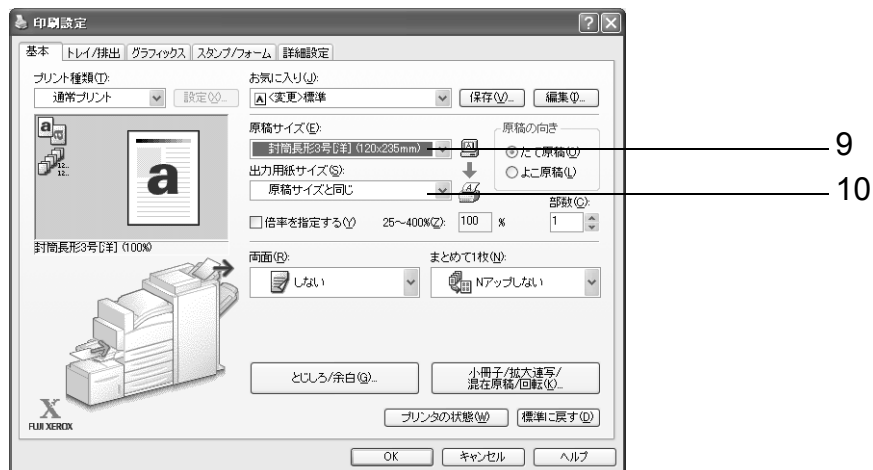
5. ［手差し設定］をクリックして［手差し設定］ダイアログボックスを表示します。

6. ［手差し用紙種類］から［厚紙 2(170 ～ 216g/m²)］を選択します。

補足
・ 画面の［手差し用紙種類］では、［厚紙 2（170 ～ 216g/m²)］と表示されますが、［厚紙 2（170 ～ 216g/m²)］を選択した場合、190 ～ 215g/m² に設定されます。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブをクリックします。

9. ［原稿サイズ］から任意の原稿サイズを選択します。

10．［出力用紙サイズ］から、封筒サイズを選択します。

11．必要に応じて、［小冊子 / 拡大連写 / 混在原稿 / 回転］をクリックして［原稿 180° 回転］を設定し、［OK］をクリックします。

12．［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

2.4　OHP フィルムに印刷する

OHP フィルムをセットする

OHP フィルムは、用紙トレイまたは手差しトレイにセットします。

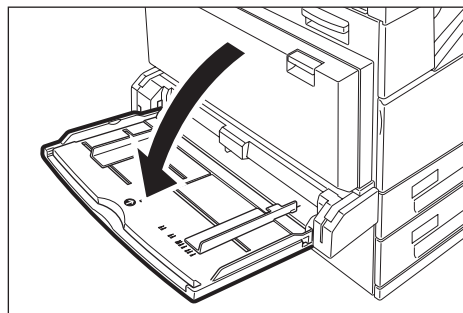
注記
- 白い枠付きの OHP フィルム、フルカラー用 OHP フィルムは、使用できません。
- OHP フィルムを 20 枚以上印刷する場合は、20 枚ごとに OHP 合紙をご使用ください。OHP 合紙を使用するには、「OHP フィルムに印刷する」（P. 31）の手順 4 の画面で、［OHP 合紙］を選択します。詳しくは、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

OHP フィルムを用紙トレイにセットする

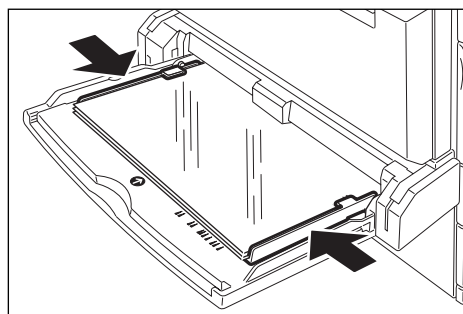
用紙トレイに OHP フィルムをセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。「3.2 用紙をセットする」（P. 62）を参照してセットしてください。
また、操作パネルで、トレイに対する用紙種類を［OHP フィルム］に設定する必要があります。
「3.3 用紙の種類を設定する」（P. 70）を参照して、設定を変更してください。

OHP フィルムを手差しトレイにセットする

補足
- 手差しトレイに用紙をセットする詳しい手順については、「手差しトレイに用紙をセットする」（P. 62）を参照してください。

1.　手差しトレイを開けます。

2.　OHP フィルムの印刷する面を上に向け、少量ずつよくさばいてからセットします。

補足
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3.　サイドガイドを、OHP フィルムのサイズに合わせます。

OHP フィルムに印刷する

OHP フィルムに印刷する設定は、［トレイ / 排出］タブと［基本］タブを表示して行います。ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

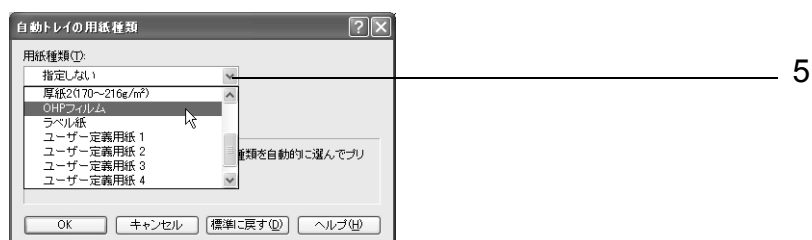
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。
- 連続して OHP フィルムに印刷すると、排出された OHP フィルムどうしが貼り付いてしまうおそれがあります。約 20 枚を目安にセンタートレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。

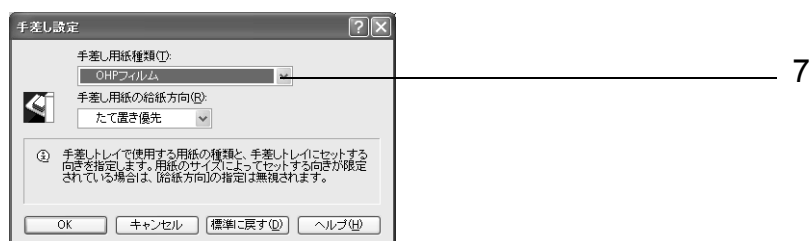
1. ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4. OHP フィルムを用紙トレイにセットした場合は、［用紙トレイ選択］からセットした用紙トレイを選択するか、［用紙トレイ選択］に［自動］を選択します。

5. 手順 4 で［用紙トレイ選択］に［自動］を選択した場合は、［自動トレイの用紙種類］をクリックして［自動トレイの用紙種類］ダイアログボックスを表示し、［OHP フィルム］を選択します。

6. OHP フィルムを手差しトレイにセットした場合は、[用紙トレイ選択] から [トレイ 5（手差し）] を選択します。

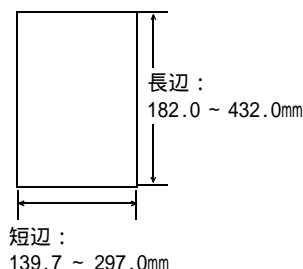
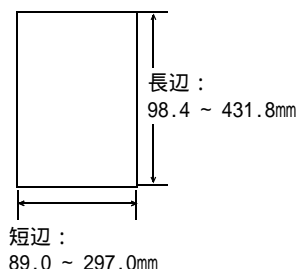
7. 手順 6 で [用紙トレイ選択] に [トレイ 5（手差し）] を選択した場合は、[手差し設定] をクリックして [手差し設定] ダイアログボックスを表示し、[手差し用紙種類] から [OHP フィルム] を選択します。その際、必要に応じて、[手差し用紙の給紙方向] を変更し、[OK] をクリックします。

8. [基本] タブをクリックします。

9. [原稿サイズ] から任意の原稿サイズを選択します。

10. [出力用紙サイズ] から、OHP フィルムのサイズを選択し、[OK] をクリックします。

11. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

2.5　ユーザー定義の用紙に印刷する

ユーザー定義サイズの用紙に印刷する方法について説明します。
ユーザー定義サイズの用紙は、用紙トレイ 1 〜 4、手差しトレイ（用紙トレイ 5）にセットできます。
本機で設定できる用紙サイズは、次のとおりです。

ユーザー定義用紙をセットする

ユーザー定義用紙のセットは、通常の用紙と同じです。セット方法については、「3.2 用紙をセットする」(P. 62) を参照してください。

プリンタードライバーでユーザー定義サイズを設定する

印刷をする前に、プリンタードライバーでユーザー定義サイズを登録します。
ユーザー定義サイズの用紙を用紙トレイ 1 〜 4 にセットして印刷する場合は、操作パネルでの設定も必要です。操作パネルでの設定については、「 操作パネルでユーザー定義用紙のサイズを設定する」(P. 35) を参照してください。

注記
- 操作パネルで用紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する用紙のサイズと同じにしてください。用紙と異なるサイズを設定して印刷すると、機械の故障の原因になることがあります。とくに幅の狭い用紙の場合、実際の用紙よりも大きいサイズが設定されていると、故障の原因になります。
- 用紙サイズは小数点以下も対応できますが、操作パネルで設定するときは、小数点以下は設定できません。

プリンタードライバーでのユーザー定義用紙の登録は、［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスで行います。ここでは、Windows XP を例に説明します。

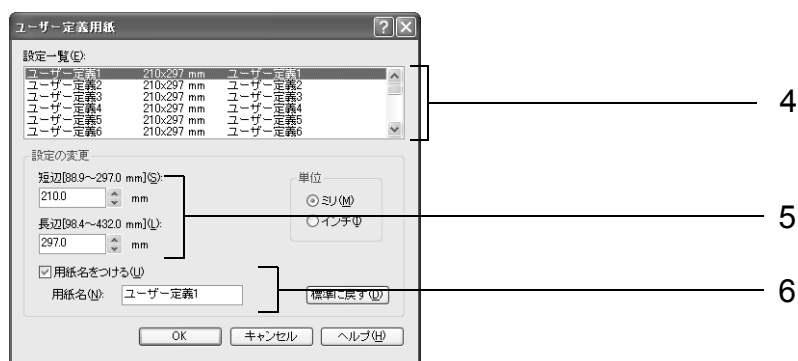
補足
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP では、管理者の権利があるユーザーの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の場合、［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスの設定は、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、コンピューター上のほかのプリンターの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンターでも、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、ほかのコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターの設定には影響しません。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2. ［初期設定］タブをクリックします。

3. ［ユーザー定義用紙］をクリックします。

［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［設定一覧］リストボックスから、設定するユーザー定義を選択します。

5. ［設定の変更］で、短辺と長辺の長さを指定します。
キー入力、または［▲］［▼］で指定します。
短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

6. 用紙名をつける場合は、[用紙名をつける]にチェックを付け、[用紙名]に入力します。
用紙名の最大文字数は半角で 14 文字、全角で 7 文字です。

7. 必要に応じて、手順 4 ～ 6 を繰り返して、用紙サイズを定義します。

8. ［OK］をクリックします。

補足
・ 用紙トレイ 1 ～ 4 に対し、操作パネルでユーザー定義サイズを設定した場合は、［プリンタ構成］タブで［プリンタ本体から情報を取得］をクリックすると、本機の設定が、プリンタードライバーに読み込まれます。

参照
・「1.6 オプション製品の構成やトレイの用紙設定などを取得する」（P. 22）

9. ［OK］をクリックします。

操作パネルでユーザー定義用紙のサイズを設定する

ユーザー定義サイズの用紙に印刷するときは、プリンタードライバーで用紙のサイズを登録しますが、ユーザー定義サイズの用紙を用紙トレイ 1 〜 4 にセットして印刷する場合は、操作パネルでの設定も必要です。
ここでは、操作パネルでの設定の仕方を説明します。
プリンタードライバーでの登録の仕方については、「プリンタードライバーでユーザー定義サイズを設定する」(P. 33) を参照してください。

注記
・ プリンタードライバーおよび操作パネルで用紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する用紙のサイズと同じくしてください。用紙と異なるサイズを設定して印刷すると、機械の故障の原因になることがあります。とくに幅の狭い用紙の場合、実際の用紙よりも大きいサイズが設定されていると、故障の原因になります。

補足
・ ユーザー定義サイズの用紙をセットできるのは、用紙トレイ 1 〜 4 と手差しトレイ(トレイ 5)のみです。
・ ユーザー定義サイズから定形用紙サイズの設定に戻す場合は、下記の手順 6 で[ジドウ]を選択してください。セットした用紙のサイズと向きを、本機が自動的に検知します。

1. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[キカイ カンリシャ メニュー]を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[プリント セッテイ]を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
4. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[トレイノ ヨウシサイズ]を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
5. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、設定するトレイを選択し、〈▶〉ボタンを押します。
6. 〈▼〉ボタンを押して、[テイケイガイ]を表示し、〈排出 / セット〉ボタンを押します。
7. [タテ(Y)ホウコウ ノ　サイズ]が表示されるのを確認して、〈▶〉ボタンを押します。
8. 使用する用紙のたて方向のサイズを入力します。〈▲〉および〈▼〉ボタンで数値を入力します。
9. 数値を入力したら、〈排出 / セット〉ボタンを押します。
10. 〈◀〉ボタンを押して、[タテ(Y)ホウコウ ノ　サイズ]に戻ります。
11. 〈▼〉ボタンを押して、[ヨコ(X)ホウコウ ノ　サイズ]を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
12. 使用する用紙のよこ方向のサイズを入力します。〈▲〉および〈▼〉ボタンで数値を入力します。
13. 数値を入力したら、〈排出 / セット〉ボタンを押します。
14. 〈メニュー〉ボタンを押します。

ユーザー定義用紙に印刷する

ユーザー定義用紙に印刷する方法を説明します。
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足

・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2. **使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。**

3. **［トレイ / 排出］タブをクリックします。**

4. **［用紙トレイ選択］から、該当するトレイを選択します。**

5. **［用紙トレイ選択］で［トレイ 5（手差し）］を選択した場合は、［手差し設定］をクリックして［手差し設定］ダイアログボックスを表示し、［手差し用紙種類］から用紙の種類を選択します。**

6. **［基本］タブをクリックします。**

7. **［原稿サイズ］から、任意の原稿のサイズを選択します。**

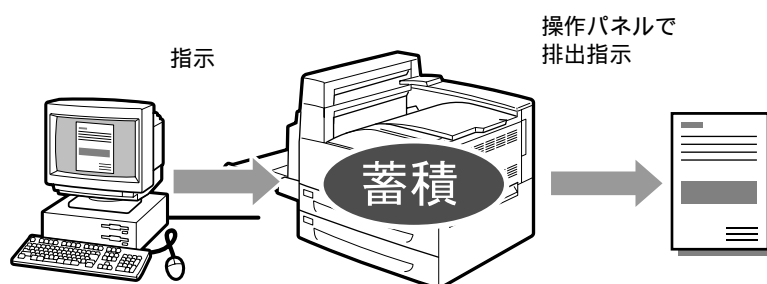
8. ［出力用紙サイズ］から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選択し、［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

2.6　機密文書を印刷する - セキュリティープリント -

本機に、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、セキュリティープリント機能を使用できます。

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて本機に印刷を指示し、印刷データをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルで印刷を開始する機能です。また、セキュリティーをかけないで印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度も印刷を指示しなくても、本機側の指示だけで印刷できます。

補足

- 印刷後セキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを印刷する手順の中で選択します。「操作パネルでの操作」（P. 40）を参照してください。
- 不要になったすべてのセキュリティープリントデータを削除する場合は、「初期化 / データ削除」（P. 102）を参照してください。
- 操作パネルの［セキュリティプリントソウサ］が［ムコウ］に設定されている場合は、セキュリティープリントを出力できません。

セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。
まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。
そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足

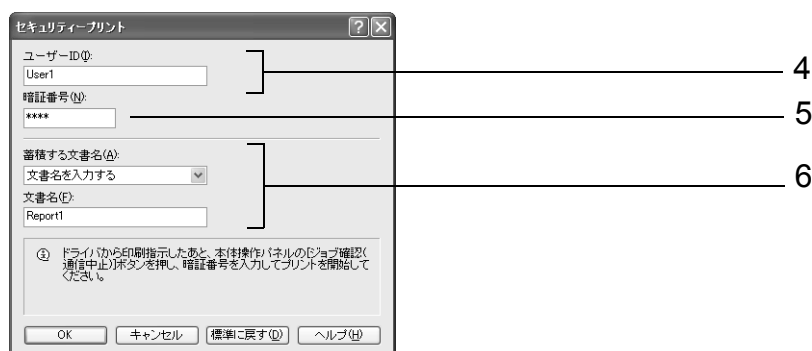
・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［基本］タブの［プリント種類］から、［セキュリティー］を選択します。

［セキュリティープリント］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角英数字で 8 文字まで入力できます。

5. 暗証番号を付ける場合は、［暗証番号］に暗証番号を入力します。
   半角数字で 12 文字まで入力できます。

6. ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］、または［自動取得］を選択します。
   ［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
   ［自動取得］の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。
   文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順について説明します。

補足
・ 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、印刷しないで削除することもできます。詳しくは、「初期化 / データ削除」（P. 102）を参照してください。

1. 〈◀〉ボタンを押します。

2. ［セキュリティー　プリント］が表示されていることを確認して、〈▶〉ボタンを押します。

3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、ユーザーを選択し、〈▶〉ボタンを押します。

4. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動し、〈▲〉および〈▼〉ボタンで暗証番号（12 桁以内）を入力します。

5. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。

6. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、文書を選択し、〈▶〉ボタンを押します。

7. 印刷後、その文書を削除するか保存するかを〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して選択し、〈▶〉ボタンを押します。

8. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。印刷が開始されます。

9. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。

補足
・ ユーザー IDは、プリンタードライバーの［基本］タブの［セキュリティープリント］ダイアログボックスで設定した［ユーザー ID］が表示されます（8文字まで）。
・ 暗証番号は、プリンタードライバーの［基本］タブの［セキュリティープリント］ダイアログボックスで設定した［暗証番号］を入力します。［暗証番号］を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。
・ 文書名は、プリンタードライバーの［基本］タブの［セキュリティープリント］ダイアログボックスで設定した［文書名］が表示されます（12 バイトまで）。

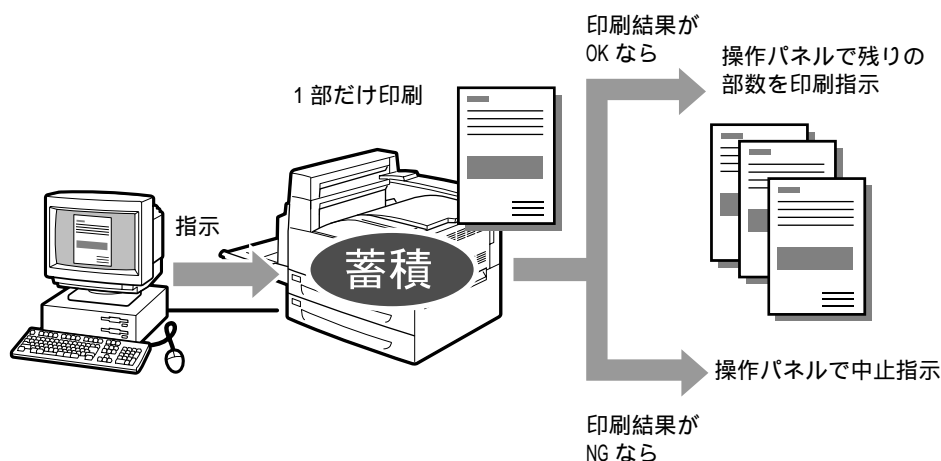
2.7　出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -

本機に、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、サンプルプリント機能を使用できます。

注記
- 内蔵増設ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数を印刷する場合に、ハードディスクに印刷データを蓄積し、まず 1 部だけ印刷し、印刷結果を確認してから、残りの部数の印刷開始を操作パネルで指示する機能です。

補足
- 不要になったサンプルプリントデータは、操作パネルを使って削除します。「操作パネルでの操作」（P. 40）を参照してください。

サンプルプリントをする

サンプルプリントをする方法を説明します。
まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。

補足
・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［基本］タブで、［部数］を 2 部以上に設定します。

4. ［プリント種類］から［サンプル］を選択します。

補足
・ 印刷部数を 2 部以上に設定すると、［サンプル］が選択できます。

［サンプルプリント］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［ユーザー ID］にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角英数字で 8 文字まで入力できます。

6. ［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］または［自動取得］を選択します。
   ［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を、12 バイト相当（半角で 12 文字）で指定します。
   ［自動取得］の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. ［OK］をクリックします。

8. ［基本］タブで［OK］をクリックします。

9. ［印刷］ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順、および削除する手順について説明します。

1. 〈◀〉ボタンを押します。

2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［サンプル プリント］を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、ユーザーを選択し、〈▶〉ボタンを押します。

4. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、文書を選択し、〈▶〉ボタンを押します。

5. 蓄積した文書を印刷するか削除するかを〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して選択し、〈▶〉ボタンを押します。

6. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   文書が削除、または印刷されます。

7. 文書の削除、または印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。

補足
・ユーザー ID は、プリンタードライバーの［基本］タブの［プリント種類］で設定した［サンプルプリントのユーザー名］が表示されます（8 文字まで）。
・文書名は、プリンタードライバーの［基本］タブの［サンプルプリント］ダイアログボックスで設定した［文書名］が表示されます（12 バイトまで）。

2.8 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -

本機に、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、時刻指定プリント機能を使用できます。時刻指定プリントとは、あらかじめ文書を登録しておき、設定した時刻に自動的に印刷を行う機能です。

注記

- 内蔵増設ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- 指定した時刻になる前に、本機の電源を切った場合は、時刻の指定は無効になり、再び本機の電源が入った直後に印刷が開始されます。時刻指定プリントをしている場合は、本機の電源を切らないでください。

補足

- この機能で指定できる時刻は、印刷指示したときから 24 時間以内です。

時刻指定プリントを登録する

時刻指定プリントをする方法を説明します。
ここでは、Windows XP のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

1. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2. 使用するプリンターを本機に設定し、［詳細設定］をクリックします。

3. ［基本］タブで、［プリント種類］から［時刻指定］を選択します。

［時刻指定プリント］ダイアログボックスが表示されます。

4.　印刷を開始する時間を、[時]、[分] で設定します。
時刻は、24 時間制です。

5.　[蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当(半角で 12 文字)で指定します。
[自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

6.　[OK] をクリックします。

7.　[基本] タブで [OK] をクリックします。

8.　[印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。
指定した時刻になると、印刷が開始されます。

時刻指定プリントを中止する

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視して印刷したいときは、操作パネルで操作します。

1.　〈◀〉ボタンを押します。

2.　〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[ジコクシテイ プリント] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

3.　〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、文書を選択し、〈▶〉ボタンを押します。

4.　蓄積した文書を削除するかすぐに印刷するかを、〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して選択し、〈▶〉ボタンを押します。

5.　〈排出 / セット〉ボタンを押します。
文書が削除、または印刷されます。

6.　文書の削除、または印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。

補足
・ 文書名は、プリンタードライバーの [基本] タブの [時刻指定プリント] ダイアログボックスで設定した [文書名] が表示されます (12 バイトまで)。

2.9 PDF ファイルを直接印刷する

本機では、PDF ファイルをプリンタードライバーを使用しないで直接プリンターに送信して印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単で高速に印刷されます。PDF ファイルを直接印刷する方法には、次の 2 種類があります。

■ PDF Bridge 機能を使用する

PDF Bridge は、本機が標準で搭載している機能です。PDF Bridge 機能を使用して PDF ファイルを印刷するには、弊社ソフトウエアの ContentsBridge Utility を使用する方法と、lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信して印刷する方法があります。

補足

・ ContentsBridge Utility を使用する場合は、「ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルを印刷する」(P. 47) を参照してください。lpr コマンドなどを使用する場合は、「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」(P. 50) を参照してください。
・ PDF Bridge の機能を使って正しく印刷するためには、増設メモリー(オプション)が必要な場合があります。

■ PostScript の機能を使用する

PostScript ソフトウエアキット(オプション)が取り付けられている場合は、PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷できます。

補足

・ PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、「PDF」(P. 78) を参照して操作パネルで [PDF] の [プリントショリモード] を [PS] に設定してから、「ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」(P. 50) を参照して印刷してください。
・ PostScript の機能を使うと、LZW 圧縮を使用したオブジェクトを含む PDF ファイルが印刷できます。LZW は、米国特許番号 4,558,302 でライセンス許可を受けた LZW アルゴリズムを採用しています。

注記

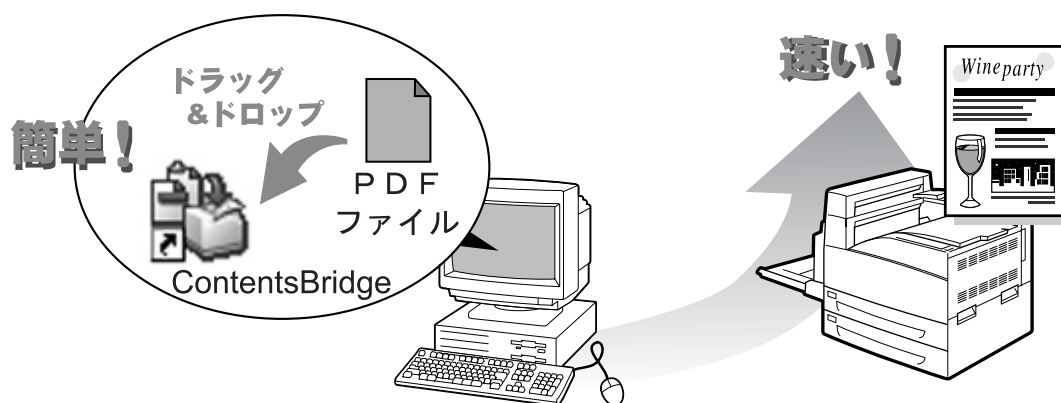
・ USB、パラレルポートを使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

印刷できる PDF ファイル

印刷できる PDF ファイルは、Adobe Acrobat 4、および Adobe Acrobat 5(PDF1.4 で追加された一部機能は除く)です。

補足

・ PDF ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、PDF ファイルを開きプリンタードライバーを使って印刷してください。

ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルを印刷する

ContentsBridge Utility の動作環境

・ 対象 OS
  Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP

ContentsBridge Utility をインストールする

コンピューターの任意のフォルダーまたはデスクトップに、CentreWare の CD-ROM から [ContentsBridge.exe] ファイルをコピーします。

補足
・ ContentsBridge.exe が格納されているフォルダーなどについては、CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

ContentsBridge Utility で設定できる項目

設定できる項目には以下のものがあります。詳細については CentreWare の CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

基本

■印刷範囲
■印刷部数
■［注釈］を印刷する
■カラーモード（本機では無効です）
■印刷モード
■出力用紙サイズ
■レイアウト
■両面

トレイ / 排出

■用紙トレイ選択
■用紙種類
■ホチキス
■パンチ

詳細設定

■プリント種類
■バナーシートを出力する
■ PDF セキュリティをチェックする

PDF ファイルを印刷する

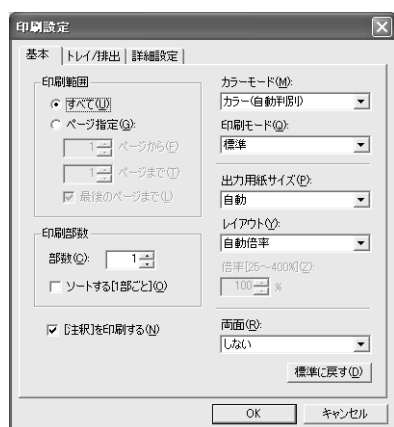
1. ［ContentsBridge.exe］アイコンをダブルクリックして、起動します。

［ContentsBridge］ダイアログボックスが表示されます。

2. ［プリンタ］を本機に設定します。

3. ［印刷するファイル］に印刷する PDF ファイルのパスを入力するか、［参照］をクリックして対象のファイルを指定します。

4. ［印刷設定］をクリックします。

5. 各項目を設定します。

6. ［印刷設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。印刷データがプリンターに送信されます。
このとき、PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、ダイアログボックスが表示されます。PDF ファイルに設定されているパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

7. ［Contents Bridge］ダイアログボックスの［閉じる］をクリックします。

PDF ファイルを簡単な手順で印刷する

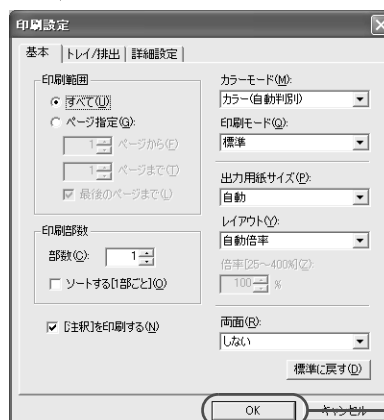
本機を通常使うプリンターに設定し、[ContentsBridge.exe] のショートカットアイコンをデスクトップ上に作成すると、PDF ファイルを簡単な手順で印刷できます。

1. 印刷する PDF ファイルを、[Contents Bridge.exe] のショートカットアイコン上にドラッグ & ドロップします。
[ContentsBridge] ダイアログボックスが表示されます。

2. [ContentsBridge] ダイアログボックスで印刷形式を設定する場合は、[印刷設定] をクリックします (1)。
印刷形式を設定する必要がない場合は、[ContentsBridge] ダイアログボックスの [印刷] をクリックします (2)。
印刷データがプリンターに送信されます。

チェックを付けると次に起動するときからは、PDF ファイルをドラッグ & ドロップするだけで印刷データがプリンターに送信されます。

補足

・チェックを外す場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックして起動してください。次にドラッグ & ドロップしたときには、再び [ContentsBridge] ダイアログボックスが表示されます。

[OK] をクリックすると、印刷データがプリンターに送信されます。

ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する

ContentsBridge Utility を使用しないで、PDF ファイルを直接 lpr コマンドなどを使ってプリンターに送信し印刷します。この場合、次の項目は操作パネルの設定に従って印刷されます。

- プリント処理モード
- 部数
- 両面
- 印刷モード
- パスワード
- ソート
- 用紙サイズ
- レイアウト

参照

・「PDF」（P. 78）

補足

・［プリントショリモード］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
・［レイアウト］は、［プリントショリモード］で［PS］が選択されている場合は表示されません。
・lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの［ブスウ］の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services を使って、プリンター側の LPD ポートを起動しておく必要があります。

参照

・「ネットワーク / ポート設定」（P. 80）

対象 OS

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP

PDF ファイルを印刷する

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例は、次のとおりです。

補足

・空白（スペース）は、△で表します。

例：プリンターの IP アドレスが 192.168.1.100 で、［event.pdf］ファイルを印刷する

```
C:\>lpr △ -S △ 192.168.1.100 △ -P △ lp △ event.pdf
```

〈Enter〉キー

2.10 Web ブラウザーから印刷する

CentreWare Internet Services を使用して、Web ブラウザーから印刷をすることができます。
この機能は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に使用することができます。

注記
- 内蔵増設ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

送信できるデータ

Web ブラウザーから送信して本機で印刷することができるのは、次のファイルです。

- **TIFF ファイル**
- **PDF ファイル（Adobe Acrobat 4、および Adobe Acrobat 5（PDF1.4 で追加された一部機能は除く））**

補足
- 送信された PDF ファイルは、操作パネルの［PDF］の設定に従って、PDF Bridge または PostScript 機能を使用して印刷されます。本機における PDF ファイルの印刷機能については、「2.9 PDF ファイルを直接印刷する」（P. 46）を参照してください。
- 本機でサポートしている TIFF ファイルのフォーマットについては、「TIFF ファイルのフォーマット」（P. 206）を参照してください。

印刷する

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

- **IP アドレスの入力例**

- **URL の入力例**

CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

補足
- Web ブラウザーの設定によっては、IP アドレスを指定しても CentreWare Internet Services の画面が表示されないことがあります。その場合は、「CentreWare Internet Services を使用するための設定」（P. 173）を参照して、Web ブラウザーの設定を確認してください。

3. ［サービス］タブをクリックし、表示された画面で、印刷するファイルなどの設定をします。

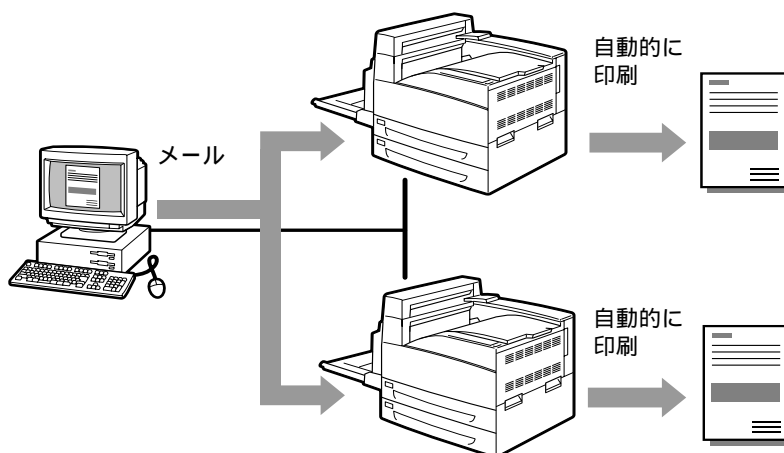
補足

・ 設定項目について詳しくは、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。
・ ここで設定されていない各種印刷機能については、受信プリンター側の以下の設定で印刷されます。
　・TIFF ファイル：　CentreWare Internet Services の［エミュレーション設定］にある［TIFF］の［使用するメモリー設定］で設定されている論理プリンターの値
　・PDF ファイル：　操作パネルの［PDF］で設定されている値

4. ［スタート］をクリックします。
印刷が開始されます。

2.11 電子メールを使って印刷する - E メールプリント -

本機に内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている状態で、ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターから本機あてにメール送信できます。
コンピューターから送信されたメールの本文、およびメールに添付された TIFF 形式、または PDF 形式の文書が本機から印刷できます。
この機能を E メールプリントといいます。

注記
- 内蔵増設ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

E メールプリントをするための環境設定

E メールプリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー（SMTP サーバーや POP3 サーバーなど）にも設定が必要です。

補足
- メール環境を誤って設定すると、ネットワーク内に多大な迷惑をかける可能性があります。メール環境の設定は、ネットワーク管理者が行ってください。

ネットワーク環境の設定

- **ユーザーアカウントの登録**

メール環境の設定（本機側）

メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、次の項目を設定します。

補足
・ 設定後は、必ず［新しい設定を適用］をクリックしてから本機の電源を切り、入れ直してください。

＊：初期値

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
本体説明	管理者メールアドレス	インターネットサービスの管理者メールアドレスを設定します。	128 バイト以内	○	○
	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの［From］欄に表示されます。			
ポート起動	メール受信	チェックを付けます。	-	○	○
プロトコル設定＞ TCP/IP	ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字と「-」で、32 バイト以内	○	○
	DNS サーバーアドレス取得方法	チェックを付けると、DHCP サーバーから自動的に DNS サーバーアドレスを取得します。	・ オフ：手動＊ ・ オン：DHCP	○	-
	DNS サーバーアドレス 1 ～ 3	DNS サーバーアドレスを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx	○	-
	DNS ドメイン名	DNS ドメイン名を設定します。	255 バイト以内	○	-

*：初期値

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
プロトコル設定＞メール	受信プロトコル	メールの受信方法を設定します。	・SMTP* ・POP3	○	○
	ヘッダー本文の印刷	受信したメールの添付文書（TIFF、PDF）共に、電子メールのヘッダーを印刷する場合の設定します。電子メールの受信経路などを印刷したいときは［すべてのヘッダーと本文］に設定します。	・しない（添付文書のみ印刷） ・基本的なヘッダーと本文（本文がある時のみ） ・基本的なヘッダーと本文* ・すべてのヘッダーと本文	○	○
	POP3 サーバーアドレス	メール受信用の POP3 サーバーの IP アドレス、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。	英数字と「．」、「-」で、128 バイト以内	-	○
	POP3 サーバー確認間隔	POP3サーバーにメールを確認する間隔を設定します。	1 ～ 120 分 10 分 *	-	○
	POP ユーザー	POP3サーバーに接続するためのユーザー名を設定します。1ユーザーだけ設定できます。	ASCII 図形文字（コード番号 33 ～ 126 の文字）で、64 バイト以内	-	○
	POP ユーザーパスワード	POP ユーザー名に対するパスワードを設定し、［POP ユーザーパスワードの確認入力］にもう一度パスワードを入力します。	ASCII 印字可能文字（ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 ～ 126 の文字）で、64 バイト以内	-	○
	SMTP 送信の認証	SMTPサーバーにメール送信を行う前に、POPサーバーでユーザーの認証を行う場合は、［POP before SMTP］にチェックをつけます。	-	○	-
	SMTP サーバーアドレス	メール受信用の SMTP サーバーの IP アドレス、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。	英数字と「．」、「-」で、128 バイト以内	○	-

メールを送信する

送信できる添付文書

添付文書として送信できるのは、次のファイルです。

- **PDF ファイル（Adobe Acrobat 4、および Adobe Acrobat 5（PDF1.4 で追加された一部機能は除く））**
- **TIFF ファイル**

補足
- 送信された PDF ファイルは、操作パネルの［PDF］の設定に従って、PDF Bridge または PostScript 機能を使用して印刷されます。本機における PDF ファイルの印刷機能については、「2.9 PDF ファイルを直接印刷する」(P. 46) を参照してください。
- 本機でサポートしている TIFF ファイルのフォーマットについては、「TIFF ファイルのフォーマット」(P. 206) を参照してください。

メールを送信する

ここでは、Outlook Express を例にコンピューターから各プリンターにメールを送信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウエアで本文を作成し、TIFF または、PDF ファイルの添付文書がある場合は添付します。

注記
- メールの本文には、テキスト形式だけ使用できます。お使いのメールソフトウエアの設定で、メール本文の形式をテキスト形式にしてください。

補足
- 添付文書の拡張子が、「.tif」、または「.pdf」以外の場合は、正しく印刷されないことがあります。
- 最大 31 文書まで添付できます。

2. あて先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールを送信します。
本機でメールを受信後、自動的に印刷されます。

補足
- メール本文、および添付文書は、受信プリンター側の以下の設定で印刷されます。なお、どの場合も、オフセット排出機能の指定は無効になります。
  - ･メール本文：コンピューターにインストールされている、本機用の ART EX プリンタードライバーの初期値
  - ･TIFF ファイルの添付文書：CentreWare Internet Services の［エミュレーション設定］にある［TIFF］の［使用するメモリー設定］で設定されている論理プリンターの値
  - ･PDF ファイルの添付文書：操作パネルの［PDF］で設定されている値

メールを受信して印刷する

本機では、操作パネルから手動でメールを受信し、印刷することができます。

1. 〈◀〉ボタンを押します。
2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して［メールジュシン プリント］を表示します。
3. 〈▶〉ボタンを押します。
4. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   メールの受信が始まります。受信後、文書が印刷されます。

メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりしないよう、セキュリティーに関しての注意が必要です。
したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用することをお勧めします。また、不用メールの受信を防止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

受信許可ドメインの設定

本機では、特定のドメインからだけのメールを受信するように設定できます。
受信許可ドメインの設定方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

インターネットプロバイダーと本機を接続してメール機能を使用するときのご注意

- インターネットプロバイダーとの契約が定額制、常時接続でない場合、本機がメールサーバーに受信データを定期的に取りに行くため、その都度電話料金がかかります。
- IP マスカレードされた環境で接続してください。本機にグローバル IP アドレスを割り当てて接続した場合の動作は保証しません。
- POP 受信を行う場合には、必ず本機専用のメールアカウントの申請を行ってください。ほかのユーザーと共通のメールアカウントを使用すると、トラブルの原因になります。
- インターネットの回線速度が遅い場合、画像データなど容量の多いデータの受信に時間がかかることがあります。
- SMTP 受信を許可しているプロバイダーもあります。その場合、プロバイダー側と綿密な調整が必要になります。
- プライベートセグメントに MTA を立てて運用している環境への設置は、運用形態に合わせるようにしてください。

3 用紙について

3.1　　用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に使用するために、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。
なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

使用できる用紙

本機で使用できる用紙は、次のとおりです。
一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、下表の用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、次項で紹介する標準紙の使用をお勧めします。

用紙トレイ	サイズ	メートル坪量 (単位：g/㎡)	セット可能枚数
用紙トレイ 1、2 2トレイモジュールの用紙トレイ 3、4 (オプション)	自動検知できる定形サイズ： B5、A4、A4、B4、A3、 Letter（8.5×11"）、Letter（8.5×11"）、 Legal（8.5×14"）、8.5×13"、11×17"、 ユーザー定義用紙 サイズ検知モードにより検知できるサイズ *1： A5、B5、Executive、5.5×8.5"	トレイ 1:60 ～ 105 トレイ 2 ～ 4： 60 ～ 215	500 枚（P 紙）
手差しトレイ	自動検知できる定形サイズ： B6、A5、A5、B5、B5、A4、 A4、B4、A3、官製はがき ユーザー定義用紙 その他：次の用紙は片面印刷のみです。 封筒長形 3 号、封筒長形洋 3 号、封筒長形洋 4 号	60 ～ 215 はがき：190	100 枚（P 紙）
大容量給紙トレイの用紙トレイ 3、4 (オプション) 大容量給紙キャビネットの用紙トレイ6 (オプション)	自動検知できる定形サイズ： A4、Letter（8.5×11"） サイズ検知モードにより検知できる定形サイズ： B5	トレイ 3、4： 60 ～ 215 トレイ 6:56 ～ 215	トレイ 3： 800 枚（P 紙） トレイ 4： 1,200 枚（P 紙） キャビネット： 2,000 枚（P 紙）

*1：サイズ検知モードは、操作パネルで切り替えます。詳しくは、「 サイズ ケンチ キリカエ（サイズ検知切り替え）」(P. 98) を参照してください。

注記
- プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷したりすると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。
- 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

補足

- メートル坪量とは、1m² の用紙 1 枚の質量をいいます。
- 用紙トレイ 5（手差し）で、非定形サイズの用紙に印刷する場合は、用紙サイズを入力する必要があります。また、非定形サイズの用紙を頻繁に印刷する場合は、あらかじめ数値を設定しておくと、［トレイ 5（手差し）］画面の［定形サイズ］に、設定したサイズが表示されます。設定方法については、「2.5 ユーザー定義の用紙に印刷する」(P. 33) を参照してください。
- 官製はがきなど、B5 サイズより幅の狭い用紙を連続して印刷すると、定着装置の非通紙部の温度が高くなるため、途中でメッセージを表示して、プリントを中断する場合があります。その後、1 ～ 2 分で印刷が再開されます。また、A5 サイズ以下の用紙では、1 枚プリントしただけでもメッセージが表示され、30 秒以上プリントを中断する場合があります。
- 用紙の種類で［ラベル]、[厚紙 1]、[厚紙 2］を選択したときは、用紙を ▯ にセットしてください。▭ にセットすると、希望どおりの画質にならないことがあります。
- 厚紙の種類によっては、▭ で機械に送れない場合があります。そのときは ▯ にセットしてください。
- 厚紙の種類によっては機械に送れなかったり、希望どおりの画質にならなかったりすることがあります。その場合は、［厚紙 1］または［厚紙 2］を選択してください。
- 用紙の種類で［うす紙］を選択すると、プリントするときに機械は定着部（フューザーユニット）の温度を下げます。定着部（フューザーユニット）が高温のために用紙がカールしたり、ほかの問題が生じたりした場合は、［うす紙］を選択してください。

標準紙

弊社が推奨する用紙です。

用紙名	メートル坪量（単位：g/m²）	用紙種類	用紙の特長と使用上の注意
FX P	64	普通紙	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙

使用可能紙

推奨紙以外にも、以下の用紙が使用できます。

用紙名	メートル坪量（単位：g/m²）	用紙種類	用紙の特長と使用上の注意
C²（シーツー）	70	普通紙	一般のオフィス用で、白黒 / カラーのどちらにも適しているうら写りの少ない用紙
C²-H（シーツーエイチ）	70	普通紙	不透明度が高く、うら写りが少ない再生紙
C²r（シーツーアール）	70	再生紙	古紙パルプ 70% 配合で、白黒 / カラーのどちらにも使用できる再生紙
Green100	67	再生紙	古紙パルプ 100% で、オフィスでの使用に必要十分な白さを実現した再生紙
Green100 2 穴	67	再生紙	古紙パルプ 100% で、オフィスでの使用に必要十分な白さを実現した 2 穴の再生紙
WR100	67	再生紙	古紙パルプ 100% で、上質紙と同等の白色度の高い再生紙
EP-G100	67	再生紙	古紙パルプ 100% で、白色度は 70%、包装紙や外箱も環境に 配慮した再生紙
EP-R	67	再生紙	古紙パルプ 70% 配合で、優れた画質維持性をもち、長期保存も可能な再生紙
リサイクルカラーペーパー	67	再生紙	古紙パルプ 100% で、表紙、合紙、インデックスに適したカラーペーパー再生紙

特殊紙

本機では、次の用紙にも印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

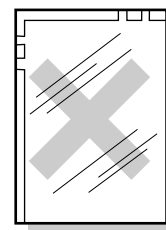
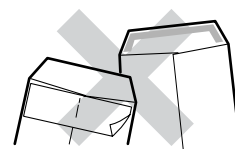
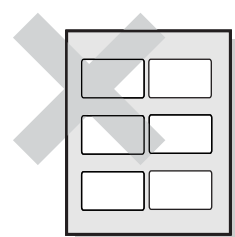
用紙名	メートル坪量 (単位：g/㎡)	用紙種類	用紙の特長と使用上の注意
OHP フィルム（V516）	-	OHP フィルム	枠なしの OHP フィルム 注記 ・故障の原因になりますので、カラー用の OHP フィルム（V556/V558）は、使用しないでください。また、両面プリントまたは両面コピーをしないでください。
EP-R2 穴	67	厚紙 1	古紙パルプ 70% 配合で、優れた画質維持性をもち、長期保存も可能な 2 穴の再生紙
ラベル用紙 A4（20 面） V860	ー	厚紙 1	ダイレクトメールや請求書発送用などの宛名ラベルが、複写機で簡単に作成できるラベル用紙
官製はがき	190	厚紙 2	郵便はがき 注記 ・故障の原因になりますので、インクジェット用の官製はがきは、使用しないでください。
封筒長形 3 号 封筒長形洋 3 号 封筒長形洋 4 号	-	厚紙 2	市販の封筒

注記
- 封筒のうら面（フラップを折り返した側）には印刷できません。
- はがきを両面印刷する場合は、画質は保証できません。
- ユーザー定義サイズで、用紙の種類が厚紙 2 の用紙に印刷する場合は、印刷開始までに時間（最大約 30 秒）がかかることがあります。

補足
- 表に記載されていない厚紙などの特殊紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- OHP フィルムや官製はがき、封筒に印刷する方法については「2 印刷する」(P. 23) を参照してください。

使用できない用紙

弊社が推奨していない用紙 /OHP フィルムを使用された場合、故障や用紙づまりの原因になります。本製品には、弊社が推奨する用紙 /OHP フィルムをご使用ください。

- FUJI XEROX フルカラー OHP フィルムのように白い枠付きの OHP フィルム（V556/V558）、257 × 257㎜（V302）
- 電飾フィルム
- 弊社推奨の OHP フィルム以外
- 126g/㎡ 以下のコート紙
- デジタルコート紙（光沢タイプ）
- NK 特片面アート（127/157/209g/㎡）
- タックフィルム（透明 / 白色 / 強粘着白色）
- アートフラックス（クロス紙）
- 装丁紙ソーテル（210g/㎡）
- カラーコピー用高級和紙
- 布地転写用紙
- 色地用布地転写用紙
- 水転写紙
- スーパートレース 50/60
- スタートレース
- ハイトレース
- OK トップコート（128g/㎡）
- インクジェット専用紙
- インクジェット用 OHP フィルム
- インクジェット用郵便はがき
- 感熱紙 / 熱転写用紙
- 黒い折り紙
- 一度プリントしたラベル紙
- ゼログラフィックフォトペーパー
- 155 ℃の熱で変質するインクを使った用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- のり付け部分がのりでベタついている封筒
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 本機以外のプリンターやコピー機で一度プリントした用紙
- 台紙全体がラベルなどで覆われてないもの
- しわや折れ、破れのある用紙
- 凹凸や留め金のある封筒
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 静電気で密着している用紙
- カーボン紙
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字がぼやけることがあります。
- そのときは中性紙に替えてください。

フルカラー用
OHPフィルム

テープ付き

台紙全体がラベルに
覆われていない

用紙の保管と取り扱い

■ 用紙の保管

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまりや印字品質の低下、故障の原因になります。用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

- 用紙は次のような場所に保管してください。
  温度：10 〜 30℃、相対湿度：30 〜 65%
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- しわ、折れ、カールなどが付かないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

■ 用紙の取り扱い

用紙の取り扱いについては、次のことに気をつけてください。

- 用紙の束は、きちんと揃えてからセットしてください。
- 折りめ、しわが入った用紙は使用しないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHP フィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚が同時に送られることがあるので、よくさばいてからご使用ください。
- 連続して OHP フィルムに出力する場合、OHP フィルムどうしが貼り付いてしまうおそれがあります。約 20 枚を目安にセンタートレイから取り出し、よくさばいて温度を下げてください。

3.2 用紙をセットする

用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする

補足

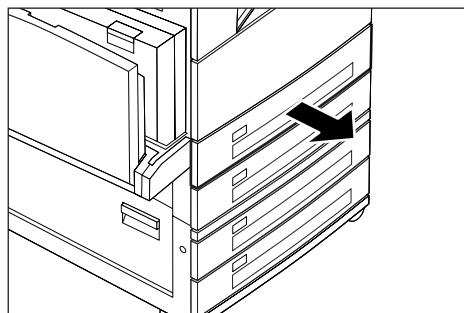
- 2 トレイモジュール（オプション）の用紙トレイ 3、4 に用紙をセットする方法は、用紙トレイ 1、2 と同じです。

参照

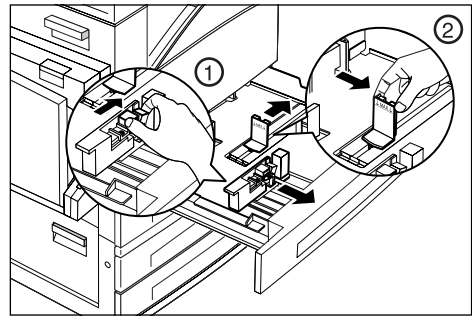
- 用紙トレイにセットできる用紙の種類やサイズ：「使用できる用紙」（P. 58）

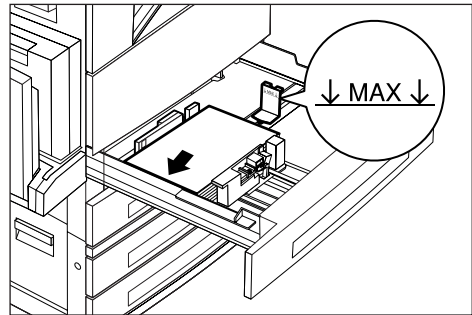
1. 用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

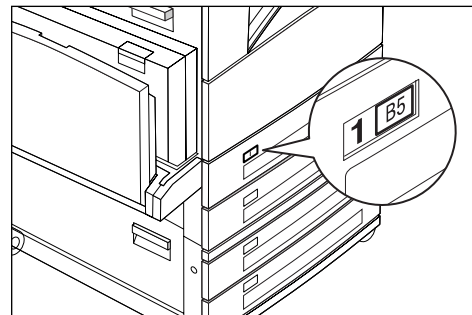
⚠ 注意

- 用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

注記

- 本機がジョブを処理しているあいだは、用紙トレイを引き出さないでください。
- 紙づまりや用紙セットの間違いをしないために、用紙トレイに残っている用紙の上に用紙を補給しないでください。残っている用紙は、取り除いたあと、新しくセットした用紙の上に重ねてください。

2.　縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます(1)。右側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます(2)。

3.　用紙をよくさばいてから四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットします。

補足
・最大収容枚数、または用紙上限線（図の MAX 位置）を超える用紙をセットしないでください。
・横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

4.　奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

5.　必要に応じて、用紙サイズシールを用紙トレイに貼ります。

6.　ユーザー定義サイズの用紙をセットした場合や、ユーザー定義サイズの用紙から定形用紙に変更した場合は、プリンタードライバーと操作パネルで用紙サイズを設定します。
セットする用紙種類を変更した場合は、プリンタードライバーと操作パネルで用紙の種類を設定します。

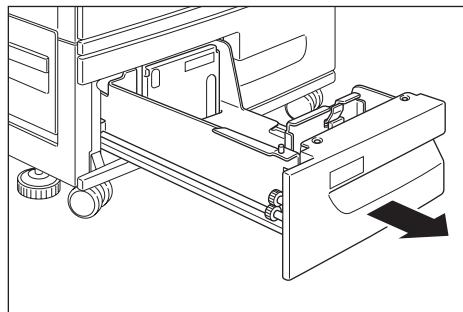
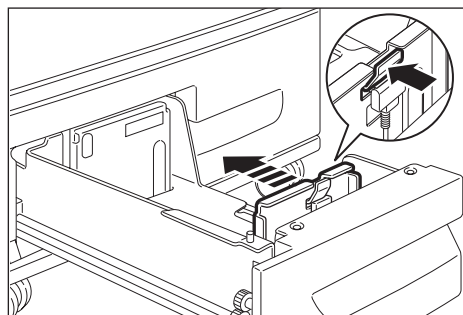
参照
・用紙サイズの設定：「2.5 ユーザー定義の用紙に印刷する」(P. 33)
・用紙種類の設定：「3.3 用紙の種類を設定する」(P. 70)

大容量給紙トレイ（用紙トレイ 3、4）に用紙をセットする

参照

・ 用紙トレイにセットできる用紙の種類やサイズ：「使用できる用紙」（P. 58）

用紙トレイ 3 に用紙をセットする

1. 用紙トレイ 3 を引き出します。

2. ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。

3. 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、用紙トレイの左端にぴったり合うようにセットします。

補足

・ 最大収容枚数または用紙上限線を超える用紙をセットしないでください。
・ ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

4. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

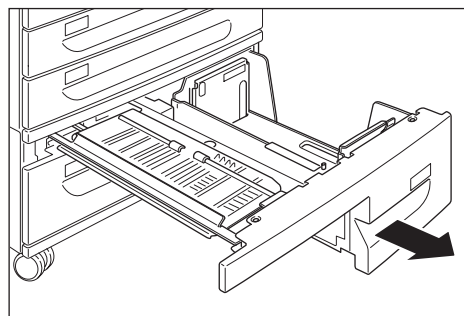
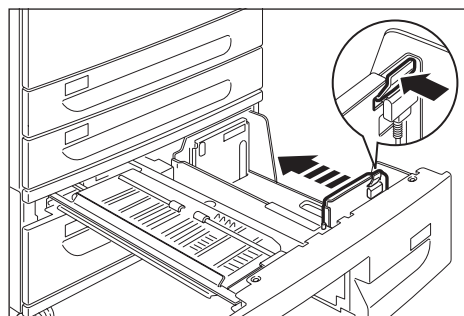
5. 必要に応じて、用紙サイズシールを用紙トレイに貼ります。

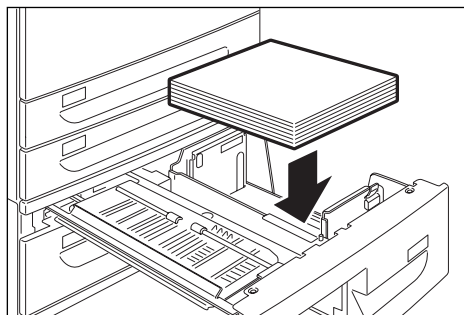
6. ユーザー定義サイズの用紙をセットした場合や、ユーザー定義サイズの用紙から定形用紙に変更した場合は、プリンタードライバーと操作パネルで用紙サイズを設定します。
   セットする用紙種類を変更した場合は、プリンタードライバーと操作パネルで用紙の種類を設定します。

参照

・ 用紙サイズの設定：「2.5 ユーザー定義の用紙に印刷する」（P. 33）
・ 用紙種類の設定：「3.3 用紙の種類を設定する」（P. 70）

用紙トレイ 4 に用紙をセットする

1. 用紙トレイ 4 を引き出します。

2. ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。

3. 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、用紙トレイの左端にぴったり合うようにセットします。

補足
・ 最大収容枚数または用紙上限線を超える用紙をセットしないでください。
・ ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

4. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

5. 必要に応じて、用紙サイズシールを用紙トレイに貼ります。

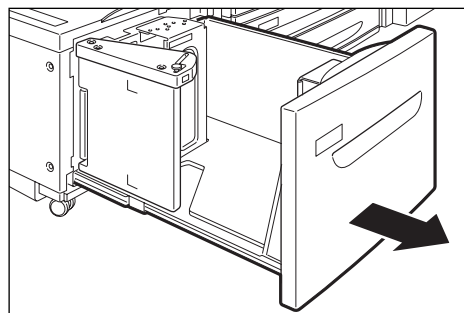
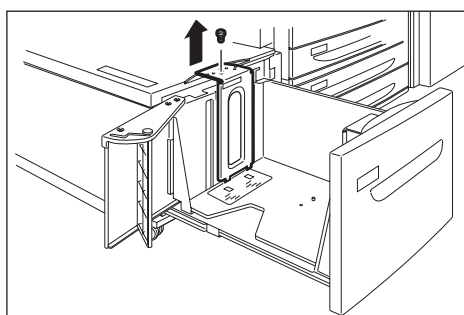
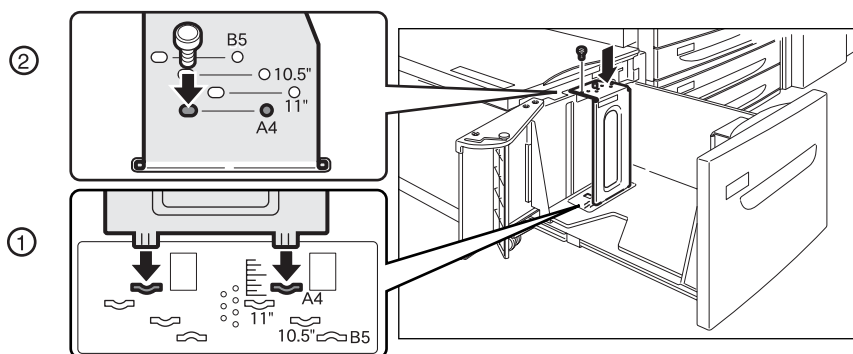
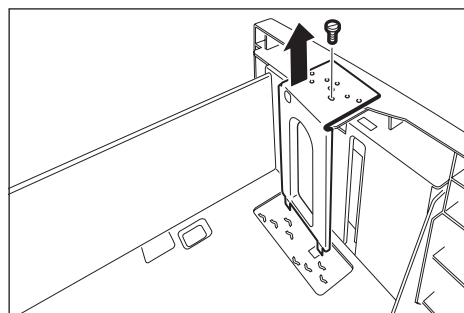
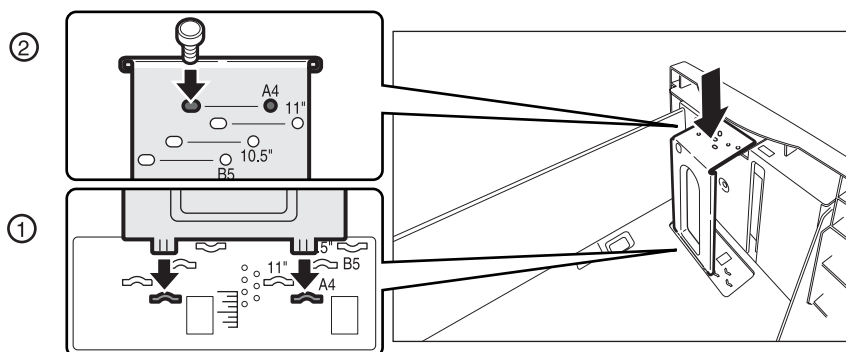
6. ユーザー定義サイズの用紙をセットした場合や、ユーザー定義サイズの用紙から定形用紙に変更した場合は、プリンタードライバーと操作パネルで用紙サイズを設定します。
セットする用紙種類を変更した場合は、プリンタードライバーと操作パネルで用紙の種類を設定します。

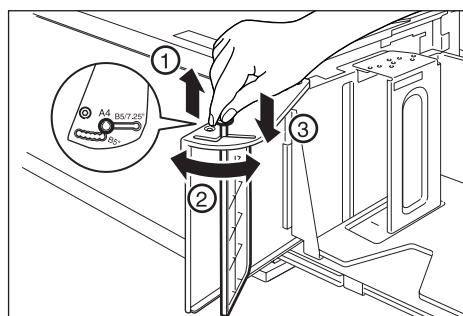
参照
・ 用紙サイズの設定：「2.5 ユーザー定義の用紙に印刷する」(P. 33)
・ 用紙種類の設定：「3.3 用紙の種類を設定する」(P. 70)

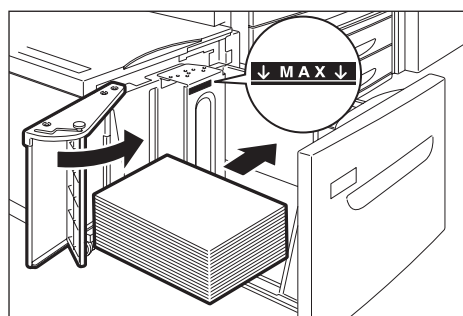
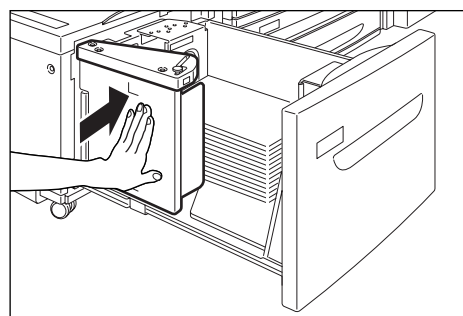
大容量給紙キャビネット（用紙トレイ 6）に用紙をセットする

参照

・ 用紙トレイにセットできる用紙の種類やサイズ：「使用できる用紙」（P. 58）

1. 用紙トレイ 6 を引き出します。

2. 奥のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。

3. ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み（1）、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます（2）。

4. 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。

5. ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み（1)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、用紙トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます（2)。

6. 図のようにエンドガイドのレバーを引き上げ、溝に沿って移動させて（1)、レバーの位置を用紙サイズに合わせ（2)、レバーを下ろします（3)。

補足
・ エンドガイドの 8.5" の左側の溝は使用しません。

7. エンドガイドを開き、用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、用紙トレイの右端にぴったり合うようにセットします。

補足
・ 最大収容枚数または用紙上限線（図の MAX 位置）を超える用紙をセットしないでください。
・ ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

8. エンドガイドをしっかり閉じます。

9. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

10. 必要に応じて、用紙サイズシールを用紙トレイに貼ります。

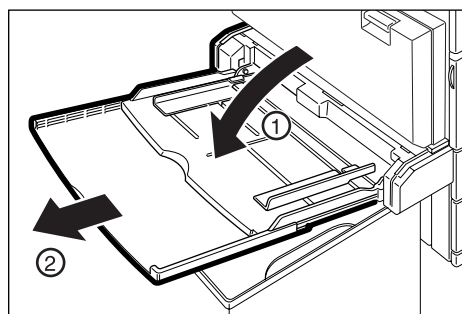
11. セットする用紙種類を変更した場合は、プリンタードライバーと操作パネルで用紙の種類を設定します。

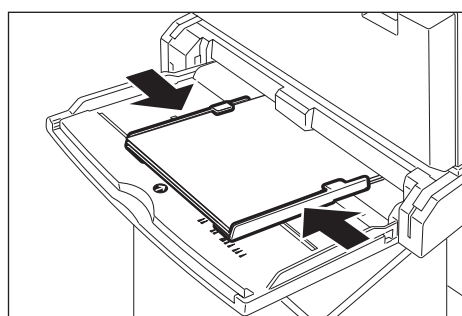
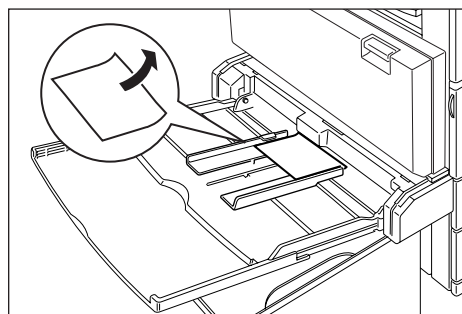
参照
・ 用紙種類の設定：「3.3 用紙の種類を設定する」（P. 70）

手差しトレイに用紙をセットする

注記
・ 手差しトレイには、電源を入れたあとで用紙をセットしてください。

参照
・ 手差しトレイにセットできる用紙の種類やサイズ：「使用できる用紙」（P. 58）

1. 手差しトレイを開けます (1)。
   長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します (2)。

2. 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

3. サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

注記
・ サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。
・ 最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。
・ はがきのような厚い紙に印刷する場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折れ目をつけてしまうと、紙づまりの原因になります。

4. プリンタードライバーを使用しないで印刷する場合（ContentsBridge Utility など）は、用紙種類は操作パネルの設定が有効になります。用紙種類を変更した場合は、操作パネルで設定してください。

参照
・ 用紙種類の設定：「3.3 用紙の種類を設定する」（P. 70）

補足
・ プリンタードライバーを使用して印刷する場合は、用紙種類は［トレイ / 排出］タブで設定します。
  また、ユーザー定義サイズの用紙をセットした場合は、さらに用紙サイズを登録する必要があります。

自動トレイ選択について

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで、［トレイ / 排出］タブの［用紙種類の優先指定］で用紙の種類を選択し、［用紙トレイ選択］を［自動］にして印刷を指示すると、本機はまず、選択された用紙種類がセットされているトレイを自動的に検知し、その中で、印刷する原稿のサイズと向きに該当する用紙トレイを選択します。これを、自動トレイ選択と呼びます。
自動トレイ選択で、該当する用紙トレイが複数ある場合は、操作パネルの［トレイノ ユウセン ジュンイ］の設定に従って用紙トレイが選択されます。
また、［用紙種類の優先指定］を［指定しない］にした場合、操作パネルの［ヨウシノ ユウセンジュンイ］の設定に従って用紙トレイが選択されます。複数の用紙種類に同じ優先順位を設定している場合は、［トレイノ ユウセン ジュンイ］に従って用紙トレイが選択されます。

補足

- 自動トレイ選択で該当する用紙トレイがないときは、用紙補給を促すメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙に印刷するよう設定することもできます。（用紙の置き換え）
- 印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます（自動トレイ切り替え）。［用紙種類の優先指定］を［指定しない］にした場合、［ヨウシノ ユウセンジュンイ］を設定していない種類の用紙は、自動トレイ選択、および自動トレイ切り替えの対象にはなりません。
- 用紙トレイに対する優先順位は、CentreWare Internet Services で設定することもできます。
- ［用紙種類の優先指定］で設定した用紙種類に該当する用紙トレイがなかった場合は、ほかの用紙に印刷するかどうかを確認するメッセージが表示されます。〈排出 / セット〉ボタンを押して異なる種類の用紙に印刷するか、〈プリント中止〉ボタンを押して、印刷を中止してください。

参照

- 操作パネルでの設定：「プリント設定」（P. 96）
- 用紙種類の優先指定：プリンタードライバーのオンラインヘルプ

3.3　用紙の種類を設定する

用紙トレイ 1、2 やオプションの 2 トレイモジュール（トレイ 3、4)、大容量給紙トレイ（トレイ 3、4)、大容量給紙キャビネット（トレイ 6）にセットする用紙種類は、あらかじめ操作パネルで設定しておく必要があります。正しい画質の処理をするため、次の表を参考にして、必ず操作パネルで用紙種類の設定をしてください。

注記
・ 用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、正しく画質の処理がされません。その場合、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が悪くなることがあります。

参照
・ セットできる用紙と用紙種類：「使用できる用紙」（P. 58）

主な用紙名	メートル坪量（単位：g/㎡）	トレイに設定する用紙種類
FX P	60 ～ 105	フツウシ（初期値）
FX EPR、FX R など	60 ～ 105	サイセイシ
FX P	60 ～ 105	ウラガミ
ラベル紙など	106 ～ 169	アツガミ 1
	170 ～ 215	アツガミ 2
GX75	-	ウスガミ
V516（JE001）など	-	OHP フィルム

補足
・ そのほかの厚紙などの特殊紙については、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にお問い合わせください。

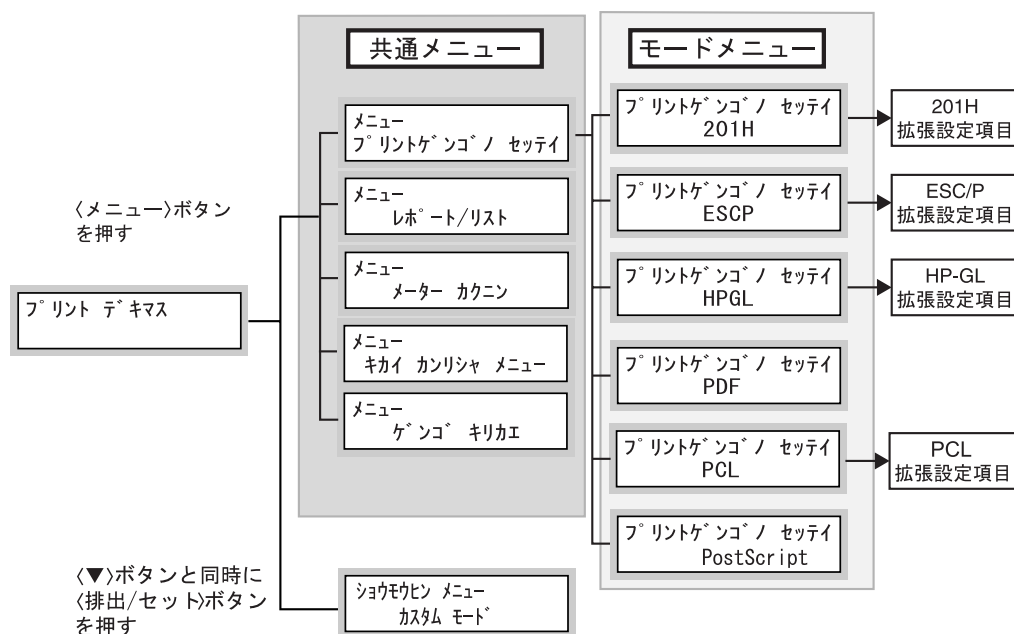
操作パネルでの設定

1. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[キカイ カンリシャ メニュー] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[プリント セッテイ] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
4. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[トレイノ ヨウシシュルイ] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
5. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、設定するトレイを表示し、〈▶〉ボタンを押します。
6. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、セットする用紙種類を表示し、〈排出 / セット〉ボタンを押します。
7. 〈メニュー〉ボタンを押します。

4 操作パネルの設定

4.1　共通メニューの概要

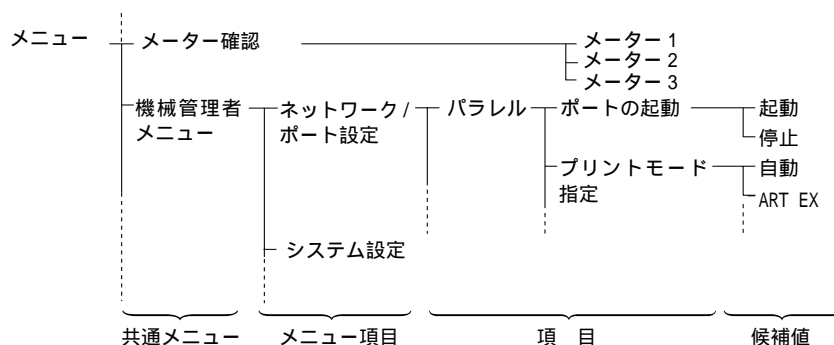
メニューの構成

メニューには、共通メニューとモードメニューがあります。

共通メニューは、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。モードメニューは、プリントモードごとに独自の項目を設定する画面です。

参照
・ 消耗品メニュー（[ショウモウヒン メニュー]）のカスタムモード機能の使い方については、「カスタムモードについて」(P. 163) を参照してください。

共通メニューは、次のような階層で構成されています。

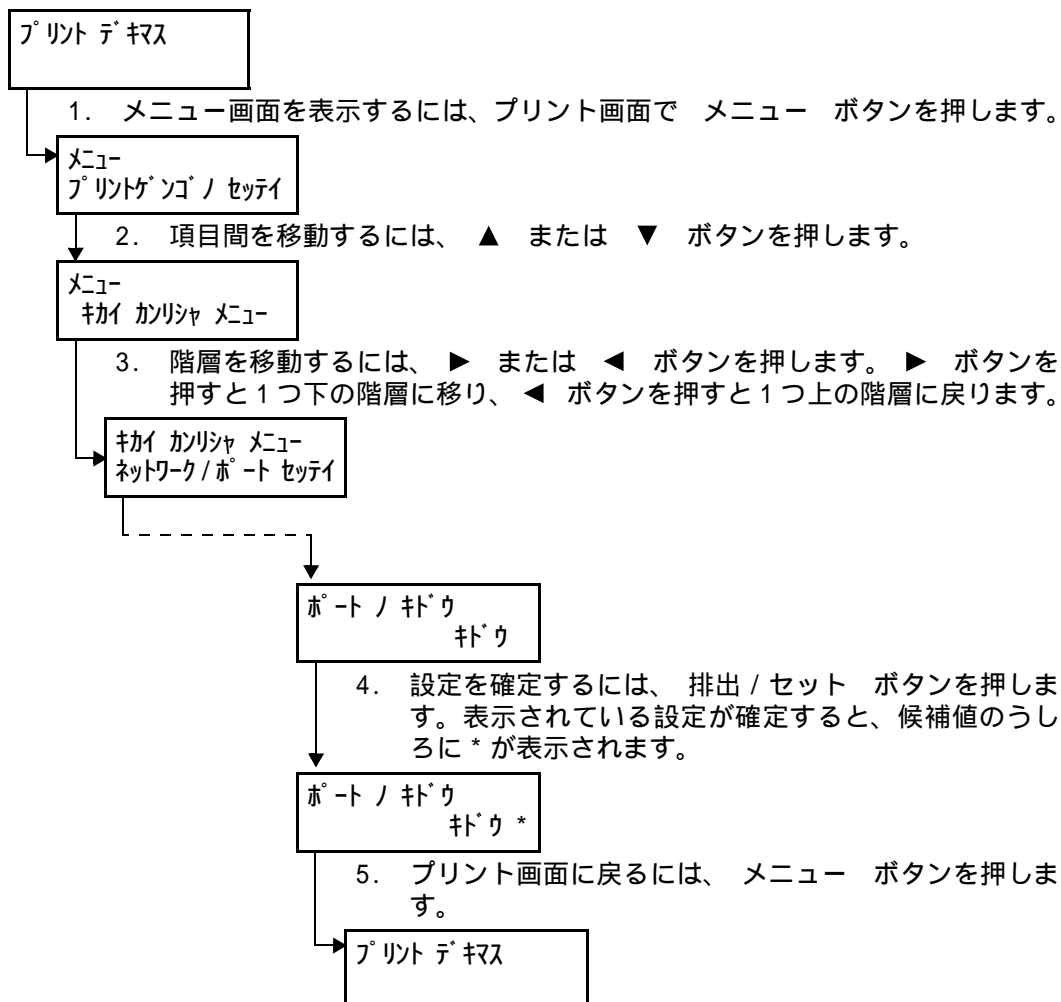
・ 共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。

共通メニューには、次の項目があります。

共通メニュー	内容
プリントゲンゴノセッテイ（プリント言語の設定）	201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、PostScript、PCL エミュレーションモードの設定、および PDF ファイルを直接印刷する機能に関する設定を行うためのモードメニューがあります。 補足 ・PDF ファイルを直接印刷するための設定項目については、「プリント言語の設定」(P. 77) を参照してください。基本操作については、「メニューの設定を変更する」(P. 73) を参照してください。 ・201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、PCL エミュレーションの設定項目については、本機に同梱されているマニュアル CD-ROM 内の各エミュレーション設定ガイドを参照してください。 ・PostScript モードメニューは、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。設定項目については、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている PostScript Driver Library CD-ROM 内のマニュアル（PDF）を参照してください。
レポート / リスト	レポート / リストメニューは、エミュレーションモードの設定内容、プリンターの設定情報、エラー履歴、ジョブ履歴、フォントに関する情報、出力の集計など本機内部の情報を印刷し、確認するためのメニューです。 参照 ・「6.4 レポート / リストを印刷する」(P. 169)
メーター カクニン（メーター確認）	メーター確認メニューは、印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示するメニューです。 参照 ・「メーターで総印刷枚数を確認する」(P. 179)
キカイ カンリシャ メニュー（機械管理者メニュー）	機械管理者メニューは、ネットワーク / ポート設定、システム設定（警告音、低電力 / スリープモードなど）、プリント設定、メモリー設定、プリンターの設定値やハードディスクなどの初期化、フォームデータの削除などについて設定するためのメニューです。 補足 ・停止しているポートの各種設定はできません。 ・機械管理者メニューの設定項目については、「機械管理者メニュー」(P. 80) を参照してください。基本操作については、「メニューの設定を変更する」(P. 73) を参照してください。
ゲンゴ キリカエ（言語切り替え）	操作パネルの表示言語を切り替えるためのメニューです。 補足 ・言語切り替えの設定項目については、「言語切り替え」(P. 104) を参照してください。基本操作については、「メニューの設定を変更する」(P. 73) を参照してください。

メニューの設定を変更する

基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移りながらプリンターの設定をしたりするときには、次のボタンを押します。

補足

- 一度〈排出 / セット〉ボタンを押して確定した値（* が付きます）を変更するときは、はじめから設定し直してください。

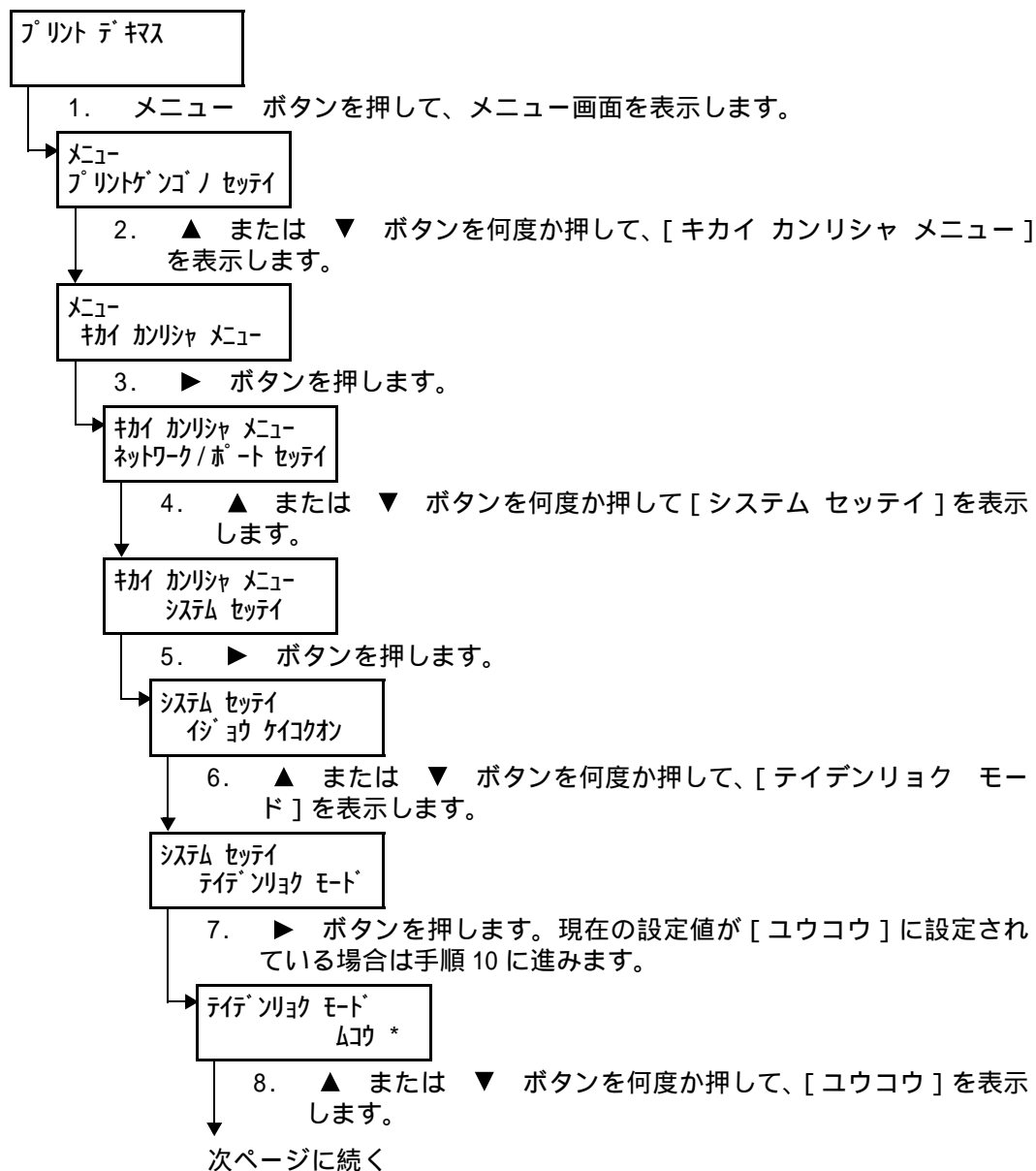
設定した値を、初期値に戻すには

初期値に戻したい項目を表示させて、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押します。
変更処理が終了すると工場出荷時の値が表示されます。〈排出 / セット〉ボタンを押すと、値が確定されます。

操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する

共通メニューの設定方法について、低電力モードへの移行時間を 20 分後、スリープモードへの移行時間を 45 分後に設定する場合を例に説明します。

1. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［キカイ カンリシャ メニュー］を表示します。
3. 〈▶〉ボタンを押します。
4. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して［システム セッテイ］を表示します。
5. 〈▶〉ボタンを押します。
6. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［テイデンリョク モード］を表示します。
7. 〈▶〉ボタンを押します。現在の設定値が［ユウコウ］に設定されている場合は手順 10 に進みます。
8. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［ユウコウ］を表示します。

次ページに続く

前ページから

```
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸ ﾓｰﾄﾞ
          ﾕｳｺｳ
```

9. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。低電力モードの設定が確定され、* が表示されます。

```
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸ ﾓｰﾄﾞ
          ﾕｳｺｳ *
```

10. 〈◀〉ボタンを押して、［テイデンリョク モード］に戻ります。

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸ ﾓｰﾄﾞ
```

11. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［テイデンリョクイコウジカン］を表示します。

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸｲｺｳｼﾞｶﾝ
```

12. 〈▶〉ボタンを押します。

```
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸｲｺｳｼﾞｶﾝ
        15 ﾌﾝｺﾞ *
```

13. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して低電力モードに移行する時間を設定します。2 〜 240 分の範囲で、1 分単位に設定できます。

```
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸｲｺｳｼﾞｶﾝ
        20 ﾌﾝｺﾞ
```

14. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。低電力モードに移行する時間が設定され、* が表示されます。

```
ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸｲｺｳｼﾞｶﾝ
        20 ﾌﾝｺﾞ *
```

15. 〈◀〉ボタンを押して、［テイデンリョクイコウジカン］に戻ります。

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
 ﾃｲﾃﾞﾝﾘｮｸｲｺｳｼﾞｶﾝ
```

16. 〈▼〉ボタンを押して、［スリープ モード］を表示します。

次ページに続く

前ページから

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
```

17.〈▶〉ボタンを押します。現在の設定値が［ユウコウ］に設定されている場合は、手順 20 に進みます。

```
ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
         ﾑｺｳ *
```

18.〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、［ユウコウ］を表示します。

```
ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
         ﾕｳｺｳ
```

19.〈排出 / セット〉ボタンを押します。スリープモードの設定が確定され、* が表示されます。

```
ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
         ﾕｳｺｳ *
```

20.〈◀〉ボタンを押して、［スリープ　モード］に戻ります。

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
    ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
```

21.〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［スリープモードイコウジカン］を表示します。

```
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞｲｺｳｼﾞｶﾝ
```

22.〈▶〉ボタンを押します。

```
ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞｲｺｳｼﾞｶﾝ
       30 ﾌﾝｺﾞ *
```

23.〈▲〉または〈▼〉ボタンを押してスリープモードに移行する時間を設定します。5 ～ 240 分の範囲で、1 分単位に設定できます。

```
ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞｲｺｳｼﾞｶﾝ
       45 ﾌﾝｺﾞ
```

24.〈排出 / セット〉ボタンを押します。スリープモードに移行する時間が設定され、* が表示されます。

```
ｽﾘｰﾌﾟﾓｰﾄﾞｲｺｳｼﾞｶﾝ
       45 ﾌﾝｺﾞ *
```

25.〈メニュー〉ボタンを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

4.2 メニュー項目の説明

ここでは、[プリントゲンゴ ノ セッテイ]、[キカイカンリシャ メニュー]、[ゲンゴ キリカエ] で設定できる項目について説明します。

補足

- [メーター カクニン] については、「メーターで総印刷枚数を確認する」(P. 179) を参照してください。
- [レポート / リスト] については、「6.4 レポート / リストを印刷する」(P. 169) を参照してください。
- メニューの設定方法については、「メニューの設定を変更する」(P. 73) を参照してください。
- CentreWare Internet Services を使用すると、さらに詳細な設定ができます。詳しくは、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

プリント言語の設定

[プリントゲンゴ ノ セッテイ] では、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、PCL エミュレーションモードの設定、および PDF ファイルを直接印刷する機能に関する設定、PostScript に関する設定を行うためのモードメニューがあります。

201H

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているマニュアル CD-ROM 内の『201H エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

ESCP

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているマニュアル CD-ROM 内の『ESC/P エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

HPGL

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているマニュアル CD-ROM 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

PCL

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているマニュアル CD-ROM 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

PDF

PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷する場合の設定をします。
［プリントショリモード］で、PDF ファイルの印刷処理を本機搭載の PDF Bridge を使って行うか、PostScript の機能を使って行うかを選択します。
［ブスウ］、［リョウメン］、［インサツ モード］、［パスワード］、［ソート］、［ヨウシサイズ］、［レイアウト］の設定は、ContentsBridge Utility（弊社ソフトウエア）を使用しないで PDF ファイルを印刷する場合に有効になります。

参照
・「2.9 PDF ファイルを直接印刷する」(P. 46)

プリントショリモード（プリント処理モード）

PDF ファイルの印刷処理をするモードを選択します。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
・［PDF Bridge］を選択した場合と［PS］を選択した場合では、印刷結果が異なることがあります。
・［PS］を選択した場合は、［レイアウト］は表示されません。

［PDF Bridge］（初期値）
PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。
［PS］
PDF ファイルを、Adobe 社製の PostScript の機能を使用して処理します。

ブスウ（部数）

印刷する部数を、1 〜 999 部の間で設定します。初期値は［1 ブ］です。

補足
・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。

リョウメン（両面）

両面印刷について設定します。

補足
・ この項目は、両面印刷ユニット（DocuPrint 405 の場合はオプション）を装着している場合に設定できます。

［シナイ］（初期値）
両面印刷を行いません。
［チョウヘントジ］
用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。
［タンペントジ］
用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。

インサツ モード（印刷モード）

画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。
［ヒョウジュン］（初期値）
標準的な速度、画質で印刷します。
［コウセイサイ］
印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。

パスワード *5 の No.1、3、4、5 の文字使用可（参照 P. 104）

PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。
設定できる文字は、英数半角で 32 文字までです。

ソート

複数部数を、1 部ごとにソート（1、2、3...1、2、3...）して印刷するかどうかを設定します。
初期値は［シナイ］です。

ヨウシサイズ（用紙サイズ）

出力する用紙サイズを設定します。
[A4]（初期値）
A4 サイズの用紙に印刷されます。
[ジドウ]
印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。

補足
・ プリント設定の［キホン ノ ヨウシ サイズ］の設定により、[A4]ではなく［8.5x11"］が表示されます。その場合は、[8.5x11"］を選択すると、8.5x11" サイズの用紙に印刷されます。

レイアウト

印刷するときのレイアウトについて設定します。

補足
・ この項目は、[プリントショリモード］が［PS］に設定されている場合は表示されません。

[ジドウバイリツ]（初期値）
印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A4 またはレターサイズのどちらかを自動的に判別し、印刷されます。
[100%（トウバイ）]
印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。
[カタログ（ショウサッシ）]
印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、印刷結果がカタログのようにページ割り付けされて両面印刷されます。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、[ジドウバイリツ］で印刷されます。

補足
・ 両面印刷ユニット（DocuPrint 405 の場合はオプション）が取り付けられていない場合は、片面に印刷されます。
・［ヨウシサイズ］で［A4］を設定している場合は、A4 サイズの用紙に印刷されます。
・［ヨウシサイズ］で［ジドウ］を設定している場合は、A3、または A4 の用紙に印刷されます。

[2 アップ]
1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。
[4 アップ]
1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。

PostScript

このメニューで設定できる項目については、PostScript ソフトウエアキット（オプション）に同梱されている PostScript Driver Library CD-ROM 内のマニュアル（PDF）を参照してください。

機械管理者メニュー

［キカイカンリシャメニュー］は、ネットワーク / ポート設定、システム設定（警告音、節電モード、システム時計など）、プリント設定、メモリー設定、プリンターの設定値やハードディスクなどの初期化、フォームデータの削除などについて設定するためのメニューです。

ネットワーク / ポート設定

［ネットワーク / ポート セッテイ］は、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

パラレル

パラレルポートを使う場合に設定します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、パラレルポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。
初期値は［キドウ］で、パラレルポートを使う設定になっています。

注記
・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード シテイ（プリントモード指定）*1 （参照 P. 104）
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
［ART EX］［PCL］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［HexDump］*4 （参照 P. 104）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■PJL*2 （参照 P. 104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■Adobe ツウシンプロトコル（Adobe 通信プロトコル）
PostScript の通信プロトコルを設定します。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［ヒョウジュン］（初期値）
通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
［バイナリー］
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が［ヒョウジュン］に比べて速くなることがあります。
［TBCP］
通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

補足
・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
・ 通常は、初期値の［ヒョウジュン］で使用してください。
・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。

■ジドウ ハイシュツ ジカン（自動排出時間）*3（参照 P. 104）
データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。
時間は 5 〜 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。初期値は［30 ビョウ］です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■ソウホウコウ ツウシン（双方向通信）
パラレルインターフェイスの双方向送信（IEEE1284）を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ユウコウ］です。

LPD

LPD を使う場合に設定します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、LPD を使う設定になっています。

補足
・ LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード シテイ（プリントモード指定）*1（参照 P. 104）
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
［ART EX］［PCL］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［HexDump］*4（参照 P. 104）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■PJL*2（参照 P. 104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■コネクションタイムアウト *3（参照 P. 104）
印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 〜 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。初期値は［16 ビョウ］です。

■TBCP フィルター
PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ムコウ］です。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ポートバンゴウ（ポート番号）
ポート番号を 1 〜 65535 の間で設定します。初期値は［515］です。

NetWare

NetWare を使う場合に設定します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、NetWare ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。
初期値は［テイシ］です。NetWare を使う場合、［キドウ］に設定してください。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■トランスポートプロトコル
NetWare で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX/SPX、TCP/IP のどちらか、または両方が使えます。初期値は［TCP/IP,IPX/SPX］です。

補足
・ TCP/IP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。

■プリントモード シテイ（プリントモード指定）*1（参照 P．104）
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
［ART EX］［PCL］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［HexDump］*4（参照 P．104）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■PJL*2（参照 P．104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ケンサク カイスウ（検索回数）*3（参照 P．104）
ファイルサーバーを検索する回数を設定します。
1 〜 100 回の間で 1 回単位、または上限なしを設定します。検索間隔は、1 分です。初期値は［ジョウゲンナシ］です。

■TBCP フィルター
PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ムコウ］です。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

SMB

SMB を使う場合に設定します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、SMB ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、SMB を使う設定になっています。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■トランスポートプロトコル
SMB で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。NetBEUI、TCP/IP のどちらか、または両方が使えます。初期値は［TCP/IP,NetBEUI］です。

補足
・ TCP/IP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。

■プリントモード シテイ（プリントモード指定）*1（参照 P. 104）
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
［ART EX］［PCL］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［HexDump］*4（参照 P. 104）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■PJL*2（参照 P. 104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■TBCP フィルター
PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ムコウ］です。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

IPP

IPP を使う場合に設定します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。IPP を使う場合、［キドウ］に設定してください。

補足
・ IPP ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード シテイ（プリントモード指定）*1 （参照 P. 104）
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
［ART EX］［PCL］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［HexDump］*4 （参照 P. 104）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■PJL*2 （参照 P. 104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■アクセスケン セイギョ（アクセス権制御）
印刷ジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ムコウ］です。

■DNS シヨウ（DNS 使用）
本機を認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。初期値は［ユウコウ］で、DNS 名を使用するようになっています。［ムコウ］にすると、IP アドレスを使って本機を認識します。

■ツイカポートバンゴウ（追加ポート番号）*3 （参照 P. 104）
追加ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

■タイムアウト
印刷データの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 ～ 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。初期値は［60 ビョウ］です。

■TBCP フィルター
PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ムコウ］です。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

EtherTalk

EtherTalk を使う場合に設定します。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、EtherTalk ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。EtherTalk を使う場合、［キドウ］に設定してください。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■PJL*2（参照 P. 104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

USB

USB ポートを使う場合に設定します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、USB ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、USB を使う設定になっています。

注記
・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード シテイ（プリントモード指定）*1（参照 P. 104）
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
[ART EX] [PCL] [PS] [ART4] [201H] [ESC/P] [HP-GL/2] [TIFF]
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。[PS] は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
[HexDump] *4（参照 P. 104）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■PJL*2（参照 P. 104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■ジドウ ハイシュツ ジカン（自動排出時間）*3（参照 P. 104）
データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。
時間は 5 ～ 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。初期値は［30 ビョウ］です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■Adobe ツウシンプロトコル（Adobe 通信プロトコル）
PostScript の通信プロトコルを設定します。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［ヒョウジュン］（初期値）
通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
［バイナリー］
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が［ヒョウジュン］に比べて速くなることがあります。
［TBCP］
通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

補足
・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
・ 通常は、初期値の［ヒョウジュン］で使用してください。
・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。

Port9100

Port9100 を使う場合に設定します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、Port9100 を使う設定になっています。

補足
・ Port9100 ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード シテイ（プリントモード指定）*1（参照 P. 104）
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
［ジドウ］（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
［ART EX］［PCL］［PS］［ART4］［201H］［ESC/P］［HP-GL/2］［TIFF］
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。［PS］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
［HexDump］*4（参照 P. 104）
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■PJL*2（参照 P. 104）
本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は［ユウコウ］にします。初期値は［ユウコウ］です。

■コネクションタイムアウト*3（参照 P. 104）
印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 〜 65535 秒の間で、1 秒単位に設定します。初期値は［60 ビョウ］です。

■ポートバンゴウ（ポート番号）
ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［9100］です。

■TBCP フィルター
PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。初期値は［ムコウ］です。

補足
・ この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

BMLinkS

BMLinkS (Business Machine Linkage Service) の設定をします。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、BMLinkS の状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ポートバンゴウ（ポート番号）
ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

UPnP

UPnP (Universal Plug and Play) の設定をします。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、UPnP の状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ポートバンゴウ（ポート番号）
ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

SOAP セッテイ（SOAP 設定）

SOAP(Simple Object Access Protocol) の設定をします。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、SOAP の状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［テイシ］です。

注記
・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ポートバンゴウ（ポート番号）
ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

SNMP セッテイ（SNMP 設定）

SNMP を使う場合に設定します。SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］で、SNMP を使う設定になっています。

注記
・ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■トランスポートプロトコル
SNMP で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX、UDP のどちらか、または両方が使えます。初期値は［UDP］です。

補足
・UDP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。
・IPX、UDP どちらのプロトコルを使うかは、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

■コミュニティトウロク (R)（コミュニティ登録 (R)）*5 の No.1 ～ 4 の文字使用可（参照 P. 104）
プリンターの管理情報（MIB）を読み出すためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。初期値は［ミトウロク］です。

■コミュニティトウロク (R/W)（コミュニティ登録 (R/W)）*5 の No.1 ～ 4 の文字使用可（参照 P. 104）
プリンターの管理情報（MIB）を読み書きするためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。初期値は［ミトウロク］です。

■コミュニティトウロク (Trap)（コミュニティ登録 (Trap)）*5 の No.1 ～ 4 の文字使用可（参照 P. 104）
トラップで使用するコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。初期値は［ミトウロク］です。

TCP/IP セッテイ（TCP/IP 設定）

■IP アドレス シュトクホウホウ（IP アドレス取得方法）
TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を AutoIP 機能付きの DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー、DHCP サーバー、BOOTP、または RARP から自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は［DHCP/Autonet］です。

補足
・［DHCP/Autonet］、［DHCP］、［BOOTP］、または［RARP］から、［シュドウ］に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。

■IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス *3（参照 P. 104）
これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。

注記
・誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。
・サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを “0” に設定した場合など）、数値の設定後に〈メニュー〉ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。
・明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。

インターネットサービス

インターネットサービスを使うかどうかを設定します。
［キドウ］に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。

■ポート ノ キドウ（ポートの起動）
電源を入れたときに、UPnP の状態を起動にするか停止にするかを設定します。初期値は［キドウ］です。

補足
・インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。

注記
・ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、［メモリーセッテイ］でメモリー割り当て容量を変更してください。

■ポートバンゴウ（ポート番号）
ポート番号を 1 〜 65535 の間で設定します。初期値は［80］です。

WINS サーバー セッテイ（WINS サーバー設定）

■DHCP カラ アドレスシュトク（DHCP からアドレス取得）
WINS（Windows Internet Name Service）を利用するために必要な、WINS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかしないかを指定します。自動的に取得しない場合、手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は［スル］です。

補足
・［スル］から［シナイ］に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。

■プライマリー IP アドレス、セカンダリー IP アドレス *3（参照 P. 104）
これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 〜 255 までの数値です。プライマリー IP アドレスが無効の場合、セカンダリー IP アドレスも無効になります。

注記
・誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。

Ethernet セッテイ（Ethernet 設定）

Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクターの種類を設定します。
［ジドウ］（初期値）
100M（全二重）、100M（半二重）、10M（全二重）、10M（半二重）を自動的に切り替えます。
［100M（ゼンニジュウ）］
100M（全二重）に固定して使う場合に選択します。
［100M（ハンニジュウ）］
100M（半二重）に固定して使う場合に選択します。
［10M（ゼンニジュウ）］
10M（全二重）に固定して使う場合に選択します。
［10M（ハンニジュウ）］
10M（半二重）に固定して使う場合に選択します。

IPX/SPX フレームタイプ

IPX/SPX の動作フレームタイプを設定します。
［ジドウ］（初期値）
フレームタイプを自動で設定します。
［Ethernet II］
Ethernet 仕様のフレームタイプを使います。
［Ethernet 802.3］
IEEE802.3 仕様のフレームタイプを使います。
［Ethernet 802.2］
IEEE802.3/IEEE802.2 仕様のフレームタイプを使います。
［Ethernet SNAP］
IEEE802.3/IEEE802.2/SNAP 仕様のフレームタイプを使います。

ウケツケ セイゲン（受け付け制限）

■IP ポート セイゲン（IP ポート制限）
印刷を受け付ける IP アドレスを制限するかしないかを設定します。［スル］に設定すると、登録されている IP アドレス以外からの印刷を受け付けません。初期値は［シナイ］です。

補足
・［スル］に設定しても、登録されている IP アドレスがすべて 000.000.000.000 の場合は、無効となります。

■ウケツケ IP アドレスセッテイ（受け付け IP アドレス設定）*3 （参照 P. 104）
受け付ける IP アドレスを制限する場合に、印刷を受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、10 個まで登録できます。登録した IP アドレスには、アドレスマスクを設定します。IP アドレス、アドレスマスクは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。たとえば、［IP アドレス］：129.249.110.23、［IP アドレスマスク］：255.255.255.0 と設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、129.249.110.*（1 ～ 254）です。

SNTP セッテイ（SNTP 設定）

■NTP サーバー トノ ドウキ
SNTP（Simple Network Time Protocol）サーバーと時刻を同期するかしないかを指定します。初期値は［シナイ］です。

■セツゾク カンカク（接続間隔）
SNTP サーバーとの接続間隔を 1 ～ 500 時間の間で、1 時間単位に設定します。初期値は［168 ジカン］です。

■NTP サーバー IP アドレス
NTP サーバーの IP アドレスを設定します。IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。初期値は［000.000.000.000］です。

HTTP-SSL/TLS ツウシン（HTTP-SSL/TLS 通信）

SSL/TLS プロトコルを使った通信を行うかどうかを設定します。

補足
・この項目は、サーバー証明書が登録されている場合に表示されます。

■ユウコウ／ムコウ ノ セッテイ（有効／無効の設定）
［ユウコウ］に設定すると、SSL/TLS プロトコルを使用して HTTP 通信を行います。初期値は［ムコウ］です。

■ポートバンゴウ（ポート番号）
ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。初期値は［443］です。

システム設定

［システム セッテイ］は、警告音、節電モードなど、本機の動作設定を行うためのメニューです。

イジョウ ケイコクオン（異常警告音）

本機に異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。初期値は［ナラサナイ］です。音量の調整はできません。

ソウサパネル セッテイ（操作パネル設定）*3（参照 P. 104）

■ソウサパネル セイゲン（操作パネル制限）
メニュー操作に、暗証番号による制限をかけるかどうかを設定します。［スル］に設定すると、メニュー操作時に暗証番号の入力が必要になります。初期値は［シナイ］です。

補足
・［スル］に設定したときに暗証番号が設定されていないと、暗証番号設定画面が表示されます。暗証番号として 12 桁の数字を、〈▼〉、〈▲〉ボタンを押して入力してください。〈▶〉、〈◀〉ボタンで桁を移動できます。
・暗証番号として、「000000000000」は設定できません。

■アンショウバンゴウ セッテイ（暗証番号設定）
操作パネル制限を設定している場合の暗証番号を変更できます。現在設定されている暗証番号を 12 桁の数字で入力すると、暗証番号を入力する画面が表示されます。新しい暗証番号を設定してください。

補足
・［ソウサパネル セイゲン］を［スル］に設定しないと、暗証番号を変更できません。

■ニンショウエラー アクセスキョヒ（認証エラー アクセス拒否）
認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。初期値は［シナイ］です。

■ニンショウ カイスウ（認証回数）
認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラーの回数を 1 〜 10 回の間で、1 回単位に設定します。初期値は［5 カイ］です。

補足
・この項目は、［ニンショウエラー アクセスキョヒ］が［スル］に設定されている場合に表示されます。

メニュー ジドウカイジョ（メニュー自動解除）*3（参照 P. 104）

メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを設定します。解除しないか、解除する時間を 1 〜 30 分の間で 1 分単位に設定します。初期値は［シナイ］です。

テイデンリョク モード（低電力モード）

低電力モードは、一定の時間が経過すると、自動的にフューザー部の温度を下げて機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。初期値は［ユウコウ］です。

補足
・［スリープ モード］の設定が［ムコウ］になっている場合は、［テイデンリョク モード］を［ムコウ］に設定できません。

参照
・「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」（P. 74）

テイデンリョクイコウジカン（低電力移行時間）

低電力モードに移行するまでの時間を 2 ～ 240 分の間で 1 分単位に設定します。低電力モードになると、操作パネルのディスプレイが消灯し、〈節電〉ボタンのランプが点灯します。初期値は［15 フンゴ］です。

参照
・「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 74)

スリープ モード

スリープモードは、低電力モードよりもさらに機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。初期値は［ユウコウ］です。

補足
・［テイデンリョク モード］の設定が［ムコウ］になっている場合は、［スリープ モード］を［ムコウ］に設定できません。

参照
・「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 74)

スリープモードイコウジカン（スリープモード移行時間）*3（参照 P. 104）

スリープモードに移行するまでの時間を 5 ～ 240 分の間で 1 分単位に設定します。節電モードになると、操作パネルのディスプレイが消灯し、〈節電〉ボタンのランプが点灯します。初期値は［30 フンゴ］です。

参照
・「操作例：低電力 / スリープモードの設定を変更する」(P. 74)

ジドウ ジョブリレキ（自動ジョブ履歴）

処理を行った印刷データに関する情報（ジョブ履歴レポート）を、自動的に印刷するかどうかを設定します。
［プリントシナイ］（初期値）
ジョブ履歴レポートを自動的に印刷しません。
［プリントスル］
過去に自動で排出されていない印刷データの履歴が、記憶領域いっぱいになった時点（50 件）で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちの印刷データは記録されません。

レポート リョウメンプリント（レポート両面プリント）

両面印刷ユニット（DocuPrint 405 の場合はオプション）が取り付けられている場合で、レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。
［カタメン］（初期値）
［リョウメン］

プリント カノウ リョウイキ（プリント可能領域）

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。初期値は［ヒョウジュン］です。

バナーシート セッテイ（バナーシート設定）

■バナーシート シュツリョク（バナーシート出力）
バナーシートを出力するかどうかを設定します。出力する場合は、文書のはじめに出力するか、終わりに出力するか、またははじめと終わりに出力するかを設定します。

■バナーシートトレイ
バナーシートを出力するトレイを、［トレイ 1］～［トレイ 4］、［トレイ 6］から設定します。初期値は［トレイ 1］です。

補足
・［トレイ 3］、［トレイ 4］は、2 トレイモジュール（オプション）、または大容量給紙トレイ（オプション）です。［トレイ 6］は、大容量給紙キャビネット（オプション）です。

セキュリティープリント ソウサ（セキュリティープリント操作）

セキュリティープリント機能を使用するかどうかを設定します。
[ユウコウ]（初期値）
セキュリティープリント機能を使用する設定になっています。
[ムコウ]
セキュリティープリントを印刷できなくなります。

補足
・ この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

システムトケイ（システム時計）*3（参照 P. 104）

本機のシステム時計の日付（年 / 月 / 日）と時刻（時 / 分）を、西暦（4 桁、2000 〜 2099 年の範囲)、24 時間表示で設定します。ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストに印刷されます。

■ヒヅケ（日付）
2002 年 01 月 01 日のように、YYYY/MM/DD の形式で設定します。

■ジコク（時刻）
12 時 02 分のように、HH/MM の形式で設定します。

■ヒヅケ ヒョウジ キリカエ（日付表示切り替え）
日付の表示順序を、YYYY/MM/DD（年 / 月 / 日)、MM/DD/YYYY（月 / 日 / 年)、DD/MM/YYYY（日 / 月 / 年）から設定します。

■ジコク ヒョウジ キリカエ（時刻表示切り替え）
時刻表示を、12 時間表示、24 時間表示から設定します。

■タイムゾーン
必要に応じて、タイムゾーンを設定します。

■サマータイム セッテイ、サマータイム カイシビ、サマータイム シュウリョウビ（サマータイム設定、サマータイム開始日、サマータイム終了日）
必要に応じて、サマータイムについて設定します。

ドラム ジュミョウドウサ（ドラム寿命動作）

ドラムカートリッジの交換時期になった場合、印刷を停止するか、停止しないかを設定します。初期値は［スル］です。

補足
・ この項目は、カスタムモードがオンになっている場合は、表示されません。カスタムモードについては、「カスタムモードについて」(P. 163) を参照してください。

ミリ／インチ キリカエ（ミリ／インチ切り替え）

表示を ㎜ 単位にするか、インチ単位にするかを設定します。初期値は［ミリ］です。

データ アンゴウカ（データ暗号化）

システム内部（NV メモリー、内蔵増設ハードディスク）のデータを暗号化するための設定を行います。

補足
・ この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

■アンゴウカ ショリ（暗号化処理）
データの暗号化をするかしないかを設定します。初期値は［シナイ］です。
暗号化を［スル］に設定した場合は、さらに暗号キーを設定します。

■アンゴウカ キー（暗号化キー）
データを暗号化する場合の暗号化キーを数字 12 桁で設定します。初期値は［000000000000］です。

補足
・［アンゴウカ キー］は、セキュリティ対策上の必要から、設定を行っても、必ず設定画面には初期値の［000000000000］が表示されます。

HDD ノ ウワガキ ショウキョ（HDD の上書き消去）

内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に、内蔵増設ハードディスク内のデータを上書き消去してよいかどうか、消去してよい場合の回数を 1 〜 3 回までの間で設定します。初期値は［3 カイ］です。

補足
・ この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

プリントジョブ ノ オイコシ（プリントジョブの追い越し）

プリントジョブの追い越しを許可するか禁止するかを設定します。初期値は［キンシ］です。

補足
・ この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

ソフトウェア ダウンロード

ソフトウエアダウンロードを許可するか禁止するかを設定します。初期値は［キョカ］です。

ニンショウ／シュウケイカンリ（認証／集計管理）

本機の使用を許可されたユーザーかどうかを確認（認証）し、認証されたユーザーの印刷枚数などを集計できます。本機に登録されたパスワードで認証する「本体認証」と、ネットワーク上のサーバー等にある認証情報を使って認証する「ネット認証」があります。また、認証を行う場合は、認証情報の保存先、認証失敗の記録について設定します。

参照
- 本機へのパスワードの登録には、CentreWare Internet Services を使用します。登録方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。
- ネットワーク上のサーバー等にある認証情報は、あらかじめ本機に設定しておく必要があります。登録方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

■ニンショウ／シュウケイ ウンヨウ（認証／集計運用）
本体認証またはネット認証を行うか行わないかを設定します。
［ネットニンショウ／シュウケイ］
ネット認証を行います。
［ホンタイニンショウ／シュウケイ］
本体認証を行います。
［ニンショウ シナイ］（初期値）
認証を行いません。

補足
- ［ネットニンショウ／シュウケイ］（ネット認証）は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられているときに表示されます。

■ニンショウジョウホウ セッテイ（認証情報設定）
［ジョウホウ ホゾンサキ］（情報保存先）
認証情報を NV メモリー（［NVM］）と内蔵増設ハードディスク（［HDD］）のどちらに保存するかについて設定します。初期値は［NVM］です。

補足
- この項目は、［ネットニンショウ／シュウケイ］が設定されている場合に表示されます。

［ニンショウシッパイノ キロク］（認証失敗の記録）
不正なアクセスを検知するために、10 分間に設定した回数だけ認証に失敗すると、ログに認証失敗を記録します。その場合の失敗回数を設定します。初期値は［10 カイ］です。

補足
- 認証に失敗してもログに記録が残るだけで、アクセス拒否は行われません。

ホゾンブンショ セッテイ（保存文書設定）

蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。

補足
- この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■ブンショノ ホゾンキカン（文書の保存期間）
蓄積文書を一定期間後に削除するかどうかを設定します。
［セッテイ シナイ］（初期値）
保存したままにします。
［セッテイ スル］
一定期間後に削除します。

■ホゾンキカン（保存期間）
保存期間（日数）を設定します。初期値は［7 ニチ］です。

補足
- この項目は、［ブンショノ ホゾンキカン］が［セッテイ スル］の場合に表示されます。

■ケイカゴノ サクジョジコク（経過後の削除時刻）
文書を削除する時刻を設定します。初期値は午前 3 時（［3:00AM］または［3:00］）です。

■セキュリティプリントサクジョ（セキュリティプリント削除）
セキュリティープリント文書を削除対象にするかどうかを設定します。初期値は［ムコウ］（対象にしない）です。

■サンプルプリントサクジョ（サンプルプリント削除）
サンプルプリント文書を削除対象にするかどうかを設定します。初期値は［ムコウ］（対象にしない）です。

プリント設定

［プリント セッテイ］は、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定するためのメニューです。

ヨウシノ オキカエ（用紙の置き換え）

自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。
［シナイ］（初期値）
置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。
［オオキイサイズヲ センタク］
選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。
［チカイサイズヲ センタク］
選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。
［テザシトレイ カラ キュウシ］
手差しトレイにセットされている用紙に印刷します。手差しトレイが取り付けられている場合に設定できます。

補足
・コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。

トレイノ ヨウシシュルイ（トレイの用紙種類）

用紙トレイにセットする用紙の種類を設定します。初期値はすべての用紙トレイで［フツウシ］です。ユーザー1〜5には、［ヨウシメイショウセッテイ］で設定した名称が表示されます。

■トレイ1
［フツウシ］、［サイセイシ］、［ウラガミ］、［OHP フィルム］、［ラベルシ］、［ウスガミ］、［ユーザー1〜5］から選択します。

■トレイ2〜4、5（テザシ）、6
［フツウシ］、［サイセイシ］、［ウラガミ］、［アツガミ 1］、［アツガミ 2］、［OHP フィルム］、［ラベルシ］、［ウスガミ］、［ユーザー1〜5］から選択します。

補足
・［トレイ 3］、［トレイ 4］は、2 トレイモジュール（オプション）、または大容量給紙トレイ（オプション）です。［トレイ 6］は、大容量給紙キャビネット（オプション）です。

ヨウシノ ユウセン ジュンイ（用紙の優先順位）

自動トレイ選択によって選択される用紙トレイにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。ユーザー1〜5には、［ヨウシメイショウセッテイ］で指定した名称が表示されます。

■フツウシ、サイセイシ、ユーザー1〜5（普通紙、再生紙、ユーザー1〜5）
それぞれの用紙種類について、優先順位を［セッテイシナイ］、［1〜10 バンメ］から選択します。異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択される用紙トレイは、［トレイノ ユウセン ジュンイ］によって決定します。［セッテイシナイ］に設定すると、その用紙種類が設定されている用紙トレイは、自動トレイ選択の対象となりません。初期値は普通紙［1 バンメ］、再生紙［2 バンメ］、それ以外は［セッテイシナイ］です。

参照
・「自動トレイ選択について」（P. 69）

トレイノ ユウセン ジュンイ（トレイの優先順位）

オプションの用紙トレイが取り付けられている場合に、用紙トレイ 1 〜 4 について、自動トレイ選択によって選択される用紙トレイの優先順位を設定します。手差しトレイは、自動トレイ選択の対象外です。

■1 〜 4 バンメ（1 〜 4 番め）
［1 バンメ］〜［4 バンメ］に任意のトレイを設定します。
2 トレイモジュール（オプション）または大容量給紙トレイ（オプション）を取り付けていない場合は、［2 バンメ］〜［3 バンメ］は表示されません。大容量給紙キャビネット（オプション）を取り付けていない場合は、［4 バンメ］は表示されません。
各優先順位に同じ用紙トレイは設定できません。［2 バンメ］が設定できる用紙トレイは、［1 バンメ］で設定した用紙トレイ以外で、［3 バンメ］が設定できる用紙トレイは、［1 バンメ］と［2 バンメ］で設定した用紙トレイ以外で、［4 バンメ］が設定できる用紙トレイは、［1 バンメ］、［2 バンメ］、［3 バンメ］で設定した用紙トレイ以外になります。残りの用紙トレイが優先順位 5 になります。初期値の優先順位は用紙トレイ 1 〜 4、6 の順番です。

トレイノ ヨウシサイズ（トレイの用紙サイズ）

用紙トレイにセットする用紙のサイズを設定します。

補足
・ 各用紙トレイにセットできる用紙サイズについては、「使用できる用紙」（P. 58）を参照してください。

■トレイ 1 〜 4
［ジドウ］（初期値）
定形サイズの用紙をセットする場合に選択します。
［テイケイガイ］
ユーザー定義サイズの用紙をセットする場合は、［テイケイガイ］を選択し、たて（140.0 〜 297.0㎜ の範囲）、よこ（182.0 〜 432.0㎜ の範囲）のサイズを 1㎜ 単位で設定します。

ヨウシ メイショウ セッテイ（用紙名称設定）

［ヨウシノ ユウセンジュンイ］、［ヨウシノ ガシツ ショリ］、［トレイノ ヨウシシュルイ］などに表示されるユーザー 1 〜 5 を、任意の名称に変更できます。

■ユーザー 1 〜 5*5 の No.1 〜 4 の文字使用可（参照 P. 104）
英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 〜 12 文字の間で設定します。

センタートレイノ オフセット（センタートレイのオフセット）

センタートレイにオフセット排出をする場合のオフセットの仕方を設定します。
［セット ゴトニ ズラス］（初期値）
複数部印刷する場合に、1 部ごとにずらして出力します。
［ジョブ ゴトニ ズラス］
印刷ジョブごとにずらして出力します。
［シナイ］
オフセット排出をしません。

フィニッシャートレイノ オフセット（フィニッシャートレイのオフセット）

フィニッシャートレイにオフセット排出をする場合のオフセットの仕方を設定します。
［セット ゴトニ ズラス］（初期値）
複数部印刷する場合に、1 部ごとにずらして出力します。
［ジョブ ゴトニ ズラス］
印刷ジョブごとにずらして出力します。
［シナイ］
オフセット排出をしません。

ID インジ キノウ（ID 印字機能）

特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。
初期値は［シナイ］です。

キスウページ ノ リョウメン（奇数ページの両面）

枚数が奇数ページの文書を印刷する場合に、最初のページを片面印刷にするか両面印刷にするかを設定します。初期値は［カタメン］です。

補足

- この項目は、両面印刷ユニット（DocuPrint 405 の場合はオプション）が取り付けられている場合に設定できます。

ミトウロクフォームヘノ インジ（未登録フォームへの印字）

印刷時に指定されたフォームが未登録だった場合に、印刷を中止するか、データのみ印刷するかを設定します。
初期値は［スル（データ ノミ）］です。

キホン ノ ヨウシ サイズ（基本の用紙サイズ）

用紙サイズの初期値を A4、8.5 × 11"（レター）のいずれかに設定します。初期値は［A4］です。

サイズ ケンチ キリカエ（サイズ検知切り替え）

用紙サイズのサイズ検知モードを設定します。初期値は［AB ケイ］です。用紙サイズについては、「使用できる用紙」(P. 58) を参照してください。
候補値は次のとおりです。
［AB ケイ］（初期値）
AB 系の用紙サイズを検知します。
［AB ケイ（8 カイ／ 16 カイ）］
八開 / 十六開の用紙サイズを検知します。
［AB ケイ（8 × 13 ／ 8.5×14）］
8 × 13"、8.5 × 14" の用紙サイズを検知します。
［インチ ケイ］
インチ系の用紙サイズを検知します。
［AB ケイ（8.5×13"）］
8.5 × 13" および AB 系の用紙サイズを検知します。

メモリー設定 *3（参照 P. 104）

［メモリー セッテイ］は、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量の変更などを行うためのメニューです。
本機では、下表の用途にメモリーが割り当てられます。なお、オプション製品の装着状態によって、割り当てられるメモリーの種類が異なります。

メモリーの種類	標準	PS
PS 使用メモリー	×	○
ART EX フォームメモリー	△	△
ART IV フォームメモリー	△	△
ART IV ユーザー定義メモリー	○	○
HPGL オートレイアウトメモリー	△	△
受信バッファ容量	○	○
プリントページバッファ	○	○

○ ：設定可
× ：設定不可
△ ：内蔵増設ハードディスク（オプション）装着時は設定不可
PS ：PostScript ソフトウエアキット（オプション）

注記
- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。ただし、パラレル、USB ポートは自動的に停止することはありません。

補足
- メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。
- プリントページバッファは、実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。したがって、プリントページバッファの容量を直接変更することはできません。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、［機能設定リスト］で確認できます。また、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。
  解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。

PS シヨウ メモリー（PS 使用メモリー）

PostScript の使用メモリー容量を指定します。
8.00 〜 96.00MB の間で、0.25MB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［16.00M］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

補足
- この項目は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

ART EX フォームメモリー

ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。
128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は、本機のメモリー容量が 64MB の場合は［128K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。

注記
・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

ART4 フォームメモリー

ART Ⅳ用フォームのメモリー容量を指定します。
128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［128K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。

注記
・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

ART4 ユーザテイギ メモリー（ART4 ユーザー定義メモリー）

ART Ⅳのユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。
32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［32K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

注記
・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

HPGL オートレイアウトメモリー

HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。
64 ～ 5120KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［64K］です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには［ハードディスク］と表示されます。

ジュシンバッファ ヨウリョウ（受信バッファ容量）

インターフェイスごとに、受信バッファ（コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。LPD、SMB、IPP の場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。
受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

補足
・ ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。
・ コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。

■パラレルメモリー、NetWare メモリー、lPP メモリー、USB メモリー、Port9100 メモリー
64 ～ 1024KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値はパラレル、USB は［64K］、そのほかは［256K］です。

補足
・［IPP メモリー］は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられていないときに表示されます。内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合は、［IPP スプール］が表示されます。

■EtherTalk メモリー
1024 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は［1024K］です。

補足
・［EtherTalk メモリー］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

■LPD スプール、SMB スプール
［スプールシナイ］（初期値）
スプール処理は行われません。あるコンピューターからの LPD、SMB の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。
LPD の場合は、LPD 専用の受信バッファのメモリー容量を、1024 ～ 2048KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は［1024K］です。
SMB の場合は、SMB 専用の受信バッファのメモリー容量を、64 ～ 1024KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は［256K］です。
［ハードディスクスプール］
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

補足
・この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

［メモリースプール］
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.5 ～ 32.00MB の間で 0.25MB 単位に設定します。初期値は［1.00M］です。なお、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは、［ハードディスクスプール］、または［スプールシナイ］を選択してください。

注記
・Windows 2000 で、LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。
この場合には、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックス＞［ポート］タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリースプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。

■IPP スプール
［スプールシナイ］（初期値）
スプール処理は行われません。あるコンピューターからの IPP の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。
IPP 専用の受信バッファのメモリー容量を、64 ～ 1024KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は［256K］です。
［ハードディスクスプール］
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

補足
・［IPP　スプール］は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられていないときは、［IPP メモリー］が表示されます。

初期化 / データ削除

［ショキカ / データサクジョ］は、NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ハードディスク、集計レポートの初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除するためのメニューです。

補足
・ 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。初期値については、「4.3 メニュー一覧」(P. 105)を参照してください。

NV メモリー ショキカ（NV メモリー初期化）

NV メモリーを初期化します。NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。
NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

ハードディスク ショキカ（ハードディスク初期化）

内蔵増設ハードディスクを初期化します。初期化によって消去されるデータは、追加フォント、201H、ART EX、ART IV、HP-GL、HP-GL/2、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、SMB フォルダー、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書です。セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントの各ログは、消去されません。

補足
・ この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

データ イッカツ サクジョ（データ一括削除）

NV メモリー、内蔵増設ハードディスク（装着時）を初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、内蔵増設ハードディスクを初期化すると、追加フォント、201H、ART EX、ART IV、HP-GL、HP-GL/2、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、SMB フォルダー、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントの各ログは、消去されません。

注記
・ 内蔵増設ハードディスクが装着されている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが消灯している場合があります。処理が終了すると、ディスプレイに英文のメッセージが表示されます。それまでは電源を切らないようにしてください。

シュウケイ レポート ショキカ（集計レポート初期化）

プリンター集計レポートの初期化を行います。初期化を行うと、集計値が 0 になります。

参照
・「プリンター集計のデータを初期化する」(P. 181)

キノウベツカウンター ショキカ（機能別カウンター初期化）

機能別カウンターの初期化を行います。初期化を行うと、カウンターの値が 0 になります。

フォームノ サクジョ（フォームの削除）

登録されているフォームがない場合は、「フォームトウロク ハ アリマセン」と表示されます。

■ART EX フォーム サクジョ（ART EX フォーム削除）
ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。

■ART4 フォーム サクジョ（ART4 フォーム削除）
ART IV 用フォームを削除します。

■201H フォーム サクジョ（201H フォーム削除）
エミュレーションの 201H 用フォームを削除します。

■ESC/P フォーム　サクジョ（ESC/P フォーム削除）
エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。

■PCL フォーム　サクジョ（PCL フォーム削除）
エミュレーションの PCL 用フォームを削除します。

フォント　サクジョ（フォント削除）

エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。

■PCL フォント　サクジョ（PCL フォント削除）
エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。

セキュリティブンショサクジョ（セキュリティ文書削除）

セキュリティープリントとして蓄積されている文書を削除します。文書がない場合は、「ブンショ　ハ　アリマセン」と表示されます。

補足
・ この項目は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

言語切り替え

操作パネルの表示言語を、［ニホンゴ］、［English］から選択します。初期値は［ニホンゴ］です。

補足
・［English］に設定した場合、プリンタードライバーや弊社ソフトウエアは英語版を使用してください。
なお、英語版のプリンタードライバー、ContentsBridge Utility は、「付録 A.4 製品情報の入手方法」(P. 201) を参照して弊社のホームページからダウンロードしてください。

[*1]［ジドウ］設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

[*2]・［ユウコウ］の設定時、プリントモード指定が［HexDump］に設定されている場合、PJL コマンドも［HexDump］で出力されます。

・PJL コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

[*3]〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

[*4]ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。
Countジョブの先頭データからのバイト数が印刷されます。
16 進数表記コード印刷データを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式で印刷されます。
ASCII コード印刷データを JIS X0201 の 8 単位符号を使用して印刷されます。JIS X0201 で定義されていない文字は、UD と印刷されます。

[*5]文字列一覧

No.	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	ｱｧｲｨｳｩｴｪｵｫｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑ ﾒﾓﾔｬﾕｭﾖｮﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝｰﾞ
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrst uvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#$%&'()*+,-./:;〈=〉?@［\］^_`
6	ESC/P 拡張子文字 （このメニューは常に1文字間隔のスクロールとする	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : ; 〈= 〉 ?@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ［\］^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

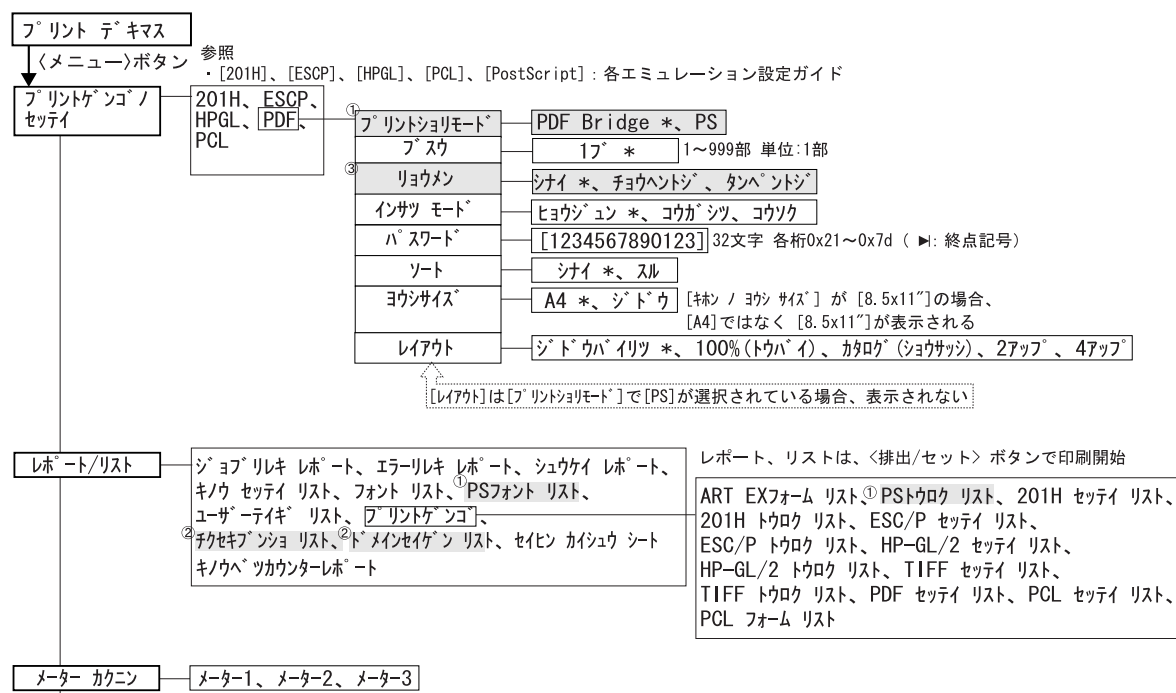
4.3 メニュー一覧

各機能についての詳細は、「4.2 メニュー項目の説明」(P. 77) を参照してください。

・ 主な操作と使用する操作パネルのボタン

メニュー画面を表示 / 終了する	〈メニュー〉ボタン
メニューの階層を切り替える	〈▶〉ボタン（1 つ下の階層に移動）、または〈◀〉ボタン（1 つ上の階層に戻る）
同階層内でメニューや項目を切り替える	〈▲〉ボタン（1 つ前のメニューや項目を表示）、または〈▼〉ボタン（1 つあとのメニューや項目を表示）
設定値のカーソル（_）を左右に移動する	〈▶〉ボタン（1 つ右に移動）、または〈◀〉ボタン（1 つ左に移動）
設定を確定する	〈排出 / セット〉ボタン

補足

・ ▭は次のオプション製品を取り付けた場合に設定できます。
①：PostScript ソフトウエアキット　②：内蔵増設ハードディスク
③：両面印刷ユニット(DocuPrint 505 では標準)
④：トレイ 3 およびトレイ 4　⑤：トレイ 6
⑥：フィニッシャー
*** は、初期値です。**

次ページに続く

前ページから

次ページに続く

前ページから

BMLinkS
ﾎﾟｰﾄ ﾉ ｷﾄﾞｳ
ｷﾄﾞｳ *、ﾃｲｼ
ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
80 *
1〜65535
UPnP
ﾎﾟｰﾄ ﾉ ｷﾄﾞｳ
ﾃｲｼ *、ｷﾄﾞｳ
ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
80 *
1〜65535
SOAP ｾｯﾃｲ
ﾎﾟｰﾄ ﾉ ｷﾄﾞｳ
ﾃｲｼ *、ｷﾄﾞｳ
ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
80 *
1〜65535
SNMP ｾｯﾃｲ
ﾎﾟｰﾄ ﾉ ｷﾄﾞｳ
ｷﾄﾞｳ *、ﾃｲｼ
ﾄﾗﾝｽﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾛﾄｺﾙ
UDP *、IPX、IPX,UDP
ｺﾐｭﾆﾃｨﾄｳﾛｸ(R)、
ｺﾐｭﾆﾃｨﾄｳﾛｸ(R/W)、
ｺﾐｭﾆﾃｨﾄｳﾛｸ(Trap)
[ﾐﾄｳﾛｸ]
英数/半角カタカナ入力12文字
横に進むには 〈◀〉〈▶〉
上下に進むには 〈▲〉〈▼〉
/候補値選ぶには
設定を
確定するには 〈排出/ｾｯﾄ〉
TCP/IP ｾｯﾃｲ
IPｱﾄﾞﾚｽ
ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
DHCP/Autonet *、DHCP、BOOTP、RARP、ｼｭﾄﾞｳ
IPｱﾄﾞﾚｽ、
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ、
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
IPアドレス、ゲートウェイアドレス
000〜255 単位:001
(224〜255.NNN.NNN.NNN、
127.NNN.NNN.NNNは設定不可)
サブネットマスク
各フィールド:000,128,192,224,240,248,252,254,255
IPｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
がｼｭﾄﾞｳの場合
IPｱﾄﾞﾚｽ、
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ、
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
192.168.1.100(取得成功時の例)、ｼｭﾄｸﾁｭｳ ﾃﾞｽ、
ｼｭﾄｸ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞｼﾀ
nnn.nnn.nnn.nnn
IPｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
がDHCP/Autonet、
DHCP、BOOTP、また
はRARPの場合
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｻｰﾋﾞｽ
ﾎﾟｰﾄ ﾉ ｷﾄﾞｳ
ｷﾄﾞｳ *、ﾃｲｼ
ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
80 *
1〜65535
WINSｻｰﾊﾞｰ ｾｯﾃｲ
DHCPｶﾗ
ｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸ
ｽﾙ *、ｼﾅｲ
ﾌﾟﾗｲﾏﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ、
ｾｶﾝﾀﾞﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
000〜255 単位:001
(224〜255.NNN.NNN.NNN、
127.NNN.NNN.NNNは設定不可)
DHCPｶﾗｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸ
がｼﾅｲの場合
ﾌﾟﾗｲﾏﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ、
192.168.1.100(取得成功時の例)、ｼｭﾄｸﾁｭｳ ﾃﾞｽ、
ｼｭﾄｸ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾃﾞｼﾀ
DHCPｶﾗｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸ
がｽﾙの場合
ｾｶﾝﾀﾞﾘｰ IPｱﾄﾞﾚｽ
nnn.nnn.nnn.nnn
Ethernet ｾｯﾃｲ
ｼﾞﾄﾞｳ *、100M(ｾﾞﾝﾆｼﾞｭｳ)、100M(ﾊﾝﾆｼﾞｭｳ)、
10M(ｾﾞﾝﾆｼﾞｭｳ)、10M(ﾊﾝﾆｼﾞｭｳ)、
IPX/SPXﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
ｼﾞﾄﾞｳ *、Ethernet Ⅱ、Ethernet 802.3、
Ethernet 802.2、Ethernet SNAP
ｳｹﾂｹ ｾｲｹﾞﾝ
IPﾎﾟｰﾄ ｾｲｹﾞﾝ
ｼﾅｲ *、ｽﾙ
ｳｹﾂｹ
IPｱﾄﾞﾚｽｾｯﾃｲ
No.1〜10
IPｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
ﾌｨﾙﾀｰｱﾄﾞﾚｽ
255.255.255.255
SNTP ｾｯﾃｲ
NTPｻｰﾊﾞｰ ﾄﾉ
ﾄﾞｳｷ
ｼﾅｲ *、ｽﾙ
ｾﾂｿﾞｸ ｶﾝｶｸ
168ｼﾞｶﾝ *
1〜500時間 単位:1時間
NTPｻｰﾊﾞｰIP
ｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
HTTP-SSL/TLS
ﾂｳｼﾝ
ﾕｳｺｳ/ﾑｺｳ ﾉ
ｾｯﾃｲ
ﾑｺｳ *、ﾕｳｺｳ
ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ
443 *
1〜65535

P．106から
システム セッテイ
イジョウ ケイコクオン
ナラサナイ ＊、ナラス
ソウサパネル セッテイ
ソウサパネル セイゲン
シナイ ＊、スル
スルを選択した場合は、暗証番号設定画面へ
アンショウバンゴウ セッテイ
[123456789012]
<排出/セット>
モウイチド ニュウリョク
ニンショウエラー アクセスキョヒ
シナイ ＊、スル
スルを選択した場合は、回数設定画面へ
2回入力した番号が一致した場合、アンショウバンゴウセッテイに戻る
ニンショウ カイスウ
5カイ ＊
1〜10回
メニュー ジドウカイジョ
シナイ ＊、30フンゴ
1〜30分 単位：1分
テイデンリョク モード
ユウコウ ＊、ムコウ
テイデンリョクイコウジカン
15フンゴ ＊
2〜240分 単位：1分
スリープ モード
ユウコウ ＊、ムコウ
スリープモードイコウジカン
30フンゴ ＊
5〜240分 単位：1分
ジドウ ジョブリレキ
プリント シナイ ＊、プリント スル
③レポート リョウメンプリント
カタメン ＊、リョウメン
プリント カノウ リョウイキ
ヒョウジュン ＊、カクチョウ
バナーシート セッテイ
バナーシート シュツリョク
シュツリョクシナイ ＊、スタートシート、エンドシート、スタート+エンドシート
バナーシート トレイ
トレイ1 ＊、トレイ2、④トレイ3、④トレイ4、⑤トレイ6
②セキュリティープリント ソウサ
ユウコウ ＊、ムコウ
システムトケイ
ヒヅケ
ヒヅケ(yyyy/mm/dd)
[yyyy]年 2000〜2099 単位：1、[mm]月 01〜12 単位：1、[dd]日 01〜31 単位：1
ジコク
ジコク(12ジカン)
時間 00〜23 単位：1、分 00〜59 単位：1
ヒヅケ ヒョウジ キリカエ
yyyy/mm/dd、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy
ジコク ヒョウジ キリカエ
12ジカンセイ、24ジカンセイ
タイムゾーン
GMT +09:00
−12:00〜+12:00、+9:30、+5:30、+4:30、+3:30、−3:30 単位：1時間
サマータイム セッテイ
シナイ ＊、スル
サマータイム カイシビ
カイシビ (mm/dd) /
サマータイム シュウリョウビ
シュウリョウビ (mm/dd) /
ドラム ジュミョウドウサ
プリント テイシ スル ＊、プリント テイシ シナイ
ミリ/インチ キリカエ
ミリ＊、インチ
データ アンゴウカ
アンゴウカ ショリ
シナイ、スル ＊
アンゴウカ キー
000000000000
HDD ノ ウワガキショウキョ
シナイ、1カイ、3カイ ＊
プリントジョブノ オイコシ
キンシ ＊、キョカ
ソフトウェア ダウンロード
キョカ ＊、キンシ
ニンショウ/シュウケイカンリ
ニンショウ/シュウケイ ウンヨウ
ニンショウ シナイ＊、②ネットニンショウ/シュウケイ ホンタイニンショウ/シュウケイ
ニンショウジョウホウ セッテイ
ジョウホウ ホゾンサキ
NVM ＊、②HDD
ニンショウシッパイノ キロク
シナイ、10カイ ＊
1〜600回 単位：1回
②
ホゾンブンショ セッテイ
ブンショノ ホゾンキカン
セッテイ シナイ＊、セッテイ スル
ホゾンキカン
7ニチ＊
1〜14日 単位：1日
ケイカゴノ サクジョジコク
3:00AM ＊
[ジコク ヒョウジ キリカエ]が12時間制の場合
3:00 ＊
[ジコク ヒョウジ キリカエ]が24時間制の場合
セキュリティプリント サクジョ
ムコウ ＊、ユウコウ
サンプルプリントサクジョ
ムコウ ＊、ユウコウ

P. 106から
プ゛リント セッテイ
ヨウシ ノ オキカエ
シナイ ＊、オオキイサイズ゛ヲ センタク、チカイサイズ゛ヲ センタク、テザ゛シトレイ カラ キュウシ
トレイ ノ ヨウシシュルイ
トレイ1
フツウシ ＊、サイセイシ、ウラガ゛ミ、OHPフィルム、ラベ゛ルシ、ウスガ゛ミ、1.ユーザ゛ー1、2.ユーザ゛ー2、3.ユーザ゛ー3、4.ユーザ゛ー4、5.ユーザ゛ー5
トレイ2、5(テザ゛シ)
フツウシ ＊、サイセイシ、ウラガ゛ミ、アツガ゛ミ1、アツガ゛ミ2、OHPフィルム、ラベ゛ルシ、ウスガ゛ミ、1.ユーザ゛ー1、2.ユーザ゛ー2、3.ユーザ゛ー3、4.ユーザ゛ー4、5.ユーザ゛ー5
④トレイ3、4、
⑤トレイ6
フツウシ ＊、サイセイシ、ウラガ゛ミ、アツガ゛ミ1、アツガ゛ミ2、OHPフィルム、ラベ゛ルシ、ウスガ゛ミ、1.ユーザ゛ー1、2.ユーザ゛ー2、3.ユーザ゛ー3、4.ユーザ゛ー4、5.ユーザ゛ー5
横に進むには 〈◀〉〈▶〉
上下に進むには 〈▲〉〈▼〉
/候補値選ぶには
設定を確定するには 〈排出/セット〉
ヨウシノ ユウセン ジ゛ュンイ
フツウシ
1バ゛ンメ ＊
サイセイシ
2バ゛ンメ ＊
アツガ゛ミ1、アツガ゛ミ2
セッテイシナイ ＊
1〜9バ゛ンメ、セッテイシナイから選択
1.ユーザ゛ー1、2.ユーザ゛ー2、3.ユーザ゛ー3、4.ユーザ゛ー4、5.ユーザ゛ー5
セッテイシナイ ＊
トレイ ノ ユウセン ジ゛ュンイ
1バ゛ンメ
トレイ1 ＊
④ 2バ゛ンメ
トレイ2 ＊
④ 3バ゛ンメ
トレイ3 ＊
⑤ 4バ゛ンメ
トレイ4 ＊
セットされているトレイによって表示される項目は異なる
タテ 139.7〜297.0
ヨコ 182.0〜432.0 単位：1mm
トレイ ノ ヨウシサイズ゛
トレイ1
ジ゛ド゛ウ ＊、テイケイガ゛イ 〈排出/セット〉 タテ：98 ヨコ：76 ＊
トレイ2
ジ゛ド゛ウ ＊、テイケイガ゛イ 〈排出/セット〉 タテ：148 ヨコ：76 ＊
④ トレイ3、4
ジ゛ド゛ウ ＊、テイケイガ゛イ 〈排出/セット〉 タテ：148 ヨコ：77 ＊
ヨウシ メイショウ セッテイ
1.ユーザ゛ー1
[ユーザ゛ー1]
2.ユーザ゛ー2
[ユーザ゛ー2]
3.ユーザ゛ー3
[ユーザ゛ー3]
4.ユーザ゛ー4
[ユーザ゛ー4]
5.ユーザ゛ー5
[ユーザ゛ー5]
英数、半角カタカナ文字
1〜12文字で設定
センタートレイノ オフセット
セット ゴ゛トニズ゛ラス ＊、ジ゛ョブ゛ ゴ゛トニズ゛ラス 、シナイ
⑥ フィニッシャートレイノ オフセット
セット ゴ゛トニズ゛ラス ＊、ジ゛ョブ゛ ゴ゛トニズ゛ラス 、シナイ
ID インジ゛ キノウ
シナイ ＊、ヒダ゛リウエ、ミギ゛ウエ、ヒダ゛リシタ、ミギ゛シタ
③ キスウペ゛ージ゛ ノ リョウメン
カタメン ＊、リョウメン
ミトウロクフォームヘノ インジ゛
スル(デ゛ータ ノミ) ＊、シナイ
キホン ノ ヨウシ サイズ゛
A4 ＊、8.5X11″
サイズ゛ ケンチ キリカエ
ABケイ ＊、ABケイ(8カイ/16カイ)、ABケイ(8X13/8X14)、インチ ケイ、ABケイ(8X13″)

P. 106 から

メモリー セッテイ
PSショウ メモリー
16.00M アキxxx.xxM
8.00MB～96.00MB 単位:0.25MB
ART EXフォームメモリー
128K アキxxx.xxM、ハードディスク
128KB～2048KB 単位:32KB
ハードディスク装着時は表示のみ
ART 4 フォームメモリー
ART4ユーザテイギメモリー
32K アキxxx.xxM
32KB～2048KB 単位:32KB
HPGLオートレイアウトメモリー
64K アキxxx.xxM、ハードディスク
64KB～5120KB 単位:32KB
ジュシンバッファ ヨウリョウ
[IPPメモリー]は HDD装着時は 表示されない
パラレル メモリー
64K アキxxx.xxM
64KB～1024KB 単位:32KB
LPD スプール
スプール シナイ *、
ハードディスクスプール、
メモリースプール
1024K アキxxx.xxM
1024KB～2048KB 単位:32KB
1.00M アキxxx.xxM
0.5MB～32.00MB 単位:0.25MB
NetWare メモリー
256K アキxxx.xxM
SMB スプール
64KB～1024KB 単位:32KB
IPP メモリー
IPP スプール
EtherTalk メモリー
USB メモリー
Port9100 メモリー
ショキカ/データサクジョ
NVメモリー ショキカ
[セット]デ ショキカ カイシ
ハードディスク ショキカ
データ イッカツ サクジョ
シュウケイ レポート ショキカ
キノウベツカウンター ショキカ
フォームノ サクジョ
ART EXフォーム サクジョ、ART4フォーム サクジョ、201Hフォーム サクジョ、ESC/Pフォーム サクジョ、PCLフォーム サクジョ
最大登録数
ハードディスク無:64、ハードディスク有:2048
ただし、201H、ESC/Pについては、ハードディスクの有無にかかわらず、64
0001.ABCDEFGH(登録時 例)、
フォームトウロクハアリマセン(登録なし時)
フォント サクジョ
PCLフォント サクジョ
セキュリティブンショサクジョ
ユーザーIDヲセンタク 1001.User1(登録時 例)、
ブンショハアリマセン(登録なし時)
横に進むには <◀><▶>
上下に進むには /候補値選ぶには <▲><▼>
設定を 確定するには <排出/セット>

5 困ったときには

5.1　用紙が詰まったときは

⚠ 注意
- つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに連絡してください。

操作パネルのメッセージに従って、カバーを開け、詰まっている用紙を、破れないようにゆっくり取り除いてください。用紙が破れた場合は、紙片が内部に残っていないかどうかを確認してください。
処置を終了しても紙づまりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。
紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

ここでは、以下の箇所で発生した紙づまりの処置方法について説明しています。
参照先は、以下のとおりです。

・「カバー A の奥で用紙が詰まった場合」(P. 112)

・「カバー B の奥で用紙が詰まった場合」(P. 115)

・「カバー C の奥で用紙が詰まった場合」(P. 116)

・「カバー D（両面印刷ユニット）の奥で用紙が詰まった場合」(P. 117)

・「カバー E（インターフェイスユニット）の奥で用紙が詰まった場合」(P. 118)

・「手差しトレイ（トレイ 5）で用紙が詰まった場合」(P. 119)

・「用紙トレイ（トレイ 1 〜 4）で用紙が詰まった場合」(P. 119)

・「大容量給紙トレイ（トレイ 3）で用紙が詰まった場合」(P. 120)

・「大容量給紙トレイ（トレイ 4）で用紙が詰まった場合」(P. 121)

・「大容量給紙キャビネット（トレイ 6）で用紙が詰まった場合」(P. 122)

・「フィニッシャーのフィニッシャー接続部で用紙が詰まった場合」(P. 125)

・「フィニッシャーの排出トレイで用紙が詰まった場合」(P. 126)

・「フィニッシャーの内部で用紙が詰まった場合」(P. 127)

補足
- 両面印刷ユニットは、DocuPrint 405 の場合は、オプションです。
- 用紙トレイのうちの 2 トレイモジュール（トレイ 3、トレイ 4）は、オプションです。
- 大容量給紙トレイ、大容量給紙キャビネット、フィニッシャーは、オプションです。

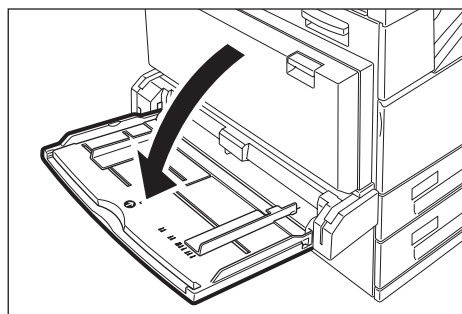
注記
- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから、処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、本機のメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

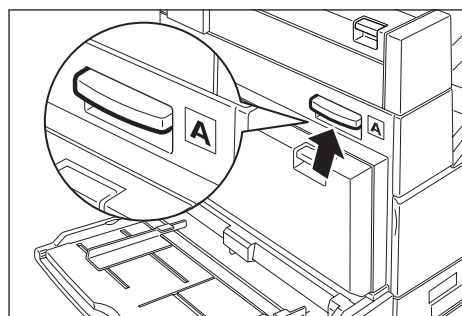
カバーAの奥で用紙が詰まった場合

定着ユニット付近で用紙が詰まると、次のいずれかのメッセージが表示されます。

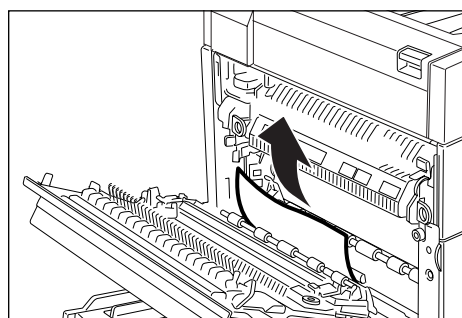
①	②	③
ｶﾊﾞｰAｦ ｱｹﾃ ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ	Aｦｱｹ [A1]ｦ ｸﾘｶｴｼ ｵｼｻｹﾞ ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ	Aｦｱｹ [A2]ﾉ ﾂﾏﾐｦ ﾋﾗｲﾃ ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ

メッセージ①の場合

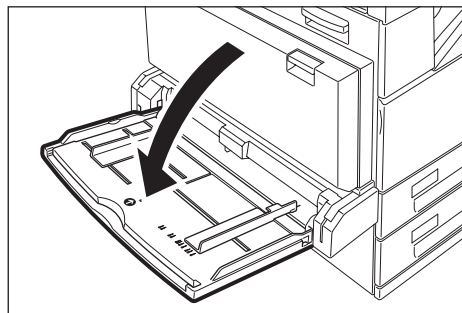
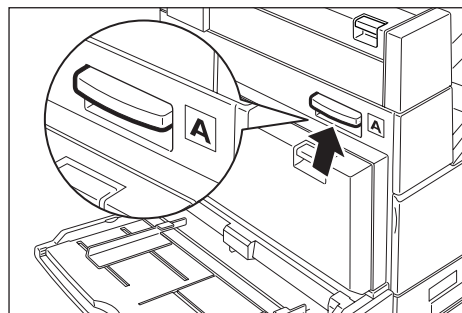
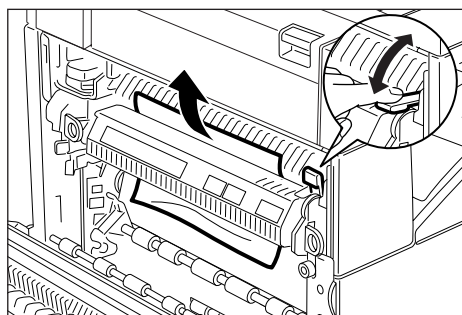
次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1.　手差しトレイを開けます。

2.　カバーAの右側上部にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバーを開けます。

3.　詰まっている用紙を取り除きます。

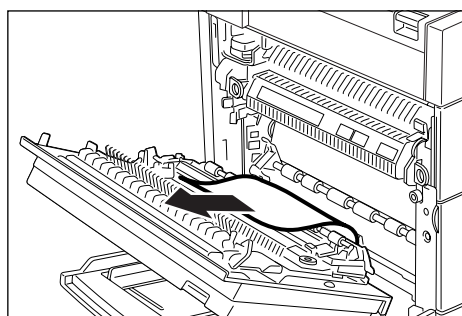
⚠注意

・「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

メッセージ②の場合

次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1.　手差しトレイを開けます。

2.　カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げ､ロックを解除して､カバーA を開けます。

3.　レバーA1 を矢印の方向に繰り返し押し下げます。詰まっている用紙が上方向に排出されるので、ゆっくり引き抜いて、取り除きます。

⚠ 注意

・「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

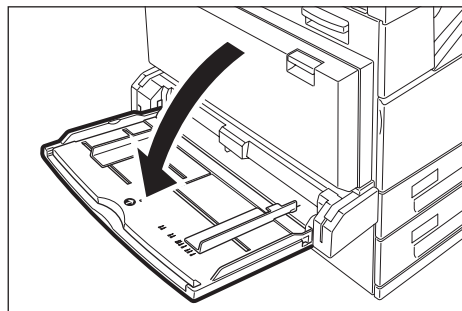
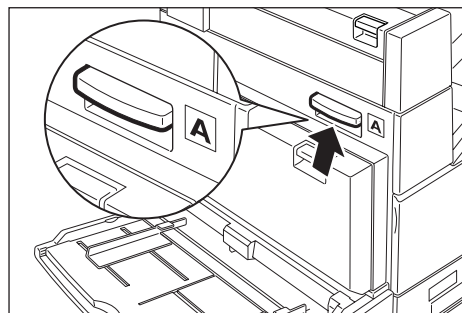
4.　詰まっている用紙が定着ユニットに達していないときは、矢印の方向へ用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

注記

・引き続き「ナケレバ　[A2] ノ ツマミヲ ヒライテ ヨウシヲ ジョキョ」というメッセージが表示された場合には、次の「A ヲ アケ　[A2] ノ ツマミヲ ヒライテ ヨウシヲ ジョキョ」というメッセージの場合の手順に従って用紙を取り除いてください。

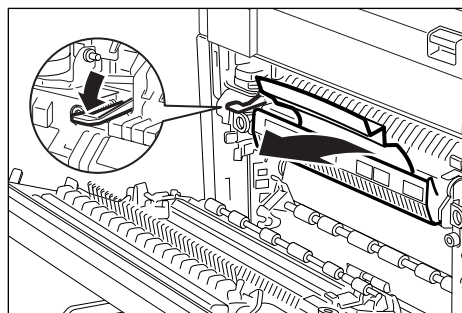
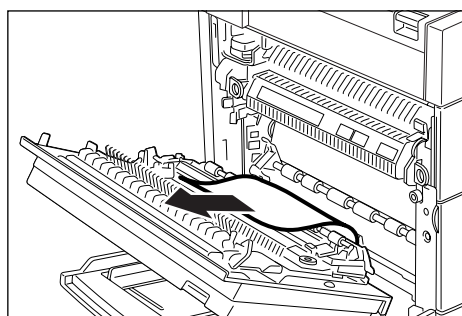
5.　カバー A、手差しトレイを元に戻します。

メッセージ③の場合

次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1．　手差しトレイを開けます。

2．　カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げ､ロックを解除して､カバーA を開けます。

3．　A2 のつまみを矢印の方向に開きます。
詰まっている用紙を上方向にゆっくり引き抜いて、取り除きます。

⚠ 注意

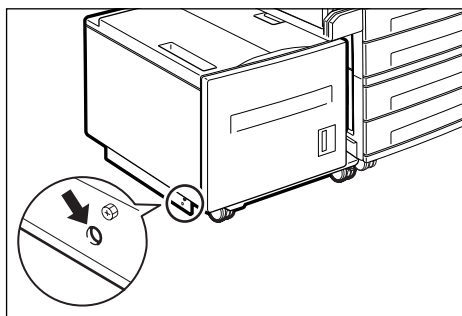
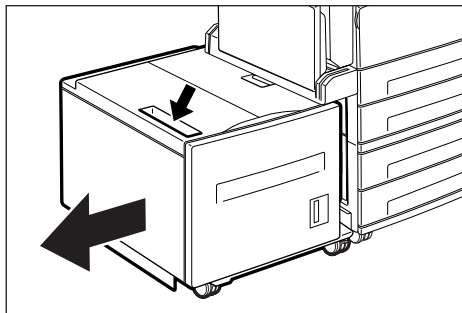
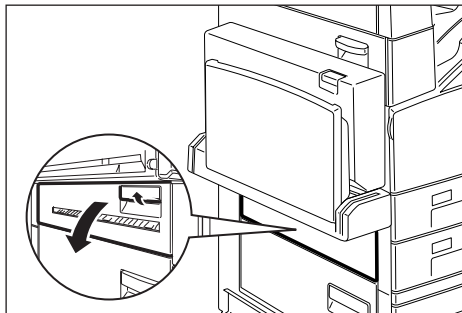
・「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

4．　詰まっている用紙が定着ユニットに達していないときは、矢印の方向へ用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

5．　カバー A、手差しトレイを元に戻します。

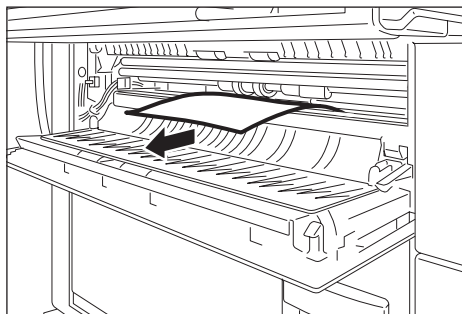
カバー B の奥で用紙が詰まった場合

カバー B（プリンター左側面下部）の奥で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ｶﾊﾞｰBｦ ｱｹﾃ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. **オプションの大容量給紙キャビネットを取り付けている場合は、大容量給紙キャビネット左側面の図の位置にあるネジが外れていることを確認します。**

2. **大容量給紙キャビネット上部左側にある取っ手を持って、大容量給紙キャビネットを矢印方向へ移動し、プリンターから離します。**

3. **カバー B の右側にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバー B を開けます。**

4. **詰まっている用紙を取り除きます。**

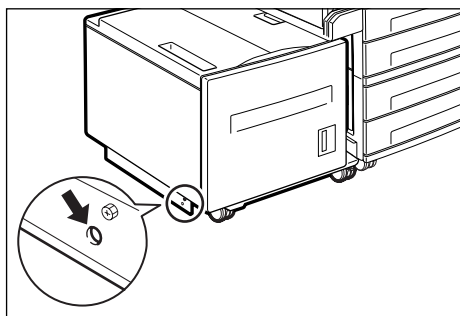
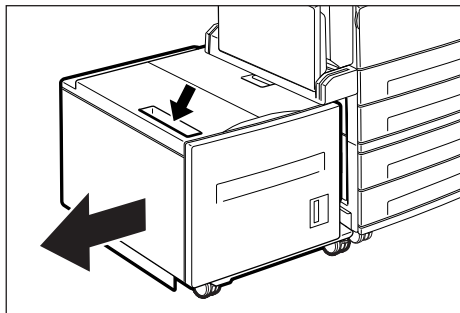
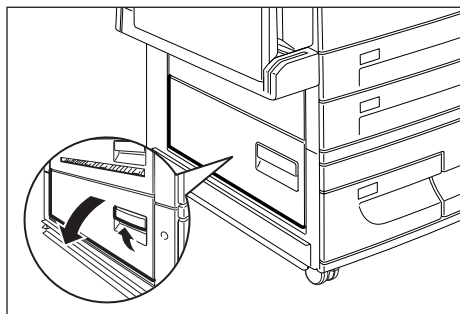
注記
・ プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

5. **カバー B、大容量給紙キャビネットを元に戻します。**

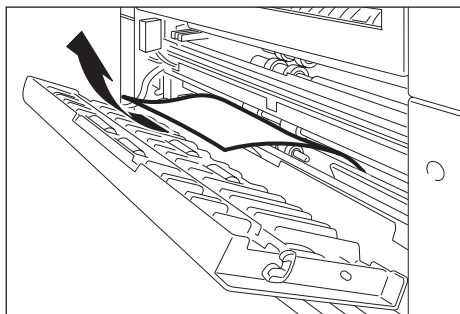
カバー C の奥で用紙が詰まった場合

カバー C（プリンター左側面下部）の奥で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ｶﾊﾞｰCｦ ｱｹﾃ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. オプションの大容量給紙キャビネットを取り付けている場合は、大容量給紙キャビネット左側面の図の位置にあるネジが外れていることを確認します。

2. 大容量給紙キャビネット上部左側にある取っ手を持って、大容量給紙キャビネットを矢印方向へ移動し、プリンターから離します。

3. カバー C の右側にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバー C を開けます。

4. 詰まっている用紙を取り除きます。

注記
・ プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

5. カバー C、大容量給紙キャビネットを元に戻します。

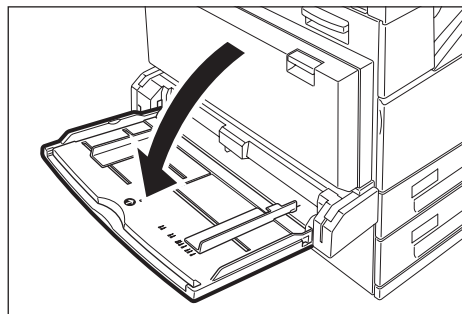
カバー D（両面印刷ユニット）の奥で用紙が詰まった場合

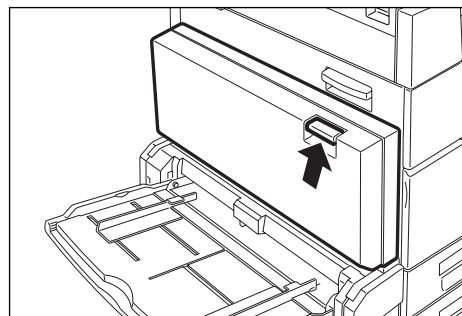
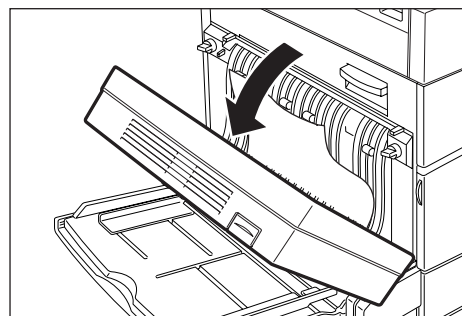
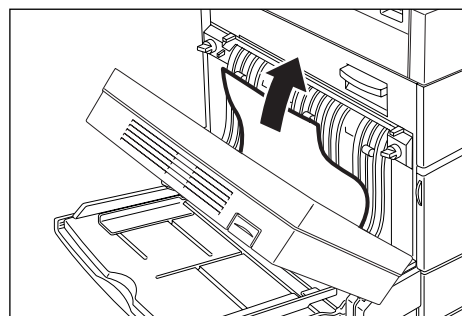
カバー D（両面印刷ユニット）の奥で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ｶﾊﾞｰDｦ ｱｹﾃ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

補足

・ DocuPrint 405 をご使用の場合、両面印刷ユニットはオプションです。

1. 手差しトレイを開けます。

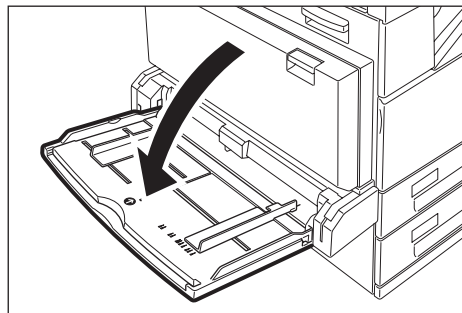
2. カバー D の右側上部にあるレバーを押し上げ、ロックを解除します。

3. カバー D を開けます。

4. 詰まっている用紙を取り除きます。

5. カバー D、手差しトレイを元に戻します。

カバー E（インターフェイスユニット）の奥で用紙が詰まった場合

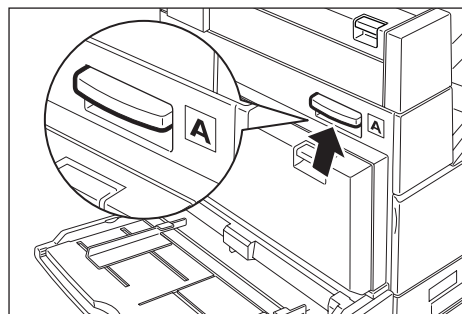
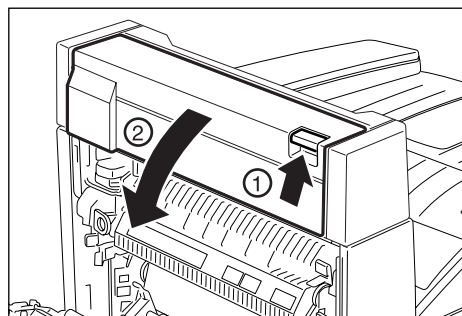
カバー E（インターフェイスユニット）の奥で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

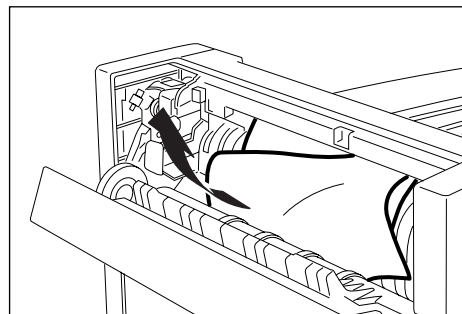
```
ｶﾊﾞｰAｦ ｱｹ Eｦ ｱｹﾃ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

補足
・ DocuPrint 405 をご使用の場合、両面印刷ユニットはオプションです。

1. 手差しトレイを開けます。

2. カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げ、ロックを解除して、カバーA を開けます。

補足
・ カバー A を開けずに、カバー E を直接開けることはできません。

3. カバー E の右側にあるレバーを押し上げ (1)、ロックを解除して、カバー E を開けます (2)。

4. 詰まっている用紙を取り除きます。

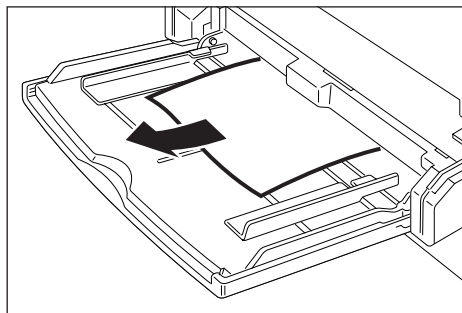
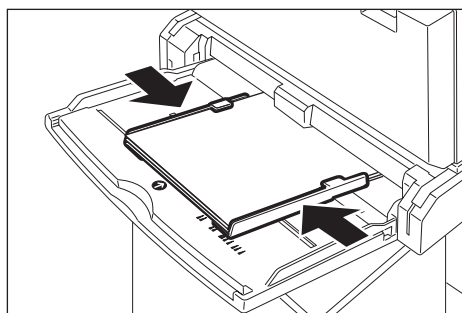
注記
・ プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

5. カバーE、カバーA、手差しトレイを元に戻します。

手差しトレイ（トレイ5）で用紙が詰まった場合

手差しトレイ（トレイ5）で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
テザ゛シトレイ カラ スベ゛テノ
ヨウシヲ トリダ゛シ サイセット
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

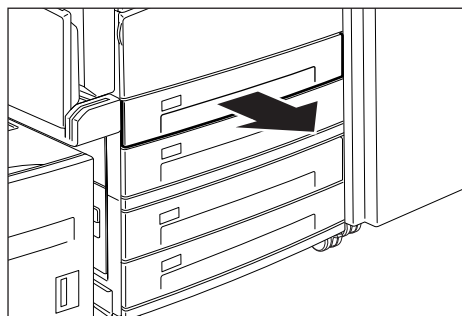
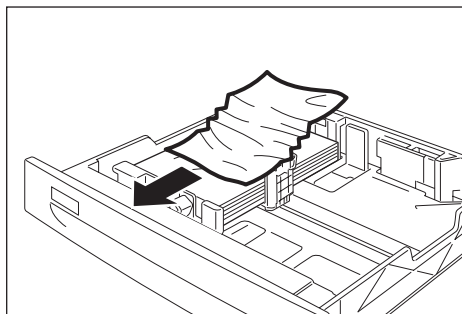
1. 詰まっている用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜いて、取り除きます。

2. セットしていた用紙をいったんすべて取り外します。用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れ、サイドガイドを用紙サイズの目盛りに合わせます。

用紙トレイ（トレイ1～4）で用紙が詰まった場合

用紙トレイ1、2を使用している場合または2トレイモジュール（オプション）を使用している場合、用紙トレイで用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
トレイ*ヲ ヒキダ゛シ
ヨウシヲ ジ゛ョキョ
```

補足

・ メッセージの「トレイ *」の「*」にはトレイを表す番号（1、2、3、4）のいずれかが入ります。

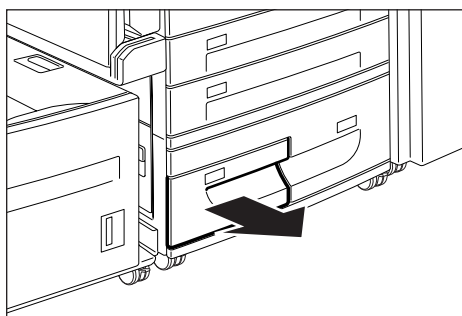
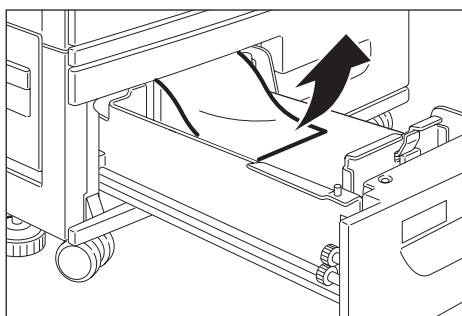
この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. 用紙トレイを引き出します。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

3. 用紙トレイを元に戻します。

大容量給紙トレイ（トレイ 3）で用紙が詰まった場合

大容量給紙トレイ（オプション）を使用している場合、トレイ 3 で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ﾄﾚｲ3ｦ ﾋｷﾀﾞｼ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. 用紙トレイを引き出します。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

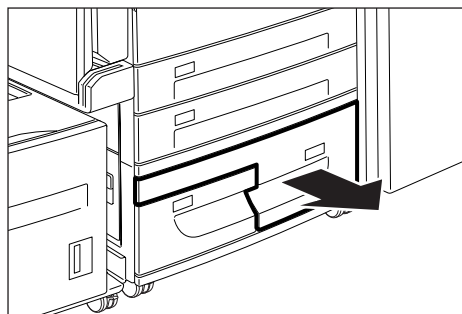
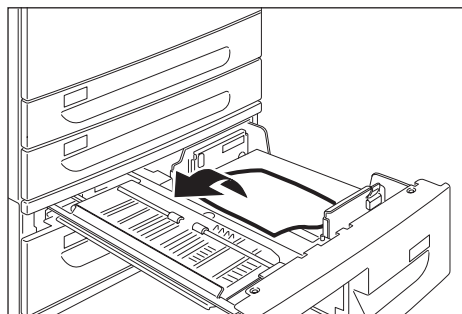
3. 用紙トレイを元に戻します。

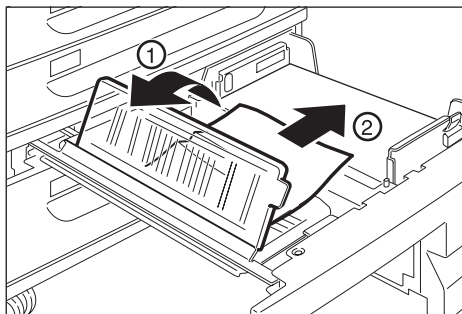
大容量給紙トレイ（トレイ 4）で用紙が詰まった場合

大容量給紙トレイ（オプション）を使用している場合、トレイ 4 で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ﾄﾚｲ4ｦ ﾋｷﾀﾞｼ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. **用紙トレイを引き出します。**

2. **詰まっている用紙を取り除きます。**

3. **用紙が内部カバーの下で詰まっている場合は、カバーを開けて（1）、用紙を取り除きます（2）。**

4. **用紙トレイを元に戻します。**

大容量給紙キャビネット（トレイ 6）で用紙が詰まった場合

トレイ 6 の排出口で詰まった場合

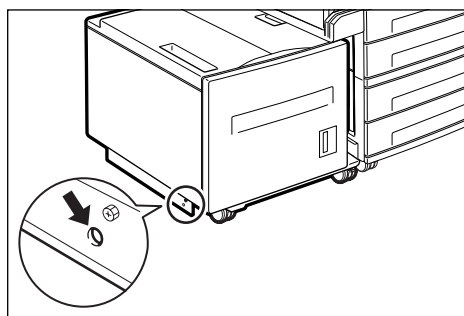
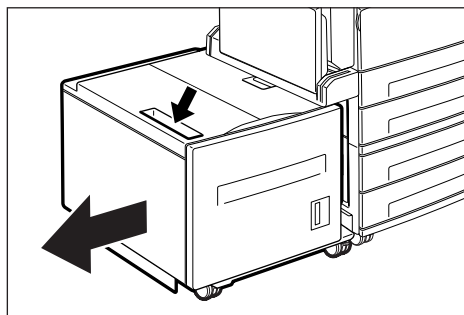
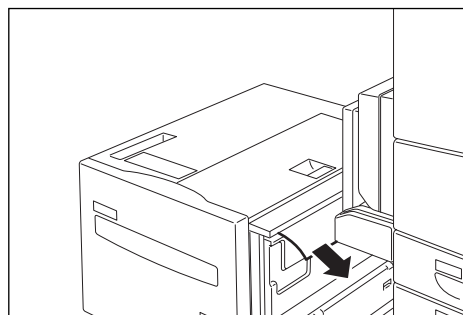
大容量給紙キャビネット（オプション）を使用している場合、トレイ 6 の排出口で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ﾄﾚｲ6ｦ ﾋﾀﾞﾘﾆ ｲﾄﾞｳ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. **大容量給紙キャビネット左側面の図の位置にあるネジが外れていることを確認します。**

補足

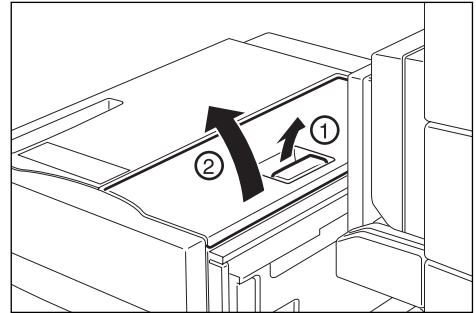
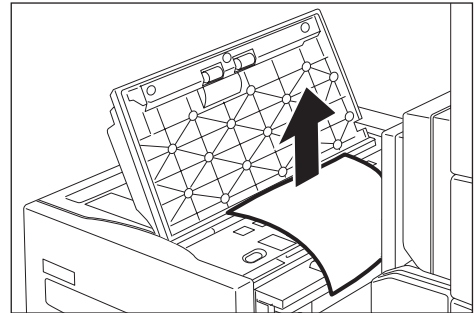
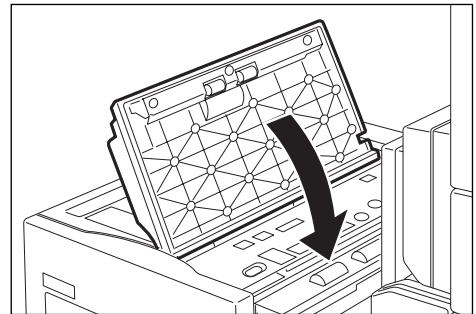
・ネジは、大容量給紙キャビネットの設置時に取り外しています。詳しくは、大容量給紙キャビネットに付属の『大容量給紙キャビネット（外付け）設置手順書』を参照してください。

2. **大容量給紙キャビネットの大容量給紙キャビネット上部左側にある取っ手を持って、大容量給紙キャビネットを左方向へ移動し、プリンターから離します。**

3. **詰まっている用紙を取り除きます。**

4. **大容量給紙キャビネットを元に戻します。**

トレイ 6 の上部カバー内で詰まった場合

大容量給紙キャビネット（オプション）を使用している場合、トレイ 6 の上部カバー内で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ﾄﾚｲ6ﾉ ｼﾞｮｳﾌﾞｶﾊﾞｰ
ｦ ｱｹﾃ ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

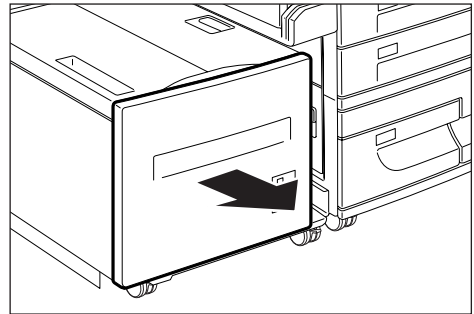
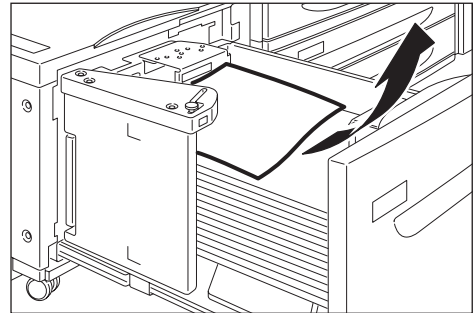
この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. トレイ 6 の上部カバーを開けます。

2. 詰まっている用紙を取り除きます。

3. 上部カバーを閉じます。

トレイ 6 内で詰まった場合

大容量給紙キャビネット（オプション）を使用している場合、トレイ 6 内で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
ﾄﾚｲ6ｦ ﾋｷﾀﾞｼ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1．　用紙トレイを引き出します。

2．　詰まっている用紙を取り除きます。

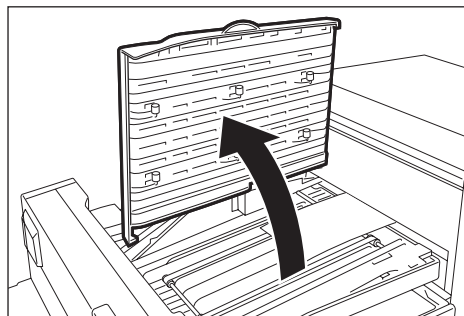
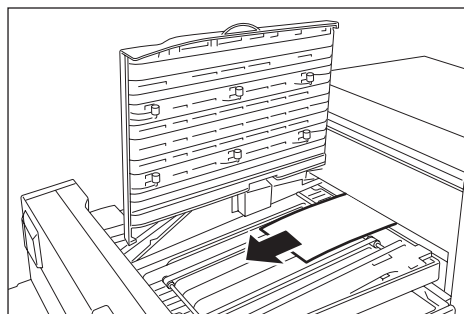
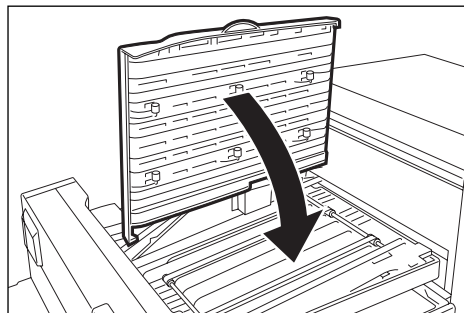
3．　用紙トレイを元に戻します。

フィニッシャーのフィニッシャー接続部で用紙が詰まった場合

フィニッシャー（オプション）のフィニッシャー接続部で用紙が詰まると、次のいずれかのメッセージが表示されます。

カバ゛ーFヲ ウエニ アケテ ヨウシヲ ジ゛ョキョ	Fヲ ウエニ アケテ ヨウシヲ ヒダ゛リニ ヒイテ ジ゛ョキョ

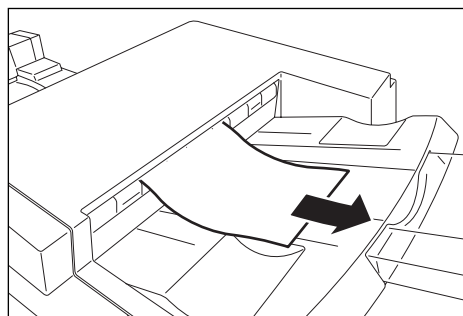
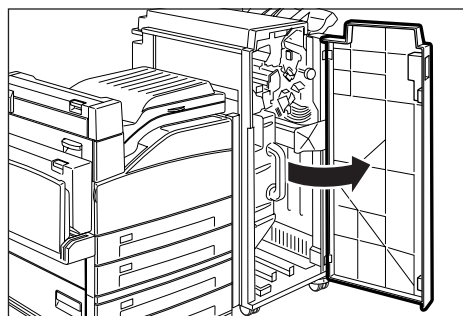
次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. フィニッシャー接続部のカバー F を開けます。

2. 用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

3. カバー F を閉じます。

フィニッシャーの排出トレイで用紙が詰まった場合

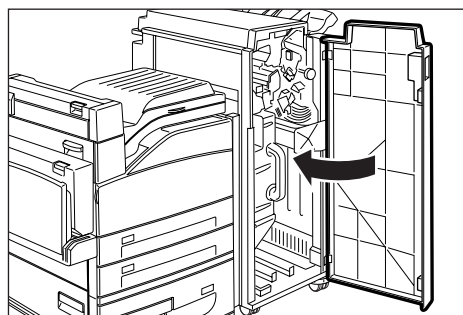
フィニッシャー（オプション）の排出トレイで用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
Gノ  ウエノトレイカラ  ヨウシヲ
ジ゛ョキョ  Gヲ  アケテ  シメル
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. **フィニッシャーの排出トレイで詰まっている用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。**

2. **カバー G を開きます。**

3. **カバー G を閉じます。**

補足

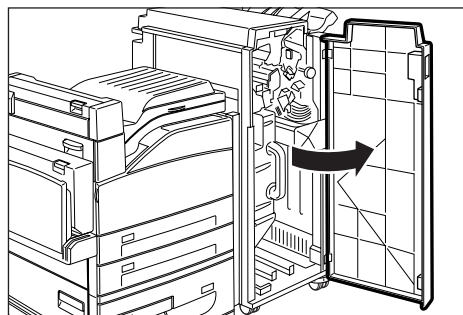
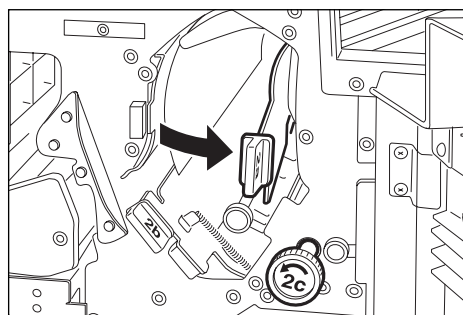
- カバーを開け閉めする操作は、詰まった用紙を取り除いたことをプリンターに認識させるために必要です。必ず行ってください。
- 引き続き「G ヲ アケ [2a] ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ」というメッセージが表示された場合には、P. 127 の「G ヲ アケ [2a] ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ」というメッセージの場合の手順に従って用紙を取り除いてください。
- 引き続き「G ヲ アケ [2a] ヲ アケテ [2c] ヲ マワシテ ジョキョ」というメッセージが表示された場合には、P. 128 の「G ヲ アケ [2a] ヲ アケテ [2c] ヲ マワシテ ジョキョ」というメッセージの場合の手順に従って用紙を取り除いてください。

フィニッシャーの内部で用紙が詰まった場合

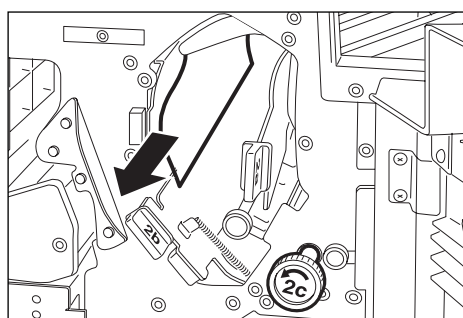
レバー［2a］内で詰まった場合

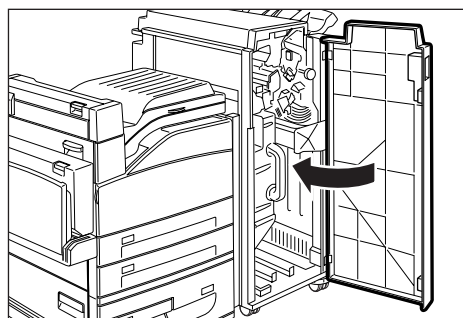
フィニッシャー内部のレバー［2a］の内側で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
Gｦ ｱｹ [2a]ｦ ｱｹﾃ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. **フィニッシャーのカバー G を開けます。**

2. **レバー［2a］を右方向に開きます。**

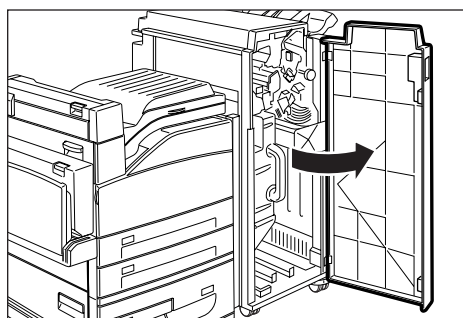
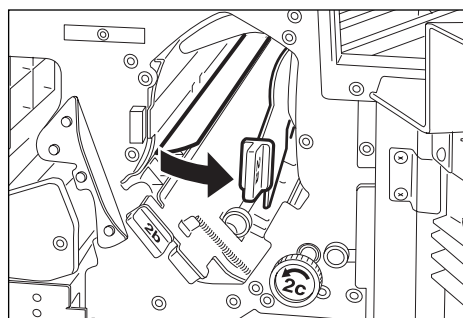
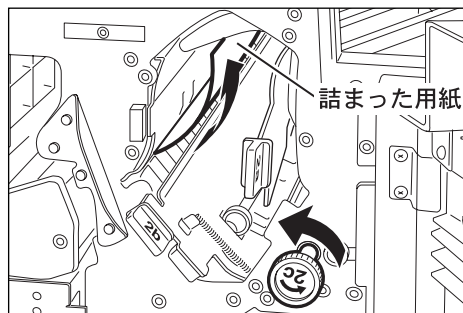
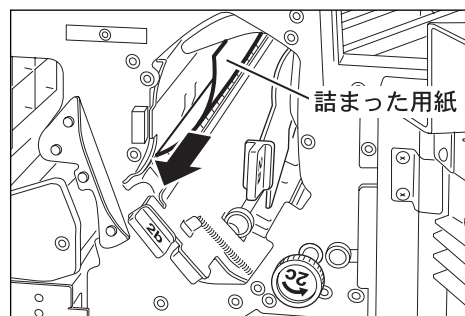
3. **詰まっている用紙を取り除きます。**

4. **レバー［2a］を元に戻します。**

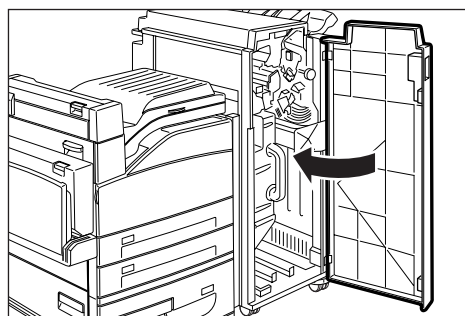
5. カバー G を閉じます。

レバー［2a］内で詰まった場合（[2c］のつまみを使う）

フィニッシャー内部のレバー［2a］内に用紙が詰まり、[2c］を使わないと取り除けないときには、次のメッセージが表示されます。

```
Gｦ ｱｹ [2a]ｦ ｱｹﾃ
[2c]ｦ ﾏﾜｼﾃ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

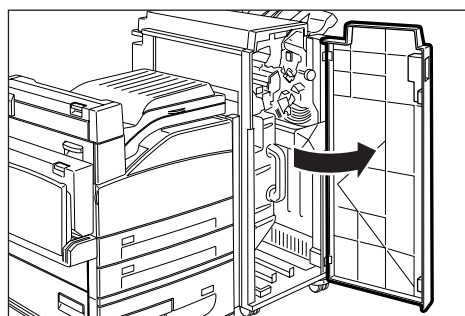
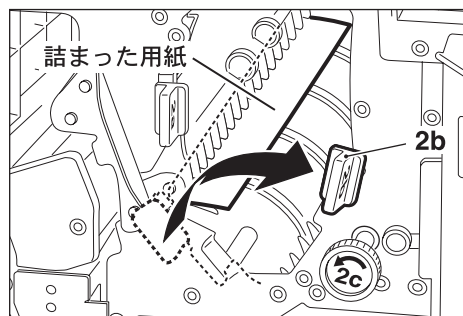
1. フィニッシャーのカバー G を開けます。

2. レバー［2a］を右方向に開きます。

3. [2c］のつまみを矢印の方向にまわして、詰まっている用紙を送り出します。

4. 用紙をゆっくり引き抜き、取り除きます。

5. レバー［2a］を元に戻します。

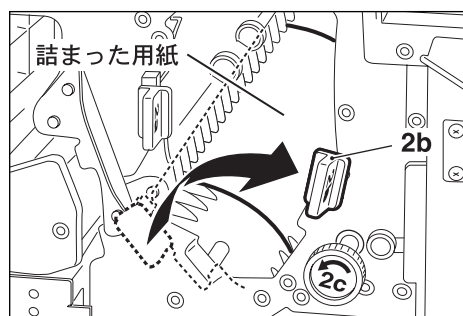
6. カバー G を閉じます。

レバー［2b］内で詰まった場合

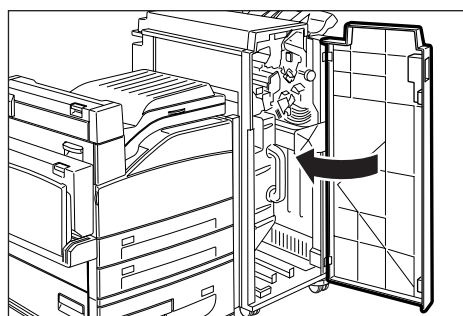
フィニッシャー内部のレバー［2b］の内側で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
Gｦ ｱｹ [2b]ｦ ｱｹﾃ
ﾖｳｼｦ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. フィニッシャーのカバー G を開けます。

2. レバー［2b］を右方向に開きます。

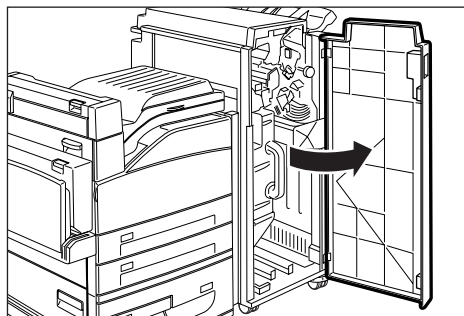
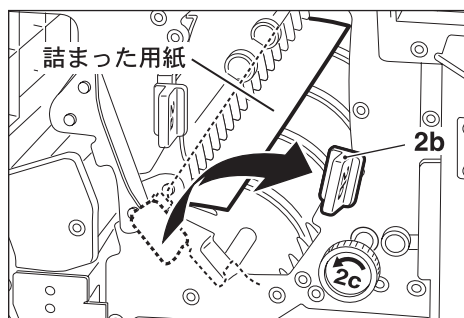
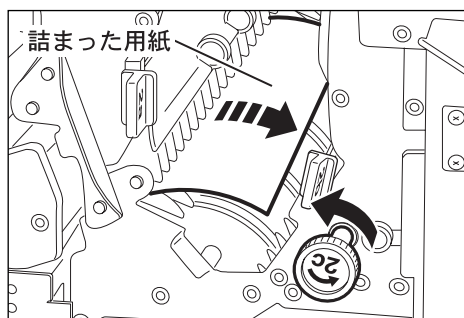
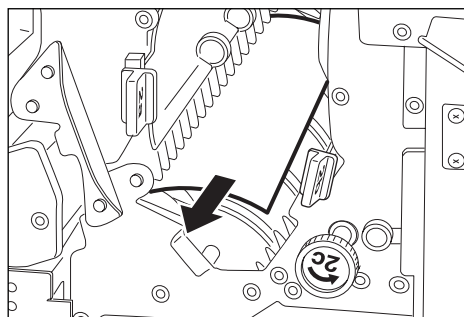
3. 詰まっている用紙を取り除きます。

4. レバー［2b］を元に戻します。

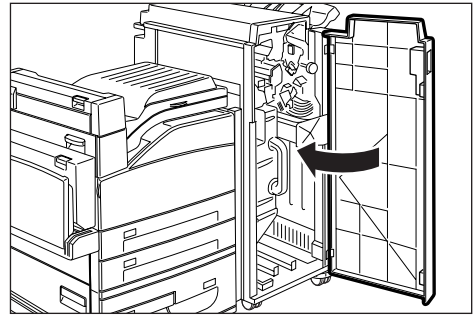
5. カバーGを閉じます。

レバー［2b］内で詰まった場合（［2c］のつまみを使う）

フィニッシャー内部のレバー［2b］内に用紙が詰まり、［2c］を使わないと取り除けないときには、次のメッセージが表示されます。

```
Gｦ ｱｹ [2b]ｦ ｱｹﾃ
[2c]ｦ ﾏﾜｼﾃ ｼﾞｮｷｮ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1. **フィニッシャーのカバー G を開けます。**

2. **レバー［2b］を右方向に開きます。**

3. **［2c］のつまみを矢印の方向にまわして、詰まっている用紙を送り出します。**

4. **用紙をゆっくり引き抜き、取り除きます。**

5.　レバー［2b］を元に戻します。

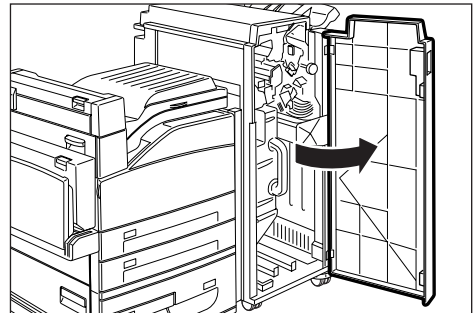
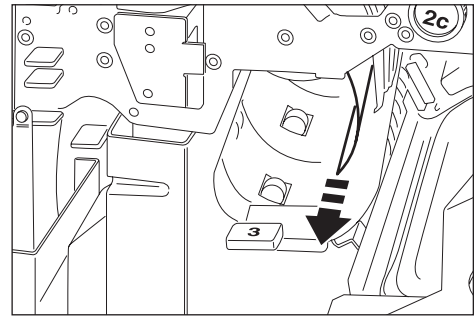
6.　カバーGを閉じます。

レバー［3］内で詰まった場合

フィニッシャー内部のレバー［3］の内側で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

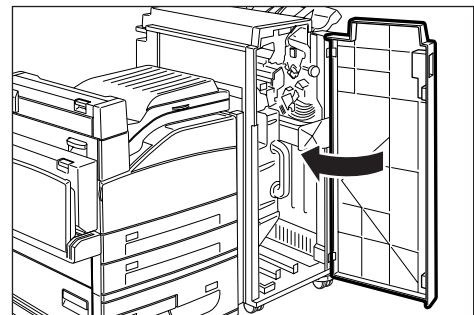
```
Gヲ アケ [3]ヲ シタニ
サゲテ ヨウシヲ ジョキョ
```

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1.　フィニッシャーのカバーGを開けます。

2.　レバー［3］を下に開きます。

3.　詰まっている用紙を取り除きます。

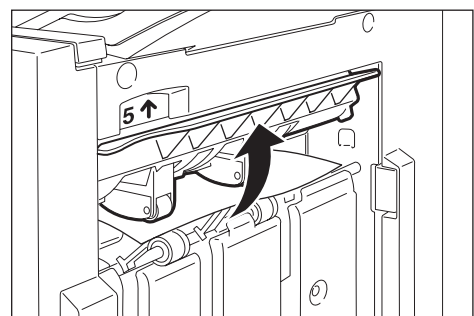
4.　レバー［3］を元に戻します。

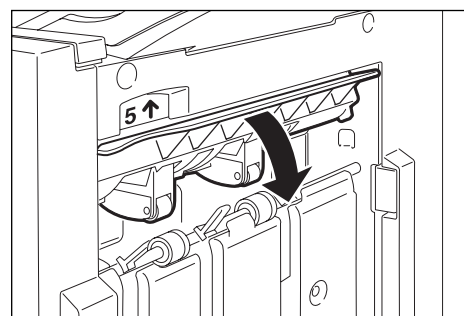
5.　カバー G を閉じます。

フィニッシャートレイ付近で詰まった場合

フィニッシャートレイのカバー［5］付近で用紙が詰まると、次のメッセージが表示されます。

Gﾉﾐｷﾞ［5］ｦｱｹ ﾖｳｼｦ
ｼﾞｮｷｮｼ ［5］ｦ ﾄｼﾞﾙ

この場合には、次の手順に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

1.　フィニッシャー右側面にあるカバー［5］を上に開けます。

2．　詰まっている用紙を、右方向にゆっくり引き抜いて、取り除きます。

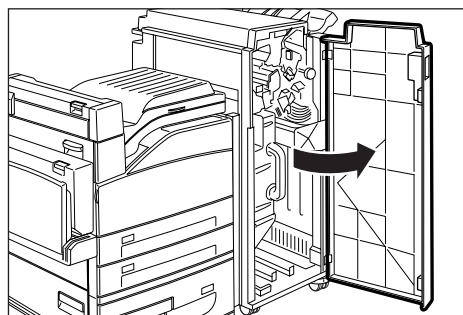
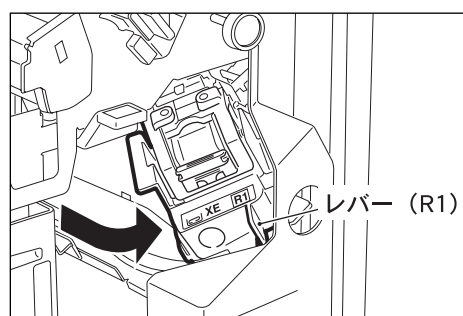
3．　カバー［5］を元に戻します。

5.2 ホチキス針が詰まったときは

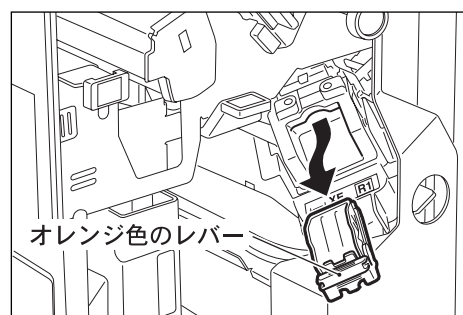
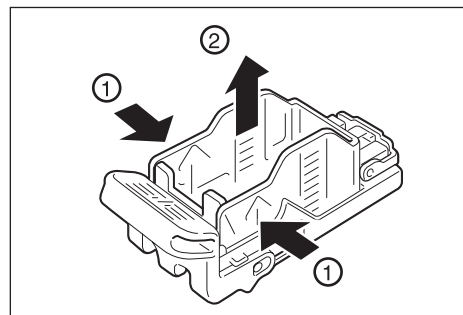
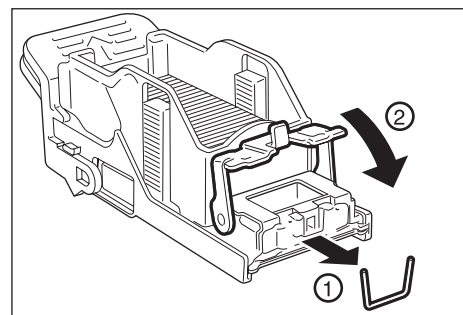
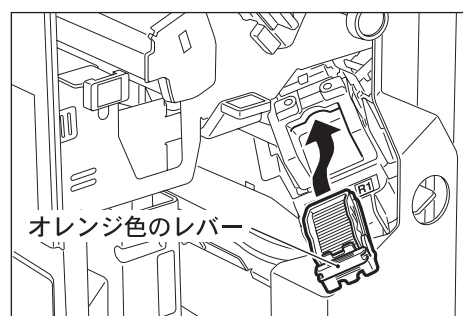
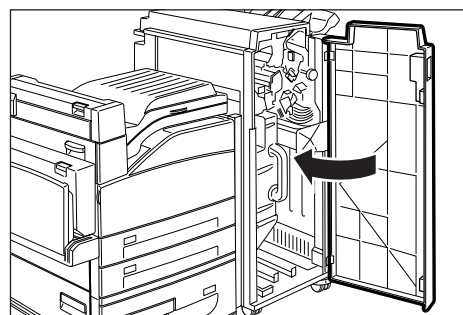
ホチキス針がホチキスカートリッジ内で詰まると、次のメッセージが表示されます。

```
Gヲアケ ホチキスノ ハリヲ
ホキュウシテ クダ゛サイ
```

このメッセージが表示された場合は、次の手順に従って詰まっているホチキス針を取り除いてください。

補足
・ このメッセージは、ホチキス針の補給時期が近づいた場合にも表示されます。手順 3 まで操作を行って、ホチキス針が空になっていた場合は、「6.3 フィニッシャーのホチキス針を補給する」(P. 167) を参照して、ホチキス針を補給してください。

1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのカバー G（フィニッシャーフロントカバー）を開けます。

2. ホチキスカートリッジホルダーのレバー（R1）を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。

3. オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

補足
・ ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出す際は、強めにホチキスカートリッジを引いてください。

4. ホチキスカートリッジの図の位置にある金属部分を押し上げます。

5. 詰まったホチキス針を取り除き（1）、手順 4 で押し上げた金属部分を元に戻します（2)。

6. オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

7. カバー G を閉じます。

5.3　異常が発生したら

故障かなと思う前に、もう一度、下表を参照して、本機の状態を確認してください。

⚠ 警告
- **ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**
- **機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。**

補足
- 印刷処理が正しく行われなかったときの情報は、［ジョブ履歴レポート］に保存されます。印刷処理がされていない場合は、［ジョブ履歴レポート］を印刷して、印刷処理状況を確認してください。なお、正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。［ジョブ履歴レポート］の印刷方法については、「6.4 レポート / リストを印刷する」(P. 169) を参照してください。
- トラブルの原因は、お使いのネットワーク環境に対し、プリンター本体、お使いのコンピューター、サーバーなどが正しく設定されていないことや、本機の注意制限の場合もあります。「付録 A.6 注意 / 制限事項」(P. 204) および CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照して確認してください。

症状	原因 / 処置
電源が入らない	プリンターの電源が切れていませんか？電源スイッチの〈 | 〉側を押して、電源を入れてください。 参照 ・「1.2 電源を入れる / 切る」(P. 18)
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか ? プリンターの電源を切り、電源コードを電源コンセントとプリンターに差し込み直してください。そのあとで、プリンターの電源を入れてください。 参照 ・『セットアップ＆クイックリファレンスガイド 電源コードを接続して電源を入れる』
	正しい電圧のコンセントに接続していますか ? プリンターは、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに、単独で接続してください。 参照 ・『セットアップ＆クイックリファレンスガイド 安全にご利用いただくために』
	リセットボタンが解除されていませんか？リセットボタンを押し込んだ状態にしてください。 参照 「1.3 ブレーカーについて」(P. 20)

症状	原因 / 処置
印刷できない	〈プリント可〉ランプが消灯していませんか？本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっています。下記の表示状態に応じて処置してください。 ・［オフライン］ 〈オンライン〉ボタンを押して、オフライン状態を解除します。 ・その他 〈メニュー〉ボタンを押して、メニューを設定している状態を解除します。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
	操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか？表示されているメッセージに従って処置してください。 参照 ・「5.5 メッセージ一覧」(P. 144)
	パラレルケーブルで接続している場合、コンピューターは双方向通信に対応していますか？工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、［ユウコウ］になっています。コンピューターが双方向通信に対応していないと、印刷できません。この場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を［ムコウ］にしてから印刷してください。 参照 ・「パラレル」(P. 80)
	メモリー容量が不足していませんか？次のいずれかの方法で対処してください。 ・［グラフィックス］タブの［印刷モード］が［高精細］の場合は、［標準］にする ・［詳細設定］タブの［ページ印刷モード］を［する］にする ・プリントページバッファを増やす ・増設メモリー（オプション）を取り付けて、メモリーを増設する 参照 ・［印刷モード］/［ページ印刷モード］：プリンタードライバーのオンラインヘルプ ・プリントページバッファ：「メモリー設定」(P. 99)
印刷を指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	インターフェイスケーブルが抜けていませんか？電源スイッチをいったん切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	使用するインターフェイスが設定されていますか？インターフェイスのポート状態を確認してください。 参照 ・「ネットワーク / ポート設定」(P. 80)
	コンピューターの環境が正しく設定されていますか？プリンタードライバーなどコンピューターの環境を確認してください。
〈エラー〉ランプが点灯している	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 参照 ・「5.5 メッセージ一覧」(P. 144)
〈エラー〉ランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
印刷を指示していないのに、「プリントシテイマス」が表示される（パラレルインターフェイス使用時）	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？〈プリント中止〉ボタンを押して、印刷を中止します。 補足 ・ 本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字品質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります。後述の「印刷の品質が悪いとき」を参照して処置してください。 参照 ・「5.4 印刷の品質が悪いとき」（P. 141）
正しい文字が印字されない（文字化けが起こる）	本機に標準で搭載されていないフォントを使用して印刷しています。アプリケーションで使用しているフォントを確認してください。PostScript（オプション）を使用している場合は、必要なフォントをダウンロードしてください。
画面表示と印刷結果が一致しない	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？プリンタードライバーの、[詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのオンラインヘルプ
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。印刷の中止、または残っているデータの強制排出をしてください。 データを強制排出するには、〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、〈排出 / セット〉ボタンを押します。排出が終わったら、もう一度〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。 補足 ・ パラレル /USB ポートを使用している場合、〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは〈排出 / セット〉ボタンを押したあとに、新しい印刷ジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとに印刷されます。またそのとき、正常に印刷されないことがあります。 参照 ・ 印刷の中止方法：「1.5 印刷を中止する / 確認する」（P. 21）
印刷に時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書を印刷するときは、操作パネルの [メモリーセッテイ] で使用しない項目のメモリー容量を減らして、プリントページバッファの容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。 参照 ・「メモリー設定」（P. 99）
	[印刷モード] の設定で、[高精細] が選択されていませんか？ [グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、印刷にかかる時間を短縮できることがあります。 参照 ・ プリンタードライバーのオンラインヘルプ
	TrueType フォントの印刷方法によっては、印刷に時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのオンラインヘルプ

症状	原因 / 処置
印字された文書の上部が欠ける 縮小されて印字される	用紙トレイのガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙トレイの縦、横のガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする」(P. 62)
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく	用紙は正しくセットされていますか？用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、OHP フィルム、はがき、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」(P. 62)
	用紙が湿気を含んでいませんか？新しい用紙と交換してください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」(P. 62)
	適切な用紙を使用していますか？使用できる用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 58)
	用紙トレイが外れていませんか？トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	プリンターは水平な場所に設置されていますか？安定した平面の上に移動してください。 参照 ・『セットアップ＆クイックリファレンスガイド 安全にご利用いただくために』
	用紙トレイのガイドは、正しい位置にセットされていますか？用紙トレイの縦、横のガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする」(P. 62)
	用紙の継ぎ足しをしています。トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足すとこのような現象が起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
異常な音がする	プリンターの設置場所は、水平ですか？安定した平面の上に移動してください。 参照 ・『セットアップ＆クイックリファレンスガイド 安全にご利用いただくために』
	カバー A が開いていませんか？カバー A をしっかりと閉じてください。
	用紙トレイが外れていませんか？トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	本機内に異物が入っていませんか？電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

5.4　印刷の品質が悪いとき

印字品質が悪い場合は、次の表から最も近い症状を選び、処置してください。
該当する処置をしても印字品質が改善されない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
印刷がうすい （かすれる、不鮮明）	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」（P. 62）
	ドラムカートリッジが劣化、損傷しているか、トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいドラムカートリッジやトナーカートリッジと交換してください。 参照 ・「6.1 トナーカートリッジを交換する」（P. 160） ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」（P. 164）
	トナーセーブ機能が有効になっていませんか。プリンタードライバーの［詳細設定］タブで、トナーセーブのチェックを外してください。 参照 ・ プリンタードライバーのオンラインヘルプ
黒点や黒線が印刷される	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」（P. 164）
等間隔に汚れが起きる	用紙搬送路に汚れが付着しています。数枚印刷してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」（P. 164）

症状	原因 / 処置
黒でぬりつぶされた部分に白点が現れる	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 58)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)」
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる	用紙トレイにセットした用紙と操作パネルで設定した用紙種類が合っていません。用紙トレイにセットした用紙に適する用紙種類を操作パネルで設定してください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 58) ・「3.3 用紙の種類を設定する」(P. 70)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」(P. 62)
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 58)
用紙全体がぬりつぶされて印刷される	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)
	高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」(P. 62)
	ドラムカートリッジが劣化、損傷しているか、トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいドラムカートリッジやトナーカートリッジと交換してください。 参照 ・「6.1 トナーカートリッジを交換する」(P. 160) ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)

症状	原因 / 処置
白抜けや白筋が出る	高圧電源の故障が考えられます。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」(P. 62)
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 58)
文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 58)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」(P. 62)
縦長に白抜けする	ドラムカートリッジが劣化、損傷しているか、トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいドラムカートリッジやトナーカートリッジと交換してください。 参照 ・「6.1 トナーカートリッジを交換する」(P. 160) ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)
斜めに印刷される	用紙トレイのガイドが正しい位置にセットされていません。用紙トレイの縦、横のガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする」(P. 62)
OHP フィルム / はがき / 封筒にきれいに印刷されない	使用できない種類の OHP フィルムがセットされています。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 58)
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。 参照 ・「3.3 用紙の種類を設定する」(P. 70)
	プリンタードライバーで、トナーセーブ機能が有効になっていたり、解像度が低く設定されています。プリンタードライバーの［詳細設定］タブや［グラフィックス］タブで、設定を変更してください。

5.5　メッセージ一覧

メッセージ一覧（50 音順）

操作パネルに表示されるメッセージについて説明します。xxx-xxx といったエラーコードが表示されている場合は、「エラーコード一覧」(P. 150) を参照してください。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
A ヲ アケ [A2] ノ ツマミヲ ヒライテ ヨウシヲ ジョキ	本機の定着ユニット付近で紙づまりが発生しています。 本機のカバーA を開けて、[A2] のツマミを開いて詰まっている用紙を取り除いてください。
A ヲアケ [A1] ヲ クリカエシ オシサゲ ヨウシヲ ジョキヨ	本機の定着ユニット付近で紙づまりが発生しています。 本機のカバーA を開けて、[A1] のレバーを手前に繰り返し押し下げて詰まっている用紙を取り除いてください。
F ヲ ウエニ アゲテ ヨウシヲ ヒダリニ ヒイテ ジョキ	カバー F 内で紙づまりが発生しています。 カバー F を開けて、右側に詰まっている用紙を左に引いて取り除いてください。
G ノ ウエノトレイカラ ヨウシヲ ジョキヨ G ヲ アケテ シメル	用紙サイズが異なる場合など、フィニッシャー（オプション）の排出トレイに正しく積めないことがあります。 排出済みの用紙を排出トレイから取り出してください。
G ノ ウエノトレイカラ ヨウシヲ ジョキヨ G ヲ アケテ シメル	用紙サイズが異なる場合など、排出トレイに正しく積めないことがあります。 排出済みの用紙を排出トレイから取り出してください。
G ノ ウエノトレイカラ ヨウシヲ ジョキヨ	フィニッシャー（オプション）の排出トレイで紙づまりが発生しています。 排出トレイの用紙を取り除いてください。 その後、「G ヲ アケ　[2a]　ヲ アケテヨウシヲ ジョキヨ」が表示された場合は、[2a]　を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。。
G ノ ウエノトレイカラ ヨウシヲ トリダシテクダサイ	フィニッシャー（オプション）の排出トレイの容量がいっぱいになりました。 排出トレイの上の用紙を取り除いてください。
G ノ シタノトレイカラ ヨウシヲ ジョキヨ	用紙サイズが異なる場合など、フィニッシャー（オプション）のフィニッシャートレイに正しく積めないことがあります。 排出済みの用紙をフィニッシャートレイから取り出してください。
G ノ シタノトレイカラ ヨウシヲ トリダシテクダサイ	フィニッシャー（オプション）のフィニッシャートレイの容量がいっぱいになりました。 フィニッシャートレイの上の用紙を取り除いてください。
G ノ トレイシタノ　ショウガイ ブツト ヨウシヲ　ジョキヨ	フィニッシャー（オプション）のフィニッシャートレイの下に障害物が置かれています。 障害物を取り除き、エラーを解除するためにいったんフィニッシャートレイの上の用紙を取り除いてください。
G ノ ハイシュツグチノ カバーヲ トジテクダサイ	フィニッシャー（オプション）の排出口カバーが開いています。 フィニッシャー（オプション）の排出口カバーを閉じてください。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
G ノ フロントカバーヲ トジテクダサイ	フィニッシャー（オプション）のフロントカバーが開いています。 フィニッシャー（オプション）のフロントカバーを閉じてください。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
G ノ ミギ [5] ヲアケ ヨウシヲ ジョキヨシ　[5]　ヲ トジル	フィニッシャー（オプション）のフィニシャートレイ付近で紙づまりしています。 フィニシャー右側の [5] を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
G ヲ アケ [2a] ヲ アケテ [2c] ヲ マワシテ ジョキヨ	フィニッシャー（オプション）の内部で紙づまりしています。 フィニッシャーのフロントカバーを開け、[2a] を開け、そのまま [2c] をまわして詰まっている用紙を取り除いてください。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
G ヲ アケ [2a] ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	フィニッシャー（オプション）の内部で紙づまりしています。 フィニッシャーのフロントカバーを開け、[2a] を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
G ヲ アケ [2b] ヲ アケテ [2c] ヲ マワシテ ジョキョ	フィニッシャー（オプション）の内部で紙づまりしています。 フィニッシャーのフロントカバーを開け、[2b] を開け、そのまま [2c] をまわして詰まっている用紙を取り除いてください。
G ヲ アケ [2b] ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	フィニッシャー（オプション）の内部で紙づまりしています。 フィニッシャーのフロントカバーを開け、[2b] を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
G ヲ アケ [3] ヲ シタニ サゲテ ヨウシヲ ジョキョ	フィニッシャー（オプション）の内部で紙づまりしています。 フィニッシャーのフロントカバーを開け、[3] を下に下げて詰まっている用紙を取り除いてください。
G ヲアケ [R4] ヲ ヒキダシ パンチクズ ステテクダサイ	フィニッシャー（オプション）のパンチダストボックス（R4）に、パンチ穴のクズがいっぱいになりそうです。 フィニッシャーのフロントカバーを開け、パンチダストボックスのクズを捨ててください。 参照 ・「 フィニッシャー（オプション）のパンチ穴のクズを捨てる」(P. 183)
G ヲアケ パンチダスト ボックスヲ サイセット	フィニッシャー（オプション）のパンチダストボックスが正しくセットされていません。フィニッシャーのカバー G（フロントカバー）を開けて、パンチダストボックスをセットし直してください。 参照 ・「 フィニッシャー（オプション）のパンチ穴のクズを捨てる」(P. 183)
G ヲアケ ホチキスノ ハリヲ ホキュウシテ クダサイ	フィニッシャー（オプション）のホチキス針がなくなりました。 新しいホチキス針に交換してください。 参照 ・「6.3 フィニッシャーのホチキス針を補給する」(P. 167)
PostScript ショキカ チュウデス	PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に、本機のシステム状態を初期化しています。電源スイッチを入れたときやシステムリセット時に表示されます。
xxxx.xxxx プリント シテイマス トレイ *	セキュリティープリントのジョブを印刷しています。コンピューターからの印刷データを受信できます。
xxxx プリント シテイマス トレイ *	レポート / リストを印刷しています。 補足 ・ レポート / リストを印刷中は、コンピューターからの印刷データを受信できません。
エラー シュウリョウ シマシタ ***-***	エラーが発生して、正しく印刷されませんでした。 ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認して処置してください。 参照 ・「エラーコード一覧」(P. 150)
オフライン オフライン データ アリ	〈オンライン〉ボタンを押したために、オフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び〈オンライン〉ボタンを押してください。 補足 ・ オフライン状態のときは、コンピューターからの印刷データは受信できません。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
オマチクダサイ	本機のシステム状態を診断 / 初期化しています。電源スイッチを入れたときや、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、「プリントデキマス」のメッセージに変わります。 また、本機内部に残っている印刷データを強制的に排出するための、ウォームアップ中です。 このとき、コンピューターからの印刷データは受信できません。
カバー * ノ チュウオウヲ オシテ トジテクダサイ	カバー * が開いています。。 カバー * の中央を押して、閉じてください。
カバー * ヲ トジテクダサイ	カバー * が開いています。 カバー * を閉じてください。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
カバー A ヲ アケ E ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	インターフェイスユニット付近で紙づまりが発生しています。 カバー A を開けて、続いてカバー E を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
カバー A ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	定着ユニット付近で紙づまりが発生しています。 カバー A を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
カバー B ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	本機左側面下部のカバー B 内で紙づまりが発生しています。 カバー B を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
カバー C ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	本機左側面下部のカバー C 内で紙づまりが発生しています。 カバー C を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
カバー D ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	両面印刷ユニット（DocuPrint 405 の場合はオプション）のカバー D 内で紙づまりが発生しています。 カバー D を開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
カバー F ヲ ウエニアケテ ヨウシヲ ジョキョ	フィニッシャー（オプション）のフィニッシャー接続部のカバー F（上面カバー）内で紙づまりが発生しています。 カバー F を上に開けて詰まっている用紙を取り除いてください。
カバー F ヲ トジテクダサイ	フィニッシャー（オプション）のフィニッシャー接続部のカバー F（上面カバー）が開いています。 フィニッシャー接続部のカバー F（上面カバー）を閉じてください。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
シバラク オマチクダサイ xxxx	本機内部に残っている印刷データを強制排出するための、ウオームアップ中です。なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
センタートレイ ノ ヨウシヲ トリダシテ クダサイ	センタートレイの容量がいっぱいになりました。 センタートレイ上の用紙を取り出してください。
チュウシ シテイマス xxxx トレイ *	印刷中のデータを破棄しています。なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
テザシトレイ カラ スベテノ ヨウシヲ トリダシ サイセット	手差しトレイからすべての用紙を取り出し、セットし直してください。 参照 ・「3.2 用紙をセットする」(P. 62)
テザシヲ カクニン [セット] xxxx XXXX	201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2 で、操作パネルの [テザシカクニンマチ] を [スル] に指定して印刷を支指示しています。 手差しトレイにサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙をセットするか、サイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙がセットされているか確認してください。そのあと、操作パネルの＜排出 / セット＞ボタンを押すと印刷が開始します。
データ マチデス xxxx	印刷データを待っている状態です。なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
デンゲンヲ オフ - オン シテ クダサイ　　　xxx-xxx	エラーが発生しました。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「***-***」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
トナーカートリッジヲ コウカン シテクダサイ	トナーカートリッジの交換時期になりました。 新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照 ・「6.1 トナーカートリッジを交換する」(P. 160)
トレイ * ヲ ヒキダシ ヨウシヲ ジョキョ	用紙トレイ * で紙づまりが発生しています。 用紙トレイ * を引き出し詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「手差しトレイ（トレイ 5）で用紙が詰まった場合」(P. 119) ・「用紙トレイ（トレイ 1 〜 4）で用紙が詰まった場合」(P. 119) ・「大容量給紙トレイ（トレイ 3）で用紙が詰まった場合」(P. 120) ・「大容量給紙トレイ（トレイ 4）で用紙が詰まった場合」(P. 121) ・「大容量給紙キャビネット（トレイ 6）で用紙が詰まった場合」(P. 122)
トレイ 6 ノ ジョウブカバー ヲ アケテ ヨウシヲ ジョキョ	大容量給紙キャビネット（オプション）の用紙トレイ 6 の上部カバーで紙づまりが発生しています。 用紙トレイ 6 の上部カバーを開けて詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「大容量給紙キャビネット（トレイ 6）で用紙が詰まった場合」(P. 122)
トレイ 6 ノ ジョウブカバー ヲ トジテクダサイ	大容量給紙キャビネット（オプション）の上部カバーが開いています。 大容量給紙キャビネット（オプション）の上部カバーを押し込んでください。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
トレイ 6 ヲ オシコンデ クダサイ	大容量給紙キャビネット（オプション）の用紙トレイ 6 が開いています。 大容量給紙キャビネット（オプション）の用紙トレイ 6 を押し込んでください。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
トレイ 6 ヲ ヒダリニ イドウ	大容量給紙キャビネット（オプション）の上部カバーの取っ手を持ち、大容量給紙キャビネットを左方向に移動してください。
トレイ 6 ヲ モトノイチニ モドシテクダサイ	大容量給紙キャビネット（オプション）が、正しい位置に戻っていません。 元の位置に戻してください。
トレイ *(ユウセン) ニ セット xxxx　　　　XXXX	用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。 参照 ・「用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする」(P. 62) ・「大容量給紙トレイ（用紙トレイ 3、4）に用紙をセットする」(P. 64) ・「大容量給紙キャビネット（用紙トレイ 6）に用紙をセットする」(P. 66)
トレイ * ニ ヨウシヲ ホキュウ xxxx　　　　XXXX	用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。 参照 ・「用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする」(P. 62) ・「大容量給紙トレイ（用紙トレイ 3、4）に用紙をセットする」(P. 64) ・「大容量給紙キャビネット（用紙トレイ 6）に用紙をセットする」(P. 66)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
トレイ * ノ ヨウシヲ カクニン xxxx XXXX	用紙トレイ * に正しい用紙がセットされていません。 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙をセットしてください。 参照 ・「用紙トレイ 1、2 に用紙をセットする」(P. 62) ・「大容量給紙トレイ(用紙トレイ 3、4)に用紙をセットする」(P. 64) ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 68) ・「大容量給紙キャビネット(用紙トレイ 6)に用紙をセットする」(P. 66)
ドラムカートリッジ エラー マニュアル 092-910 カクニン	ドラムカートリッジでエラーが発生しました。 カバーを開閉するか、電源を切り、入れ直してください。それでも解決しない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。 参照 「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)
ドラムカートリッジノ タイプガ チガイマス	セットしたドラムカートリッジが、本機用のものではありません。 正しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)
ドラムカートリッジヲ コウカン シテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期になりました。 新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)
フロントカバーヲ アケテ ドラムカートリッジサイセット	ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 プリンターのフロントカバーを開け、ドラムカートリッジを抜き差しして、ドラムカートリッジをセットし直してください。 参照 「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)
フロントカバーヲ トジテクダサイ	フロントカバーが開いています。 フロントカバーを閉じてください。 参照 ・「1.1 各部の名称と働き」(P. 12)
プリント シテイマス xxxx	印刷データ処理中です。なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
プリント シテイマス xxxx トレイ *	トレイ * を使用して印刷中です。使用中のトレイは、引き出さないでください。 なお、コンピューターからの印刷データは受信できます。
プリント デキマス	コンピューターからの印刷データを受信できる状態です。
プリント デキマス ***-***	印刷データが送られてきています。 メッセージに従って対処してください。
プリント デキマス DNS サーバ コウシン フカ	DNS から IP アドレスを取得できませんでした。 DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。 参照 ・CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ
プリント デキマス IP アドレス チョウフク	IP アドレスが重複しています。 IP アドレスを変更してください。 参照 ・『セットアップ＆クイックリファレンスガイド IP アドレスを設定する』

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
プリント デキマス オナジ SMB ホストメイ アリ	同じ SMB のホスト名が存在しています。 ホスト名を変更してください。 参照 ・ CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）
プリント デキマス カスタム モード	カスタムモードの状態です。 印刷データが送られてきています。 参照 ・「カスタムモードについて」(P. 163)
プリント デキマス ドラム コウカン ジキ	ドラムカートリッジの交換時期です。 新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 ・「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164) ・「A.2 オプション製品と消耗品の紹介」(P. 198) ・「A.3 消耗品の寿命について」(P. 200)
プリント デキマス ヨビ ノ トナーヲ ジュンビ	トナーが少なくなりました。 新しいトナーを用意してください。 参照 ・「6.1 トナーカートリッジを交換する」(P. 160) ・「A.2 オプション製品と消耗品の紹介」(P. 198) ・「A.3 消耗品の寿命について」(P. 200)
ヨウシ シュルイガ ナイタメ ホカノ ヨウシニ ヘンコウ ［セット］デ プリントカイシ ［チュウシ］デ キャンセル	用紙トレイに、プリンタードライバーの［用紙種類の優先順位］で指定した用紙種類の用紙がセットされていません。操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押して、異なる種類の用紙に印刷するか、〈プリント中止〉ボタンを押して印刷を中止してください。

エラーコード一覧

操作パネルや［ジョブ履歴レポート］の［ジョブ処理状態］欄にエラーコードが表示された場合は、下表でエラーコードを参照して、処置してください。

注記
- エラーコードが表示されたときは、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。
- 本機の電源を切ると、プリンター内の残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
- 「デンゲン ヲ オフ - オン シテクダサイ xxx-xxx」と表示された場合は、お客様で対処できないエラーが発生しているため、表には記載されていません。弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
016-701	メモリーが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。 ［グラフィックス］タブの［印刷モード］が［高精細］の場合は、［標準］にして印刷を指示してください。 参照 ・ 本機ドライバーのオンラインヘルプ
016-702	プリントページバッファが不足したため、ART EX または PostScript の印刷データを処理できませんでした。 次のいずれかの方法で対処してください。 ・［印刷モード］が［高精細］の場合は、［標準］にする ・［詳細設定］タブの［ページ印刷モード］を［する］にする（ART EX のみ） ・ プリントページバッファを増やす ・ 増設メモリー（オプション）を取り付けて、メモリーを増設する 参照 ・［印刷モード］/［ページ印刷モード］：プリンタードライバーのオンラインヘルプ ・ プリントページバッファ：「メモリー設定」（P. 99）
016-703	登録されていない、または無効な親展ボックス番号をしていしたメールを受信しました。 次のいずれかの方法で対処してください。 ・ 指定された番号の親展ボックスを登録し，メールを送信するように依頼する。 ・ 有効な親展ボックスにメールを送信するように依頼する。
016-704	親展ボックスに蓄積されている文書がいっぱいになったため、ハードディスクの容量が不足しています。 親展ボックスから不要な文書を削除し、文書を保存してください。
016-705	内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられていないので、セキュリティープリント文書が登録できませんでした。 セキュリティープリント機能を使用するには、内蔵増設ハードディスクを取り付ける必要があります。
016-706	セキュリティー / サンプルプリントの最大ユーザー数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーなどを削除し、もう一度印刷を指示してください。 参照 ・ 本機ドライバーのオンラインヘルプ
016-707	内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられていないか、またはハードディスクの故障などで、サンプルプリントが印刷できませんでした。 サンプルプリント機能を使用するには、内蔵増設ハードディスクが必要です。
016-709	印刷処理中に、ART EX コマンドの構文エラーが発生しました。 印刷ジョブを一度削除して、印刷し直してください。
016-710	内蔵増設ハードディスク（オプション）の容量が不足したので、時刻指定プリントができませんでした。 内蔵増設ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。

エラーコード	原因 / 処置
016-716	内蔵増設ハードディスク（オプション）の容量が不足したので、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 内蔵増設ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-718	メモリーが不足したため、PCL6 の印刷データを処理できませんでした。 ［グラフィックス］タブの［印刷モード］が［高精細］の場合は、［標準］にして印刷を指示してください。 参照 ・ 本機ドライバーのオンラインヘルプ
016-719	メモリーが不足したため、PCL の印刷データを処理できませんでした。 PCL のメモリーサイズを増やしてください。 参照 ・『PCL エミュレーション設定ガイド』
016-720	印刷処理中に、PCL コマンドの構文エラーが発生しました。 印刷ジョブを一度削除して、印刷し直してください。
016-721	印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 1　共通メニューの［プリント セッテイ］の［ヨウシノ ユウセンジュンイ］が、すべての用紙で［セッテイシナイ］に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している 2　ESC/P のコマンドエラー 1 については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、［ヨウシノ ユウセンジュンイ］で、用紙のどれかを［セッテイシナイ］以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選択すると、自動的に［ヨウシノ ユウセンジュンイ］が［セッテイシナイ］に設定されてしまうので、注意してください。2 については、印刷データを確認してください。 参照 ・ 用紙の優先順位の設定：「プリント設定」(P. 96)
016-722	ステープル位置の指定が正しくないため、印刷できませんでした。 正しくステープル位置を指定して、もう一度印刷を指示してください。 参照 ・ 本機ドライバーのオンラインヘルプ
016-723	パンチ穴位置の指定が正しくないため、印刷できませんでした。 正しくパンチ穴位置を指定して、もう一度印刷を指示してください。 参照 ・ 本機ドライバーのオンラインヘルプ
016-726	操作パネルで［プリントモード シテイ］が［ジドウ］に設定されている場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 操作パネルやコマンドを使ってプリント言語を指定してください。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 印刷データを確認してください。
016-729	TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、印刷できませんでした。 TIFF ファイルの色数、解像度を変更して、もう一度印刷を指示してください。
016-730	サポートされていないコマンドを検知しました。 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-731	TIFF データが途中で切れていて印刷できませんでした。 もう一度印刷を指示してください。
016-732	指定されたフォームが登録されていません。 フォームを再登録して、もう一度印刷を指示してください。
016-735	ジョブテンプレートの更新中です。更新が終了すると、自動的に印刷が開始されます。

エラーコード	原因 / 処置
016-744	PDF ファイルに、本機では対応していない機能が含まれているため、印刷できませんでした。 Adobe Acrobat Reader を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] から印刷を指示してください。
016-746	サポートしていない PDF ファイルのため、印刷できませんでした。 Acrobat Reader から印刷を指示してください。
016-748	ハードディスクの領域が不足しているため、印刷できません。 印刷データを分割する、複数部印刷している場合は 1 部ずつ印刷するなどで、印刷データのページ数を少なくしてください。 また、内蔵増設ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
016-749	JCL コマンドの構文エラーが発生しました。 印刷設定を確認するか、JCL コマンドを訂正してください。
016-751	PDF ファイルを、コンテンツブリッジを使用して印刷できませんでした。 Adobe Acrobat Reader を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] から印刷を指示してください。
016-752	メモリーが不足しているため、PDF ファイルを PDF Bridge 機能を使用して印刷できませんでした。 ContentsBridge Utility を使用している場合は、[ContentsBridge] ダイアログボックスで [印刷モード] の設定を次のように変更してください。 ・[高画質] が選択されていた場合は、[標準] に変更する ・[標準] が選択されていた場合は、[高速] に変更する 補足 ・「ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルを印刷する」(P. 47) ・ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを直接印刷している場合は、「PDF」(P. 78) を参照して操作パネルで [PDF] の設定を変更してください。
016-753	PDF ファイルのパスワードが、プリンターに設定されている暗証番号、または ContentsBridge Utility で設定した暗証番号と一致しません。 正しい暗証番号を、プリンター、または ContentsBridge Utility で設定して、もう一度印刷を指示してください。 補足 ・「ContentsBridge Utility を使用して PDF ファイルを印刷する」(P. 47) ・ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを直接印刷している場合は、「PDF」(P. 78) を参照して操作パネルで [PDF] の設定を変更してください。
016-754	PDF ファイルに LZW 圧縮を使用したオブジェクトが含まれています。 次の方法で印刷してください。 ・Adobe Acrobat Reader を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] から印刷を指示してください。 ・PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合は、PostScript の機能を使うと印刷できます。
016-755	印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。 Adobe Acrobat を使用して、PDF ファイルの印刷禁止の指定を解除してから、もう一度印刷を指示してください。 参照 ・Adobe Acrobat に付属のマニュアル
016-756	ご使用のアカウントは、印刷を許可されていません。 ネットワーク管理者に相談してください。
016-757	アカウントが正しくありません。 正しいアカウントで、もう一度印刷を指示してください。
016-758	ご使用のアカウントに許可されていない機能を使おうとしました。 別の機能に設定し直して再印刷するか、ネットワーク管理者に相談してください。
016-759	ご使用のアカウントに許可されている印刷枚数に達してしまいました。 ネットワーク管理者に相談してください。
016-760	PostScript エラーのため、印刷できませんでした。 データの内容や印刷環境などを確認して、もう一度印刷を指示してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-761	イメージ処理中にエラーが発生しました。 ［グラフィックス］タブの［印刷モード］が［高精細］の場合は［標準］にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、［詳細設定］タブの［ページ印刷モード］を［する］に設定して印刷してください。 参照 ・［印刷モード］/［ページ印刷モード］：本機ドライバーのオンラインヘルプ
016-762	実装されていないプリント言語が指定されました。 本機は標準で、ART EX、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、TIFF、PDF データを処理できます。PostScript データを送信したい場合は、オプションの PostScript ソフトウエアキットを取り付けてください。
016-798	TrustMarking エラーのため、印刷できませんでした。 データの内容や印刷環境などを確認して、もう一度印刷を指示してください。
016-799	操作パネルで用紙トレイ 1 ～ 4 の［トレイ ノ ヨウシサイズ］を［ジドウ］に設定、プリンタードライバーの［用紙トレイ選択］を［自動］に設定した上で、不定形サイズの印刷を指示するなど、プリントパラメーターの組み合わせが正しくありません。 印刷指示を確認してください。
021-746	指定した紙質と組み合わせできない機能 (用紙サイズ、用紙トレイ、排出トレイ、両面印刷のどれか）が指定されました。 プリントデータを確認してください。
021-747	非定型サイズを指定して、[用紙トレイ選択] を [自動] に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。 プリントデータを確認してください。上記の場合は、用紙トレイ 5(手差し) を選択してください。
027-500	応答メール送信時の SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Service から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。
027-501	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Service から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してくだい。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Service から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。
027-796	メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 メール本文やメールヘッダー情報などもプリントしたい場合は、CentreWare Internet Service のプロパティ画面で、設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。 正しい出力先を指定して、もう一度メール送信してください。
092-910	ドラムカートリッジでエラーが発生しました。 カバーを開閉するか、電源を切り、入れ直してください。それでも解決しない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。 参照 「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)
116-701	メモリーが不足したため、両面印刷ができません。 メモリーを増設することをお勧めします。
116-702	代替フォントで印刷されました。 印刷データを確認してください。
116-703	PostScript（オプション）でエラーが発生しました。 印刷データを確認するか、プリンタードライバーの［詳細］タブのスプールの設定で、双方向通信のチェックを外してください。
116-710	受信データが HP-GL、HP-GL/2 スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やすか、内蔵増設ハードディスク（オプション）を取り付けることをお勧めします。

エラーコード	原因 / 処置
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 用紙サイズと向きを、指定した AER EX フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	内蔵増設ハードディスク（オプション）の容量がいっぱいになったため、分割して印刷しました。
116-714	HP-GL、HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、［ART EX フォーム登録リスト］で確認できます。 参照 ・「6.4 レポート / リストを印刷する」（P. 169）
116-720	PCL メモリーが不足したため、印刷できません。 不要なポートを停止するか、各メモリーのバッファサイズを調整してください。 または、メモリーを増設することをお勧めします。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-739	ART IV フォームメモリー、またはハードディスクの容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	印刷データにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できません。 不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV フォームメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 ART IV フォームメモリーの領域を増やすか、内蔵増設ハードディスク（オプション）を取り付けることをお勧めします。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。 フォームの登録状態は、［ART IV，PR201H，ESC/P ユーザー定義リスト］で確認できます。
116-747	HP-GL、HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度印刷を指示してください。
116-748	HP-GL、HP-GL/2 の印刷データに描画データがありません。 印刷データを確認してください。
116-749	使用しているフォントがありませんでした。 フォントを追加するか、別のフォントに置換する指定を行って、もう一度印刷を指示してください。

エラーコード	原因 / 処置
116-750	バナーシートの給紙トレイが故障しているため、バナーシートを出力できません。 バナーシートの給紙トレイを、正常な状態にしてください。または、操作パネルでバナーシートの給紙トレイを変更してください。 参照 ・「システム設定」(P. 91)
116-780	本機が受信したメールの添付文書に問題があります。 添付文書を確認してください。 参照 ・「2.11 電子メールを使って印刷する - E メールプリント -」(P. 53)
116-790	ホチキス留めを行う指定をしましたが、用紙サイズや用紙種類がホチキス留めできない設定だったため印刷できませんでした。
124-701	指定した排出トレイが故障しているため、排出先をセンタートレイに変更しました。 弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

5.6 ネットワーク関連のトラブル

TCP/IP 環境使用時のトラブル

ここでは、TCP/IP の環境で使用している場合のトラブルについて、原因や確認方法、処置方法を記載しています。そのほかの環境でのトラブルについては、本機に同梱されている CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合

■ 印刷できないとき

お使いのコンピューターの［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、表示されたウィンドウで、本機の状態が「印刷不可状態（xxxxError)」と表示された場合の対処方法について説明します。

原因	確認方法	処置
本機が、コンピューターと異なるネットワークに接続されている。	ネットワークのシステム管理者に、コンピューターが接続されているネットワークと、本機が接続されているネットワークの間に、ルーターやゲートウェイが介在しているか確認する。	本機を、コンピューターが接続されているネットワークに直接接続する。
コンピューターから本機までのネットワーク上に障害が発生して、コネクションが確立できない。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。	ネットワークのシステム管理者に、ネットワーク障害について調べてもらう。
本機の IP アドレスを誤って入力している。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。プリンターアイコンの［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択し、［詳細］タブの［ポートの設定］を選択する。表示された［FX TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定］ダイアログボックスの IP アドレスと、［機能設定リスト］の IP アドレスを比較する（［機能設定リスト］の印刷方法は、「6.4 レポート / リストを印刷する」(P. 169) を参照してください）。	［FX TCP/IP Direct Print Utility ポートの設定］ダイアログボックスの IP アドレスに、本機に設定されている IP アドレスを正しく入力する。
コンピューターから印刷指示をしたあと、本機の電源が切れたり、電源が入っていない本機へコンピューターから印刷を指示した。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。本機の電源が入っているか調べる。	本機の電源を入れる。

原因	確認方法	処置
本機に対して、多数のコンピューターから同時に印刷を指示している。	「印刷不可状態(NetworkError)」と表示される。	なし（自動的に印刷が再開されます）。
コンピューターのディスク容量が不足しているので、印刷するファイルをスプールできない。	「印刷不可状態(SpoolError)」と表示される。［マイコンピュータ］を開き、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me がインストールされているディスク（例：C ドライブ）を右クリックする。表示されたメニューから［プロパティ］を選択し、空き領域を確認する。	不要なファイルを削除して、ディスクの空き領域を確保したあと、［プリンタ］ウィンドウの［ドキュメント］メニューの［一時停止］を選択し、停止状態を解除する（印刷が再開されます）。

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の場合

■ 印刷できないとき

原因	確認方法	処置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、本機のIP アドレスが正しいかどうか調べてもらう。	本機に、正しい IP アドレスを設定する。
［LPD スプール］を［メモリースプール］に設定している場合に、コンピューターから 1 回の印刷指示で送信される印刷データの容量が、受信容量の上限を超えている。	［LPD スプール］のメモリー容量を確認して、1 回の印刷指示で送信しようとしている印刷データの容量と比較してみる。	1. 印刷データ容量が、1つのファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、そのファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割して印刷を指示する。
		2. 印刷データ容量が、複数のファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、1度に印刷を指示するファイル数を減らす。
印刷処理中に対処不可能な障害が発生した。	操作パネルのディスプレイでエラーが表示されていないか確認する。	本機の電源を切り、入れ直す。
コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択する。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない。	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ ［機能設定リスト］を印刷して確認してください。
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。 参照 ・ Web ブラウザーのオンラインヘルプ
Web ブラウザーで［しばらくお待ちください］などのメッセージが表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
［表示更新］が機能しない。	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？ 「6.5 Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する」(P. 172) を参照して、使用している OS や Web ブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側のメニューを選択しても、画面が切り替わらない。	
画面の表示が崩れる。	Web ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	［表示更新］をクリックしてください。
日本語が正しく設定できない。	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。
［新しい設定を適用］をクリックしても反映されない。	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
［新しい設定を適用］を押すと、Web ブラウザーに「無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました」や「データがありません」などのメッセージが表示される。	ユーザー名とパスワードは正しいですか？ 正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
	本機の電源を切り、入れ直します。

5.7　メール関連のトラブル

メール通知サービス、E メールプリントを使用している場合のトラブルについて、処置方法を記載しています。

症状	原因 / 処置
E メールプリントができない。	次の設定を、CentreWare Internet Services の［プロパティ］で確認してください。 ・本体メールアドレスは設定されていますか。 ・［メール受信］の［起動］にチェックが付いていますか。 ・SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 ・POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Services の［プロパティ］で、自分のドメインを受信許可ドメインに設定してください。受信許可ドメインの設定は、［受信許可ドメインリスト］で確認できます。詳細は、CentreWare Internet Servicesのオンラインヘルプを参照してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
E メールプリントで添付の PDF ファイルが印刷されない。	メモリー容量が不足していると、印刷できないことがあります。容量の大きな添付ファイルを頻繁に印刷する場合は、メモリーを増設することをお勧めします。
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない。	次の設定を、CentreWare Internet Services の［プロパティ］で確認してください。 ・本体メールアドレスは設定されていますか。 ・［メール通知］の［起動］にチェックが付いていますか。 ・SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 ・POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 ・送信する通知項目が正しく設定されていますか。 ・送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。

6 日常管理

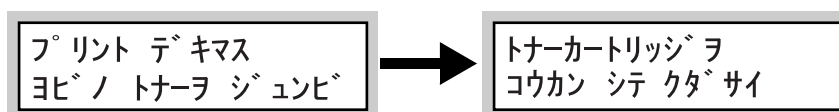
6.1　トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。
このメッセージが表示されたら交換してください。

このメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジを準備してください。

このメッセージが表示されたら交換してください。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
ﾖﾋﾞﾉ ﾄﾅｰｦ ｼﾞｭﾝﾋﾞ

ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ
ｺｳｶﾝ ｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ

トナーカートリッジ交換時の注意事項

本機の高精細出力は、純正トナーカートリッジの使用時に印刷品質やプリンター性能がもっとも安定するように設計されています。純正品と異なる仕様の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合や、プリンター本体が仕様外の消耗品が原因で故障したときに有償修理となる場合があります。純正品をご使用いただけますと、万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。
カートリッジの交換に際しては、本来の性能を得るためにも純正トナーカートリッジの使用をおすすめします。

トナーカートリッジの取り扱い上の注意

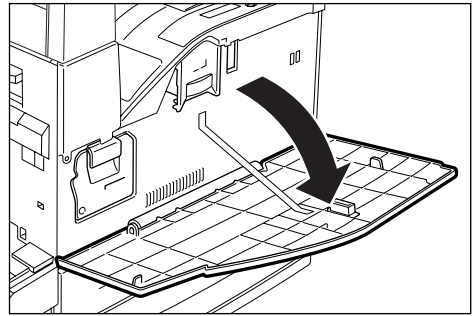
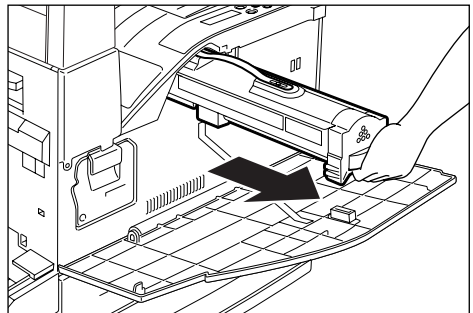
⚠ 警告
- トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

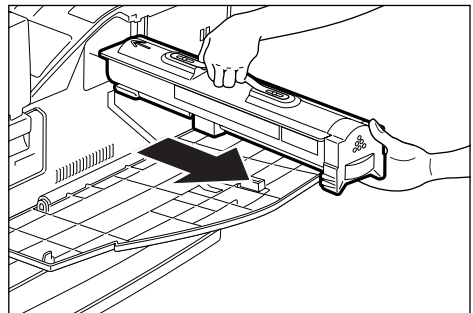
⚠ 警告
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが電気接点火花などにより粉じん発火する可能性があります。

注記
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- トナーカートリッジは、開封後、1年以内で使い切ることをお勧めします。
- トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご使用ください。
- トナー残量が少なくなってきている場合、プリント中に機械が停止してメッセージが表示されることがあります。その場合は、トナーカートリッジを交換するとプリントは継続されます。
- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。

補足
- 新しいトナーカートリッジを発注するときは、「付録 A.2 オプション製品と消耗品の紹介」（P. 198）の商品コードを確認のうえ、販売店にご注文ください。

トナーカートリッジを交換する

1. 機械が停止していることを確認し、フロントカバーの左右に手を掛け、フロントカバーを開けます。

2. トナーカートリッジの下部を持って、トナーカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、手前にゆっくり引き出します。

3. トナーカートリッジの取っ手を持って、トナーカートリッジをゆっくり引き出します。

⚠ 警告

・トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

補足

・トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
・トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。

注記

・プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

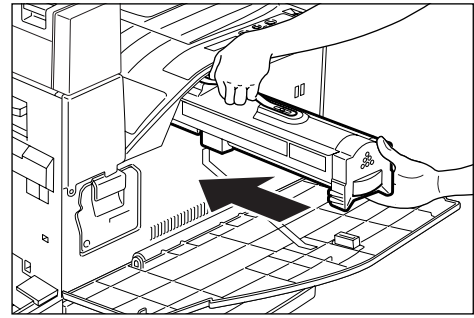
4. 新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出し、袋から取り出す前に、左右によく振ります。

注記

・トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと起動時に異常音やトナーカートリッジ内部の破損が発生することがあります。

5. トナーカートリッジの取っ手を持って、プリンター内部の溝に沿って、奥に突き当たるまで差し込みます。

注記

・「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

6. フロントカバーをしっかりと閉じます。

補足

・ フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

7. 使用済みのトナーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しいただくか、同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

カスタムモードについて

トナーカートリッジ内のトナーがなくなると、以下のメッセージが表示されます。
新しいトナーカートリッジに交換してください。

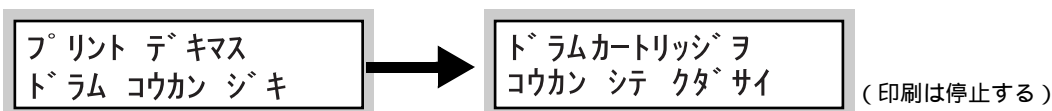
トナーカートリッジ゛ヲ
コウカン　シテ　クダ゛サイ

やむを得ず、トナーカートリッジを交換しないで、継続して使用しなければならない場合は、「カスタムモード」を選択することで、継続使用が可能となります。

注記
・ カスタムモードは品質保証外のモードであり、所定の機能、性能が保たれないことがあります。そのまま使いつづけるとプリンターが故障する原因となることがあります。

手順 5 の操作以降は、操作パネルは操作できません。

6.2　ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。
このメッセージが表示されたら交換してください。

補足
・「ドラムカートリッジヲ　コウカン　シテ　クダサイ」のメッセージが表示されたときに、印刷が停止するかどうかは、操作パネルの［ドラム　ジュミョウ　ドウサ］で設定できます。初期値では、［スル］（印刷は停止する）に設定されています。

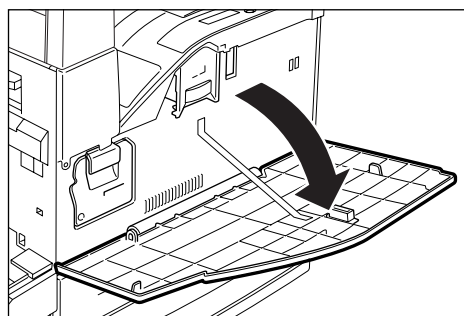
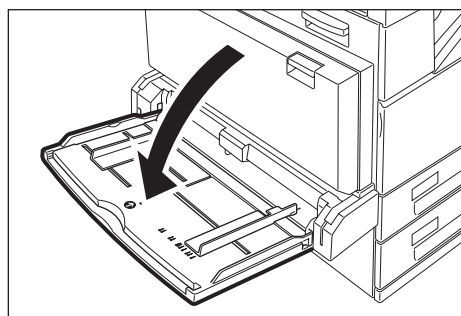
ドラムカートリッジの取り扱い上の注意

⚠ 注意
・ドラムカートリッジを絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因となるおそれがあります。

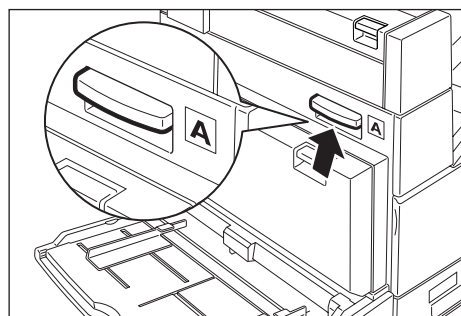
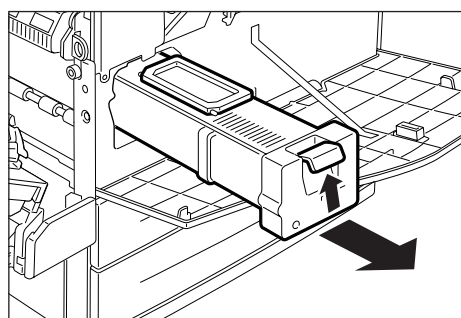
注記
・弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するドラムカートリッジをご使用ください。

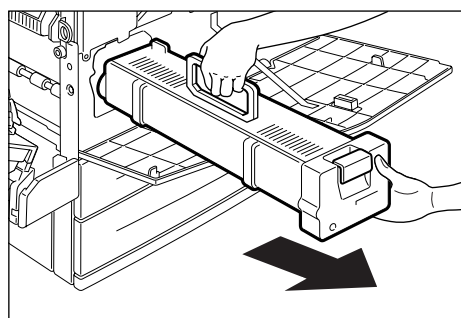
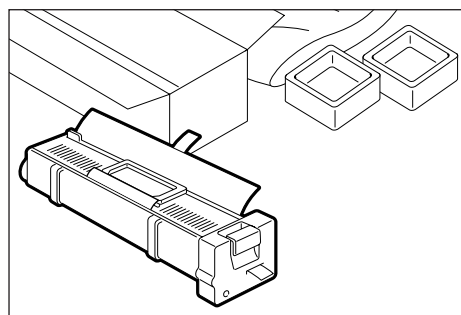
補足
・ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。また、ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいなプリントができなくなることがあります。
・ドラムカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。電源を切ると、本機のメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
・ドラムカートリッジの寿命を過ぎても交換しないで印刷を続けると、印刷画質など本機の性能に影響が出ることがあります。新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。
・ドラムカートリッジの寿命時に印刷を停止するかどうかは、操作パネルで設定できます。「システム設定」(P. 91) を参照してください。
・新しいドラムカートリッジを発注するときは、「付録 A.2 オプション製品と消耗品の紹介」(P. 198) の商品コードを確認のうえ、販売店にご注文ください。

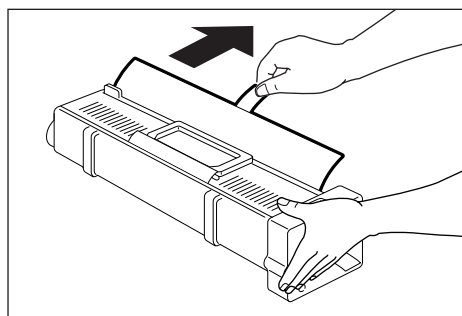
ドラムカートリッジを交換する

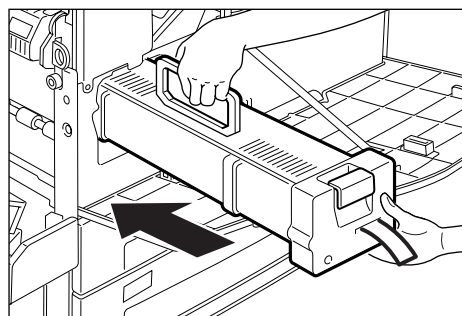
1.　機械が停止していることを確認し、フロントカバーの左右に手を掛け、フロントカバーを開けます。

2.　手差しトレイを開けます。

3.　カバー A の右側上部にあるレバーを押し上げて､ロックを解除し､カバーA を開けます。

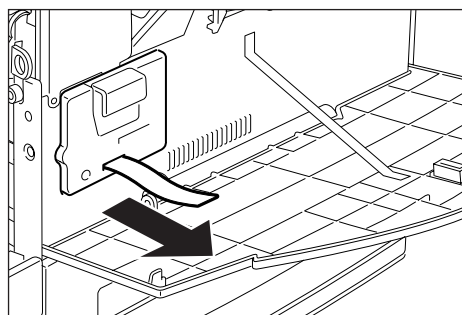
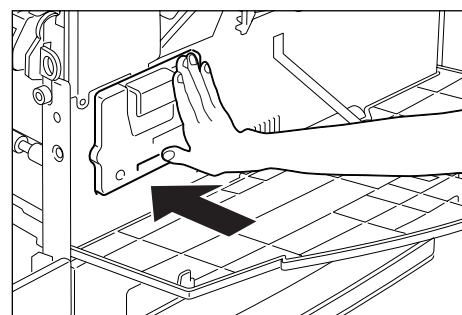
補足
・ DocuPrint 405 をご使用の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

注記
・ プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

4.　ドラムカートリッジのレバーを引き上げ、ドラムカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、手前にゆっくり引き出します。

5.　ドラムカートリッジの上部の取っ手を持って、ドラムカートリッジをゆっくり引き出します。

注記
・ プリンター内部の部品には、手を触れないでください。
・ 必ず上部の取っ手を持ってドラムカートリッジを引き出してください。上部の取っ手を持たずにドラムカートリッジを引き出すと、ドラムカートリッジが抜け落ちて床を汚すことがあります。

6.　新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出します。

7. ドラムカートリッジを平らな場所に置き、保護紙に付いているテープを持って、図のように保護紙を静かに引き抜きます。

注記
- 保護紙を引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中で紙が切れてしまうことがあります。
- 保護紙を引き抜いたあとは、ドラムカートリッジを振ったり、ドラムカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

8. ドラムカートリッジの取っ手を持って、プリンター内部の溝に沿って、奥に突き当たるまで差し込みます。

注記
- プリンター内部の部品には、手を触れないでください。
- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

9. ドラムのテープを水平に静かに引き抜きます。

注記
- テープを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。

10. ドラムカートリッジを再度押し込みます。

11. カバー A をしっかり閉じます。

12. 手差しトレイを閉じます。

13. フロントカバーをしっかり閉じます。

補足
- フロントカバーやカバー A が少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

14. 使用済みのドラムカートリッジは、弊社または販売店にお渡しいただくか、同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

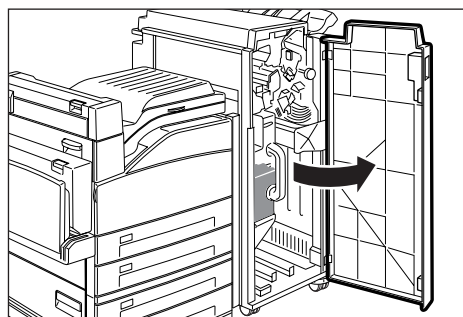
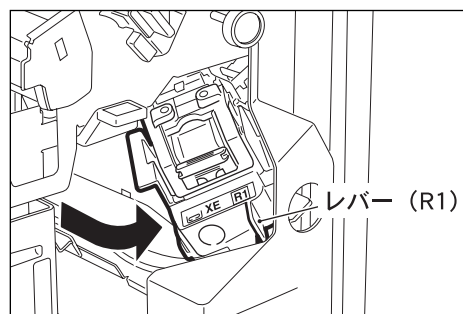
6.3 フィニッシャーのホチキス針を補給する

フィニッシャー（オプション）を装着している場合、ホチキスカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。
このメッセージが表示されたときには、次の手順に従って、ホチキスカートリッジにホチキス針を補給してください。

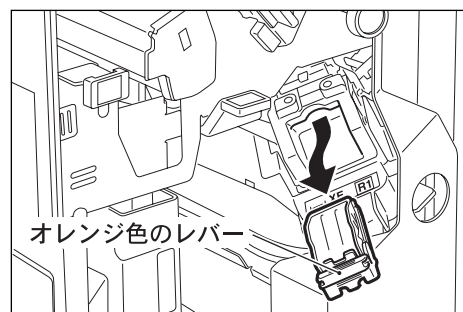
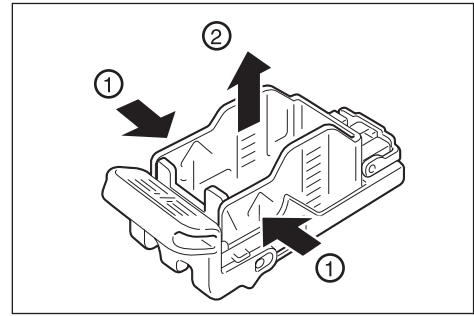
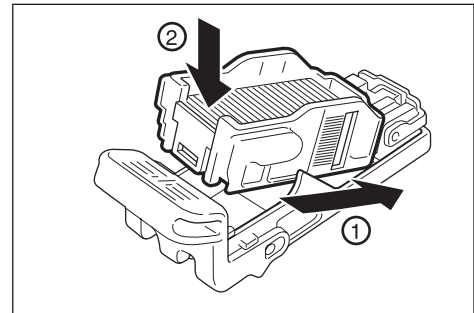
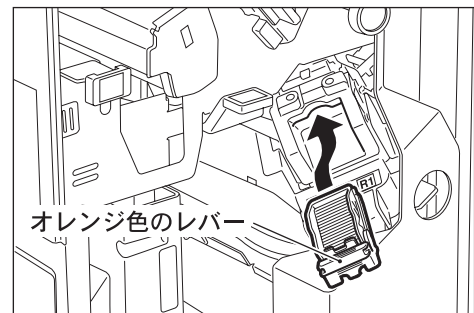
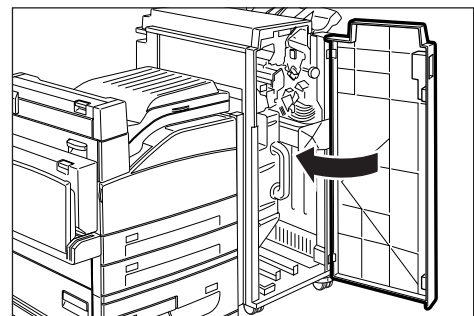
```
Gヲアケ ホチキスノ ハリヲ
ホキュウシテ クダ゛サイ
```

補足

- 弊社が推奨していないホチキスカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するホチキスカートリッジをご使用ください。
- 新しいホチキスカートリッジを発注するときは、「付録 A.2 オプション製品と消耗品の紹介」(P. 198)の商品コードを確認のうえ、販売店にご注文ください。

1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのカバーG（フロントカバー）を開けます。

2. ホチキスカートリッジホルダーのレバー（R1）を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。

3. オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

補足

- ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出す際は、強めにホチキスカートリッジを引いてください。

4.　空になった針ケースの左右をつまみ（①）、図のようにカートリッジから取り出します（②）。

5.　新しいホチキス針ケースを、ホチキスカートリッジに挿入します。

6.　オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

7.　カバーGを閉じます。

6.4　レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法について説明します。

レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

レポート名	説明
機能設定リスト	本機のハードウエア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。オプション製品が正しく取り付けられているかどうか確認するときなどに印刷します。
ジョブ履歴レポート	コンピューターから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。[ジョブ履歴レポート]には、最新の 50 件までの印刷ジョブが印刷されます。 この[ジョブ履歴レポート]は、50 件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。「ジドウ ジョブリレキ(自動ジョブ履歴)」(P. 92) を参照してください。 また、[ジョブ処理状態]欄にエラー終了の内容が印字されることがあります。エラー終了の内容については「エラーコード一覧」(P. 150) を参照してください。
エラー履歴レポート	本機に発生した最新の 50 件までのエラーに関する情報が印刷されます。
プリンター集計レポート	コンピューター別(ジョブオーナー別)に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。[プリンター集計レポート]は、データを初期化した時点からのカウントになります。
フォントリスト	ART EX、ART IV、PR201H、ESC/P、HP-GL/2、PCL で使用できるフォントの一覧が印刷されます。 補足 ・ PDF Bridge で使用できるフォントも印刷されます。PostScript ソフトウエアキット(オプション)が取り付けられている場合は、[プリントショリモード]で[PDF Bridge]が選択されている必要があります。
ART EX フォーム登録リスト	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。 参照 ・ プリンタードライバーのオンラインヘルプ
TIFF 設定リスト	TIFF プリントモードでの各設定が印刷されます。
TIFF 論理プリンター登録リスト	TIFF プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 10 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ TIFF 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

レポート名	説明
PDF 設定リスト	操作パネルの［PDF］の設定が印刷されます。 ContentsBridge Utility を使用しないで PDF ファイルを直接印刷する場合の設定を確認できます。 補足 ・［プリント処理モード］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に印刷されます。 ・［レイアウト］は操作パネルの［プリントショリモード］で［PS］が選択されている場合は、印刷されません。
PR201H 設定リスト	PR201H プリントモードでの各設定が印刷されます。
PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト	PR201H プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 10 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・PR201H 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。
ESC/P 設定リスト	ESC/P プリントモードでの各設定が印刷されます。
ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト	ESC/Pプリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 10 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・ESC/P 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。
HP-GL/2® 設定リスト	HP-GL/2 プリントモードでの各設定が印刷されます。
HP-GL/2® 論理プリンター・メモリー登録リスト	HP-GL/2プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 〜 10 までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・HP-GL/2 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。
PCL 設定リスト	PCL プリントモードでの各設定が印刷されます。
PCL フォーム登録リスト	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。 参照 ・プリンタードライバーのオンラインヘルプ
ドメイン制限リスト	設定されている受信許可ドメインの一覧が印刷されます。
ART Ⅳ、PR201H、ESC/P ユーザー定義リスト	ART Ⅳ、PR201H、および ESC/P プリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容が印刷されます。
使用済み製品回収情報シート	消耗品などの回収時、または本機の使用が済み回収を希望される場合に印刷して使用するシートです。
PostScript® フォントリスト	PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に、PostScript で使用できるフォントが印刷されます。

レポート名	説明
PostScript® 論理プリンター登録リスト	PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に、PostScript で作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている1～10までの論理プリンターの設定が確認できます。 補足 ・PostScript 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。
機能別カウンターレポート	機能別の出力枚数一覧が印刷されます。
蓄積文書リスト	セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧が印刷されます。このリストは、内蔵増設ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に印刷できます。 参照 ・「2.6 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」(P. 38) ・「2.7 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -」(P. 41) ・「2.8 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -」(P. 44)

補足

- レポートやリストの印刷は、操作パネルから指示します。操作方法については、「レポート / リストを印刷する」(P. 171) を参照してください。
- [ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト]、[PR201H 設定リスト]、[ESC/P 設定リスト]、[HP-GL/2® 設定リスト]、[HP-GL/2® 論理プリンター・メモリー登録リスト]、[PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト]、[ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト]、[PCL フォーム登録リスト] について詳しくは、本機に同梱されている CentreWare の CD-ROM 内の各エミュレーション設定ガイドを参照してください。

レポート / リストを印刷する

レポート / リストは、操作パネルを操作して印刷します。

1. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[レポート / リスト] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、印刷したいレポート / リスト名を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

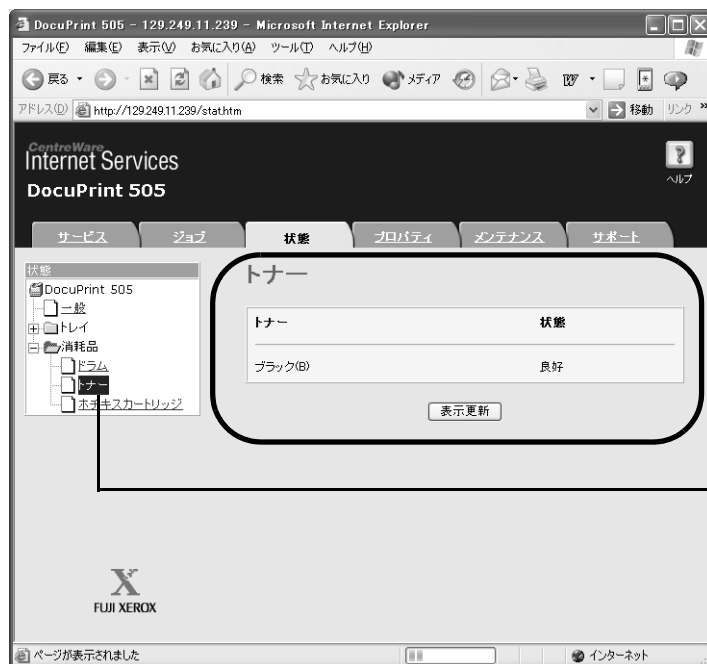
補足

- 次のリストを印刷する場合は、[プリント ゲンゴ] を表示して〈▶〉ボタンを押してから、印刷したいリストを〈▲〉または〈▼〉ボタンで表示し、〈▶〉ボタンを押します。
  - ART EX フォーム登録リスト
  - PR201H 設定リスト
  - ESC/P 設定リスト
  - HP-GL/2® 設定リスト
  - TIFF 設定リスト
  - PDF 設定リスト
  - PCL フォーム登録リスト
  - PostScript 論理プリンター登録リスト
  - PC-PR201H 論理プリンター・メモリー登録リスト
  - ESC/P 論理プリンター・メモリ登録リスト
  - HP-GL/®2 論理プリンター・メモリー登録リスト
  - TIFF 論理プリンター登録リスト
  - PCL 設定リスト
  -

4. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
選択したレポート / リストが印刷されます。

5. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。

6.5　Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する

本機を TCP/IP 環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の設定を行ったりできます。
この機能を、CentreWare Internet Services と呼びます。
CentreWare Internet Services では、本機にセットされている消耗品や用紙などの残量も確認できます。

本機の認証設定によっては、CentreWare Internet Services の画面を表示する場合や、各種設定項目を変更する場合に、「ユーザー名」と「パスワード」の入力を要求される場合があります。
また、ブラウザーと本機の間の通信を暗号化する設定をしている場合、証明書が必要な場合があります。

参照
・ 本機の認証設定については、「ニンショウ／シュウケイカンリ（認証／集計管理）」(P. 95) を参照してください。

・ CentreWare Internet Services の画面を表示する

本機の認証機能を使用している場合、CentreWare Internet Services の画面を最初に表示する際に、ユーザー名とパスワードを要求されます。
入力するユーザー名とパスワードは本機に登録してある、機械管理者か、登録してあるユーザーの UserID とパスワードを入力して下さい。

・ 設定項目を変更する

本機の認証機能を使用していなくても、ユーザー名とパスワードを要求されます。
入力するユーザー名とパスワードは本機に登録してある、機械管理者の UserID とパスワードです。
工場出荷時の設定は、ユーザー名「11111」、パスワード「x-admin」です。
運用の際は、工場出荷時のパスワードを必ず変更してください。

・ 通信の暗号化について

本機とブラウザーなどの間の通信の内容を暗号化することができます。通信内容を暗号化するには、CentreWare Internet Services の［プロパティ］タブにある、［セキュリティー］で証明書を作成し、［HTTPS］を有効にします。

CentreWare Internet Servicesを使用するための設定

CentreWare Internet Servicesを使用できる環境、および使用するための設定について説明します。

補足
- 本機をローカルプリンターとして使用している場合は、CentreWare Internet Servicesは使用できません。

コンピューターのOS

- Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版（ServicePack 1以上）
- Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
- Microsoft® Windows® Me Operating System 日本語版
- Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 日本語版（ServicePack 4以上）
- Microsoft® Windows NT® Server 4.0 日本語版（ServicePack 4以上）
- Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版
- Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版

ブラウザー

- Windows用Internet Explorer ver5.5、6.0日本語版

CentreWare Internet Servicesを使用するときのWebブラウザーの設定について

CentreWare Internet Servicesを使用する場合、プロキシサーバーを経由しないで直接本機のアドレスを指定することをお勧めします。

補足
- プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されないことがあります。
- 設定方法については、お使いのWebブラウザーのオンラインヘルプを参照してください。

また、CentreWare Internet Servicesを正しく動作させるために、Webブラウザーで次のように設定されている必要があります。

Netscape Communicatorの場合

- JavaScriptを有効にする設定が選択されていること
- キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較について、セッション毎に比較、または毎回比較する設定が選択されていること

Internet Explorerの場合

- セキュリティのレベルについて、アクティブスクリプトを有効にする設定が選択されていること
- 保存しているページの新しいバージョンの確認について、ページを表示する、またはInternet Explorerを起動するたびに確認する設定が選択されていること

プリンター側の設定

CentreWare Internet Services を使用する場合は、本機の IP アドレスが設定されていることと、[インターネットサービス]が起動している必要があります(初期値:[キドウ])。[インターネットサービス]を停止している場合は、操作パネルで[キドウ]に設定してください。

参照
・「インターネットサービス」(P. 89)

使用方法

本サービスを使用する場合は、次の手順で Web ブラウザーを起動します。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。

2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

・IP アドレスの入力例

補足
・ポート番号を指定する場合には、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」(初期値のポート番号)を指定してください。ポート番号は、CentreWare Internet Services の[プロパティ]画面>[プロトコル設定]>[HTTP]で変更できます。設定できるポート番号の範囲は、1 ~ 65535 です。ポート番号を変更した場合は Web ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。

CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

オンラインヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、［ヘルプ］ボタンを押して、オンラインヘルプを参照してください。

補足

- ［ヘルプ］ボタンをクリックしてもヘルプウィンドウが表示されない場合は、同梱されているマニュアル CD-ROM 内の Menu.pdf をダブルクリックしてメニュー画面を表示し、［CentreWare Internet Services のオンラインヘルプ］ボタンをクリックしてください。
- オンラインヘルプは、以下のブラウザーで動作することを確認しています。
  Microsoft Internet Explorer 5.5 Service Pack2 以降

IP アドレスによるアクセス制御機能について

本機では、使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、印刷を受け付ける IP アドレスを制限することができます。

1.　CentreWare Internet Services で、［プロパティ］をクリックします。

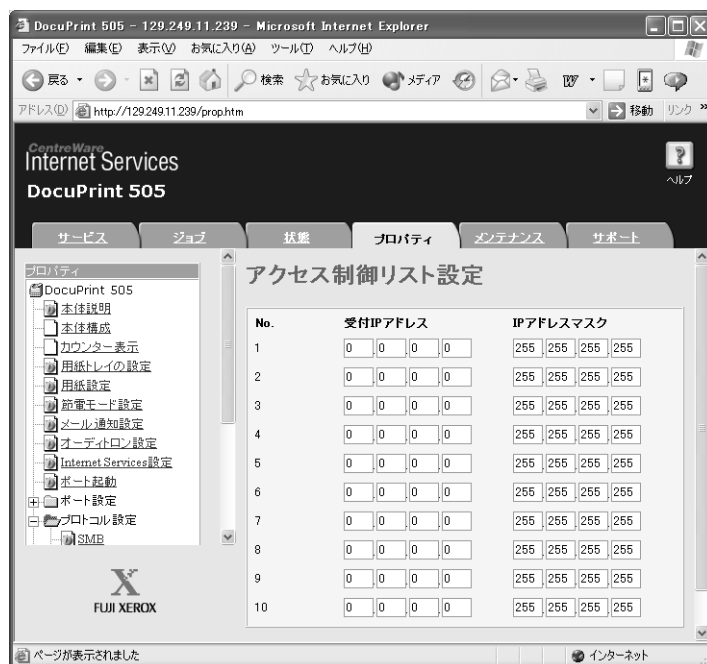
2.　左側のメニューから［プロトコル］＞［TCP/IP］をクリックします。

3.　［アクセス制御］の［有効］にチェックを付け、［編集］ボタンをクリックします。

補足

- 操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、［OK］をクリックしてください。

4.　［受付 IP アドレス］に TCP/IP で接続を許可する IP アドレスを設定します。

5.　［IP アドレスマスク］に、［受付 IP アドレス］で登録した IP アドレスに対するアドレスマスクを設定します。
たとえば、受付 IP アドレスを 129.249.110.23、IP アドレスマスクを 255.255.255.0 と設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、129.249.110.*（* は 1 ～ 254）になります。

6.　［新しい設定を適用］ボタンをクリックし、本機を再起動します。

6.6　電子メールでプリンターの状態を確認する

本機が接続されているネットワークに、メールの送受信ができる環境がある場合には、コンピューターから本機の状態をメールで知らせることができます。また、メール通知の周期や予定日などを設定することもできます。
この機能を、メール通知サービスといいます。

メール通知サービスで通知される情報

メール通知サービスで通知される情報には、次のようなものがあります。

情報の種類	説明
CRU 状態	カートリッジの状態をメール通知する場合は、通知先メールアドレスの（チェックボックス）にチェックします。
ERU 状態	部品の状態をメール通知する場合は、通知先メールアドレスの（チェックボックス）にチェックします。
給紙トレイ状態	給紙トレイの状態をメール通知する場合は、通知先メールアドレスの（チェックボックス）にチェックします。
排出先状態	排出先の状態をメール通知する場合は、通知先メールアドレスの（チェックボックス）にチェックします。
ジャム発生	紙詰まりの発生をメール通知する場合は、通知先メールアドレスの（チェックボックス）にチェックします。
インターロック状態	カバーの状態をメール通知する場合は、通知先メールアドレスの（チェックボックス）にチェックします。
エラー発生	エラーの状態をメール通知する場合は、通知先メールアドレスの（チェックボックス）にチェックします。

参照
・ 設定方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

メール通知の周期について

次のようなメール通知の周期や予定日を設定できます。

設定	説明
定期通知	メール通知の周期を、［しない］、［毎日］、［毎週］、［2 週毎］、［3 週毎］、［4 週毎］、［毎月］ の中から選択します
定期通知する曜日（週）	［定期通知］で週単位の周期を選択した場合、メール通知を行う曜日を指定します。
定期通知する日（毎月）	［定期通知］で［毎月］を選択した場合、メール通知を行う日を指定します。
定期通知時刻	メール通知を行う時刻を指定します。
次回の定期通知予定日	メール通知が次回送信される予定日を表示します。

参照
・ 設定方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

メール通知サービスを使用するための設定

メール通知サービスを使用するためには、ネットワーク環境やメール環境の設定が必要です。設定が済んでいるかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク環境

・ ユーザーアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどを設定します。
メール環境に合わせて、［プロパティ］の次の項目を設定します。

補足
・ 設定後は、必ず［新しい設定を適用］をクリックして本機の電源を切り、入れ直します。
・［メール通知設定］は、［ポート起動］で［メール通知］の［起動］にチェックを付けて、本機の電源を切り、入れ直すと表示されます。

*：工場出荷時の初期値

項目	設定項目	説明
本体説明	管理者メールアドレス（設定推奨）、本体メールアドレス	「E メールプリントをするための環境設定」の「本体説明」（P. 54）を参照してください。
ポート起動	メール通知	チェックを付けます。
プロトコル設定 ＞ TCP/IP	ホスト名、DNS サーバーアドレス取得方法、DNS サーバーアドレス 1 〜 3、DNS ドメイン名	「E メールプリントをするための環境設定」の「プロトコル設定＞ TCP/IP」（P. 54）を参照してください。
プロトコル設定 ＞メール	受信プロトコル、POP3 サーバーアドレス、POP3 サーバー確認間隔、POP ユーザー名、POP ユーザーパスワード、SMTP 送信の認証、SMTP サーバーアドレス	「E メールプリントをするための環境設定」の「プロトコル設定＞メール」（P. 55）を参照してください。
メール通知設定	メール通知設定	メール通知を行う間隔などについて設定します（設定任意）。
	通知先設定	通知先のメールアドレスを 256 バイト以内で設定します。「,」で区切って、複数のメールアドレスを設定できます。ただし、各メールアドレスは、128 バイト以内で設定します。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

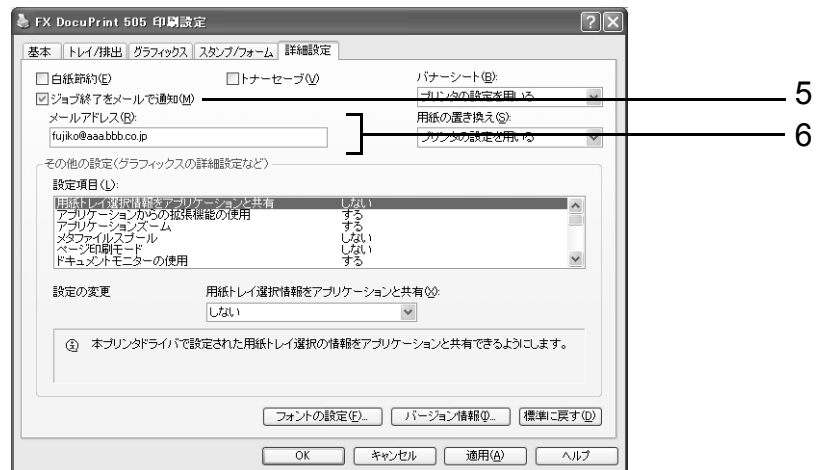
印刷を指示したジョブの結果をメールで受け取るためには、ART EX プリンタードライバーのプロパティで以下の設定をします。ここでは、Windows XP を例に説明します。

1. ［スタート］メニューから、［プリンタと FAX］をクリックします。

2. 本機のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。

3. ［全般］タブで［印刷設定］をクリックします。
［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

4. ［詳細設定］タブをクリックします。

5. ［ジョブ終了をメールで通知］のチェックを付けます。

6. ［メールアドレス］に、通知先のメールアドレスを半角英数字で入力します。

7. ［OK］をクリックします。

6.7　印刷枚数を確認する

印刷の総枚数の確認方法について説明します。

メーターで総印刷枚数を確認する

操作パネルのディスプレイの表示で、メーター別の総印刷枚数を確認できます。
メーターは、カラーモードなどによって区分されています。

メーター 1	白黒印刷
メーター 2	通常は使用しません。
メーター 3	カラー印刷 本機では使用しません。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

1. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［メーター カクニン］を表示し、〈▶〉ボタンを押します。
3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、確認したいメーターを表示します。
4. 確認が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。

プリンター集計レポートで総印刷枚数を確認する

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、［プリンター集計レポート］で確認できます。［プリンター集計レポート］は、データを初期化した時点からのカウントになります。
［プリンター集計レポート］は、操作パネルを操作して印刷します。

プリンター集計レポートの印刷結果について

［プリンター集計レポート］には、次の項目が印刷されます。

初期化日時	プリンター集計のデータを初期化した日時です。
レポート作成日時	プリンター集計レポートを印刷した日時です。

ジョブオーナーごとに、次の項目が印刷されます。

ジョブオーナー名	最大50ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。管理対象になるユーザー名はプリンタードライバーの［ジョブオーナーの指定］で設定します。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 51 人め以降のユーザーの印刷ジョブは、最後から 2 つめの［UnknownUser］欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の［Report/List］欄に集計されます。
ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

補足
・［プリンター集計レポート］のデータを初期化できます。機能の詳細は「初期化 / データ削除」（P. 102）を参照してください。操作手順については、「プリンター集計のデータを初期化する」（P. 181）を参照してください。

プリンター集計レポートの印刷の仕方

1. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［レポート / リスト］を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、［シュウケイ　レポート］を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

4. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
［プリンター集計レポート］が印刷されます。

5. 印刷が終わったら、〈メニュー〉ボタンを押します。

プリンター集計のデータを初期化する

1. 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[キカイ カンリシャ メニュー] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

3. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、[ショキカ / データサクジョ] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

4. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して [シュウケイ レポート ショキカ] を表示し、〈▶〉ボタンを押します。

5. 〈排出 / セット〉ボタンを押します。
   初期化が開始されます。

6. 〈メニュー〉ボタンを押します。

6.8　清掃について

ここでは、プリンターを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンターの清掃の方法について説明します。

⚠ 注意

- **機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。**

プリンター外部の清掃

約 1 か月に 1 回、プリンターの外部を清掃してください。プリンターの外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

注記

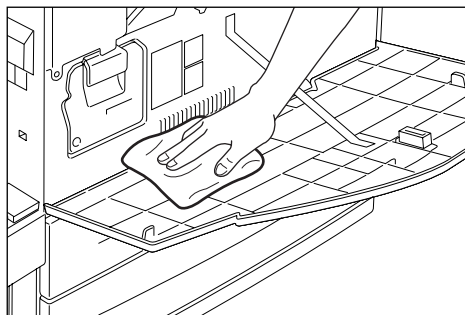
- 洗剤を直接プリンターに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

プリンター内部の清掃

紙づまりの処置やドラムカートリッジ / トナーカートリッジの交換のあとは、カバー A やフロントカバーを閉める前に、内部の点検を行ってください。

⚠ 注意

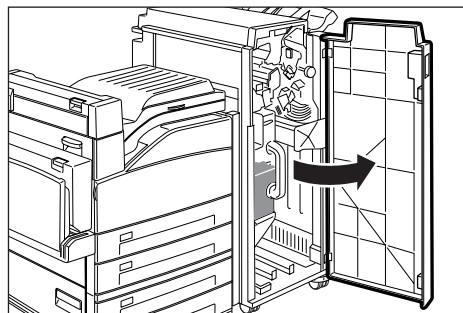
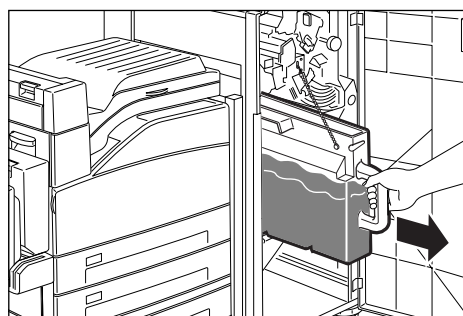
- **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**
  なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因になります。直ちに電源スイッチを切り、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

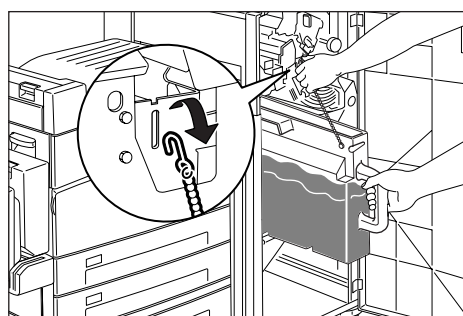
- **紙片が残っている場合は、取り除きます。**
- **ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。**

フィニッシャー（オプション）のパンチ穴のクズを捨てる

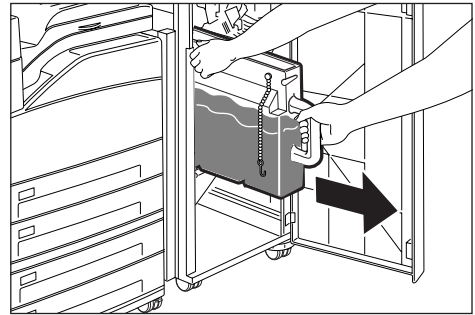
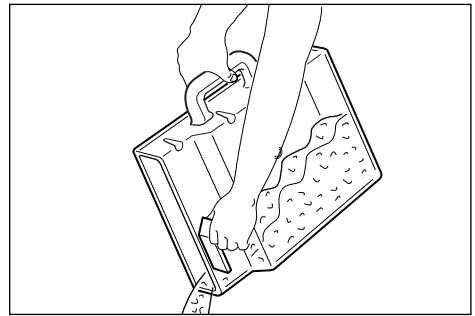
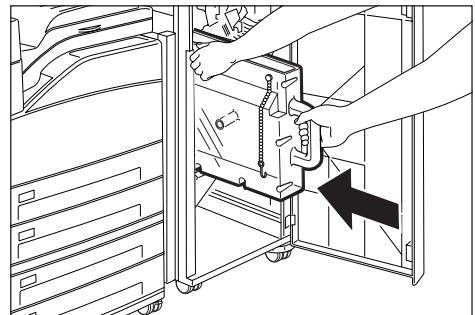
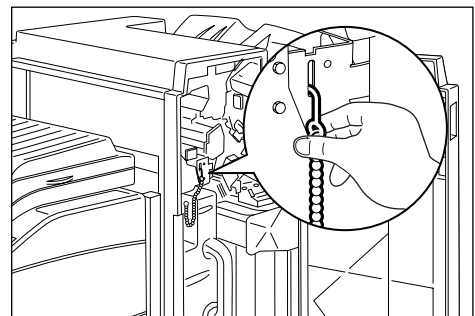
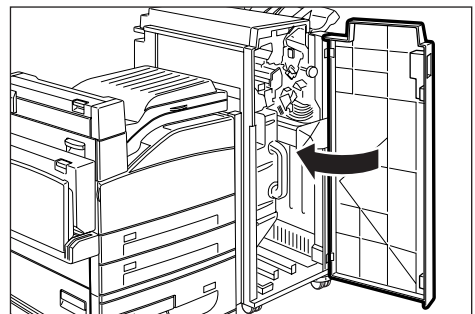
フィニッシャー（オプション）を装着している場合には、パンチ穴のクズがパンチダストボックス（R4）にたまると、次のメッセージが表示されます。

```
Gヲアケ [R4]ヲ ヒキダシ
クズヲ ステテクダサイ
```

このメッセージが表示されたら、次の手順に従って、たまっているパンチ穴のクズを捨ててください。
また、メッセージが表示されていなくても、パンチ穴のクズがパンチダストボックスに半分程度たまった状態を目安に、定期的にパンチ穴のクズを捨ててください。

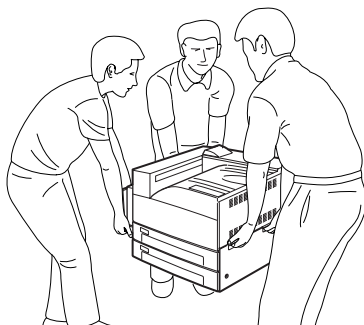
1.　フィニッシャーのカバー G を開けます。

2.　パンチダストボックスの取っ手を右手で持ち、ホルダー上部にある取っ手が見えるまで、ゆっくり引き出します。

3.　ホルダー上部にある取っ手が見えたら、左手で落下防止用チェーンのフックを外します。

注記
・ このときパンチダストボックスが床に落ちないように、気をつけてください。

4.　ホルダー上部の取っ手に左手を添え、両手でパンチダストボックスをゆっくり引き抜きます。

注記
・ パンチダストボックスは、床に落とさないように、両手でしっかりと持って、引き抜いてください。

5.　パンチ穴のクズを捨てます。

6.　パンチダストボックスを元に戻します。

7.　落下防止用チェーンのフックを凹みに引っかけます。

8.　カバー G を閉じます。

6.9　プリンターを移動するときは

プリンターを移動するときは、次の手順に従ってください。

⚠ 注意

- **プリンターの重さは、オプション製品、用紙トレイ、消耗品、用紙を除いた本体のみの状態で 41.2kg（DocuPrint 405 の場合）または 45.3kg（DocuPrint 505 の場合）です。必ず 3 人以上で持ち運んでください。**
- **プリンターを持ち上げるときは、次の点を守ってください。守らないと、落下によるケガの原因となるおそれがあります。**
  ･3 人で図のようにプリンターの両側に立ち、両手でしっかりと持ちます。
  ･十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

- **オプションの 2 トレイモジュール、大容量給紙トレイ、大容量給紙キャビネット、フィニッシャーを取り付けている場合は、キャスターを使って移動するか、またはオプションを取り外してから移動してください。オプションを取り付けたままプリンターのみを持ち上げると、落下によるケガの原因になります。オプション製品の取り外し方は、各オプション製品に同梱されている設置手順書を参照してください。**

1. **プリンターの電源スイッチの〈⏻〉側を押して、電源を切ります。**
2. **電源プラグをコンセントから抜き、プリンターからも電源コードを取り外します。**
3. **プリンターから、インターフェイスケーブルなど、すべての接続コードを外します。**
4. **センタートレイに用紙がある場合は取り除きます。**
5. **用紙トレイから用紙を取り出します。**
   取り出した用紙は、紙などで包み、湿気やホコリから守ってください。
6. **別フロアーへの移動など、段差があるところを運ぶときに、オプション製品の 2 トレイモジュール、大容量給紙トレイ、大容量給紙キャビネット、フィニッシャーなどが取り付けられている場合には、取り外して元の通りに梱包します。**

補足
- オプション製品の取り外し方は、各オプション製品に同梱されている設置手順書を参照してください。

同一フロアー内など段差がないところを移動する場合には、オプション製品を取り外す必要はありません。オプション製品の 2 トレイモジュール、大容量給紙トレイが装着されている場合には、前面のキャスタースットッパーのロックを外し、ゆっくりと押しながら移動します。

7. **オプション製品を取り外している場合は、プリンターを両手でしっかりと持って、静かに移動します。必要に応じて、台車を利用してください。**

補足
- プリンターを長距離運搬するときは、傷がつかないように梱包してください。

8.　適切な場所にプリンターを設置します。

参照

・ プリンターの設置については、『セットアップ＆クイックリファレンスガイド　1 設置について』を参照してください。

A 付　録

A.1　主な仕様

製品の仕様

DocuPrint 405/505 の主な仕様を記載します。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本体

項　目	内　容
形式	デスクトップタイプ
プリント方式	レーザーゼログラフィー 注記 ・ 半導体レーザー＋乾式電子写真方式
定着方式	ヒートローラー（オイルレス）
ウォームアップタイム	45 秒以下（標準構成時、電源投入時、室温 22℃） 注記 ・ ネットワークの環境によっては、45　秒以上かかる場合があります。
連続プリント速度 注記 ・ 官製はがき、OHP フィルム等の用紙種類、サイズやプリント条件によっては、プリント速度が低下します。また、画質調整のため、プリント速度が低下する場合があります。	DocuPrint 405： 片面印刷時：40 枚 / 分 両面印刷時：40 ページ / 分 DocuPrint 505： 片面印刷時：50 枚 / 分 両面印刷時：50 ページ / 分 注記 ・ 片面印刷時：A4　ヨコ同一原稿連続プリント時。 ・ 両面印刷時：A4　ヨコ連続プリント時。
解像度	出力解像度：1200dpi（47.2 ドット /㎜）、600dpi（23.6 ドット /㎜） イメージエンハンス機能により 2400dpi　相当（9,600dpi　相当× 600dpi） データ処理解像度：1200dpi（47.2 ドット /㎜）、600dpi（23.6 ドット /㎜）
階調	256 階調

項　目	内　容
用紙サイズ 注記 ・推奨用紙をご使用ください。用紙の種類によっては、正しく印刷できない場合があります。インクジェット専用用紙は使用しないでください。なお、推奨用紙については、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店までお問合せください。 ・かもめーるや年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。 ・使用済用紙の裏面や事前印刷用紙への印刷、使用環境が乾燥地、寒冷地、高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合がありますので、ご注意ください。 ・オプションの2トレイモジュールと大容量給紙トレイは、いずれかひとつの選択使用となります。	用紙トレイ 1、2： A3、A4、A5、B4、B5、Letter（8.5 × 11”）、 Legal（8.5 × 13”、8.5 × 14”）、 ユーザー定義サイズ： 最大　297.0 〜 432.0mm、最小　139.7 〜 182.0mm
	手差しトレイ： A3、A4、A5、B4、B5、Letter（8.5 × 11”）、 Legal（8.5 × 13”、8.5 × 14”）、官製はがき、 ユーザー定義サイズ： 最大　297.0 〜 431.8mm、最小　89.0 〜 98.4mm
	2 トレイモジュール(オプション)： A3、A4、A5、B4、B5、Letter(8.5 × 11”)、 Legal(8.5 × 13”、8.5 × 14”)、 ユーザー定義サイズ： 最大　297.0 〜 432.0mm、最小　139.7 〜 182.0mm
	大容量給紙トレイ / 大容量給紙キャビネット（オプション）： A4、B5、Letter（8.5 × 11”）
	両面印刷ユニット： A3、A4、A5、B4、B5、Letter（8.5 × 11”）、 Legal（8.5 × 13”、8.5 × 14”）、 ユーザー定義サイズ： 最大　297.0 〜 431.8mm、最小　88.9 〜 127.0mm 注記 ・DocuPrint 405 の場合は、オプションです。 ・DocuPrint 405 は、オプションのインターフェイスユニットが必要です。
像欠け幅	用紙の左右 4mm、用紙の上下 4mm
用紙種類 注記 ・弊社推奨紙の使用をお勧めします。使用条件によっては正しく印刷できない場合があります。 ・オプションの2トレイモジュールと大容量給紙トレイは、いずれかひとつの選択使用となります。	用紙トレイ 1： 普通紙 / 再生紙（60 〜 90g/ ㎡）/ 厚紙（90 〜 105g/ ㎡）、 OHP フィルム (モノクロ用)、ラベル紙
	用紙トレイ 2： 普通紙 / 再生紙（60 〜 90g/ ㎡）/ 厚紙 1（90 〜 190g/ ㎡）/ 厚紙 2（190 〜 215g/ ㎡）、OHP フィルム (モノクロ用)、ラベル紙
	手差しトレイ： 普通紙 / 再生紙（60 〜 90g/ ㎡）/ 厚紙 1（90 〜 190g/ ㎡）/ 厚紙 2（190 〜 215g/ ㎡）、OHP フィルム (モノクロ用)、 封筒 (長形 3 号、長形洋 3 号、長形洋 4 号)、 ラベル紙、官製はがき（190g/ ㎡）
	2 トレイモジュール（オプション）： 普通紙 / 再生紙（60 〜 90g/ ㎡）/ 厚紙 1（90 〜 190g/ ㎡）/ 厚紙 2（190 〜 215g/ ㎡）、OHP フィルム (モノクロ用)、ラベル紙
	大容量給紙トレイ / 大容量給紙キャビネット（オプション）： 普通紙 / 再生紙（60 〜 90g/ ㎡）/ 厚紙 1（90 〜 190g/ ㎡）/ 厚紙 2（190 〜 215g/ ㎡）、OHP フィルム (モノクロ用)、ラベル紙
	両面印刷ユニット 普通紙 / 再生紙（60 〜 120g/ ㎡） 注記 ・DocuPrint 405 の場合は、オプションです。 ・DocuPrint 405 は、オプションのインターフェイスユニットが必要です。

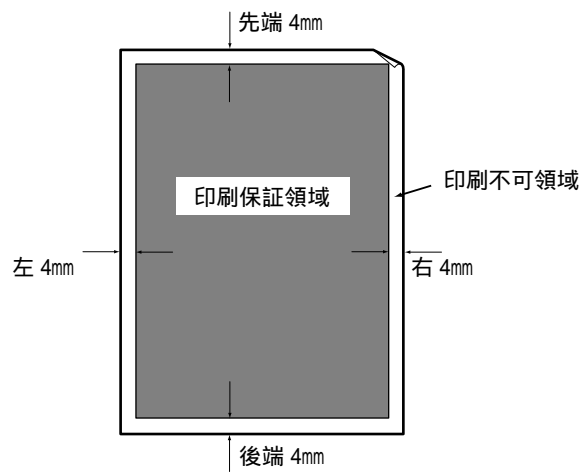
項　目	内　容
給紙容量 （用紙はすべてA4サイズ、P紙）	標準： 用紙トレイ1、2（500枚） 手差しトレイ（100枚）
	オプション： 2トレイモジュール：用紙トレイ3、4（500枚） 大容量給紙トレイ：用紙トレイ3（800枚） 用紙トレイ4（1,200枚） 大容量給紙キャビネット：用紙トレイ6（2,000枚）
出力トレイ容量 （用紙はすべてA4サイズ、P紙）	標準： センタートレイ約500枚（フェイスダウン）
	オプション（フィニッシャー）： 排出トレイ：約500枚（フェイスダウン） フィニッシャートレイ：約3,000枚（フェイスダウン） 注記 ・フィニッシャーを取り付ける際は、オプションの 2 トレイモジュールまたは大容量給紙トレイが必要です。また、DocuPrint 405 はオプションのインターフェイスユニットが必要です。インターフェイスユニットにより、センタートレイへの出力も可能となります。
CPU	PowerPC® 350MHz
メモリー容量 注記 ・出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも出力画像を保証できない場合があります。	標準： 128MB、増設用メモリースロット1個（空スロット1個）
	オプション： 128MBまたは256MB増設メモリー（最大384MB）
内蔵ハードディスク 注記 ・オプションの増設メモリー(128MBまたは256MB)が必要となります。	オプション（20GB）
搭載フォント 注記 ・OCR-B相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、OCR-B 装置、バーコードスキャナーでの評価が必要です。あらかじめご確認されることを推奨します。	標準： 日本語4書体（平成明朝体™W3、平成明朝体™W3P、 平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W5P）、 欧文15書体、OCR-B1、バーコード 注記 ・ART IV、ESP/P(CODE39、JAN、NW-7(CODABAR)、CODE128、ITF (Interleaved 2 of 5) ベアラーバーなし、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、カスタマーバーコード、QRコード)
	オプション： モリサワ2書体（リューミンライトKL™、中ゴシックBBB™）、 平成3書体（明朝体™W3、明朝体™W5、角ゴシック体™W5）、 バーコード 注記 ・オプションのPostScript® ソフトウエアキット (平成3書体もしくはモリサワ2書体) が必要です。 ・PostScript®3™ (CODE39、JAN、NW-7(CODABAR)、CODE128、ITF (Interleaved 2 of 5) ベアラーバーあり / なし、カスタマーバーコード)

項　目	内　容
ページ記述言語	標準：ART EX
	オプション：PostScript®3™ 注記 ・オプションの PostScript® ソフトウエアキット（平成 3 書体もしくはモリサワ 2 書体）が必要です。
エミュレーション	ART IV、PC-PR201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、TIFF、PDF PCL 5e/PCL XL
対応 OS 注記 ・最新対応 OS については弊社ホームページをご覧ください。	標準： Windows® 95/Windows® 98/Windows® 98SE/Windows® Me/ Windows NT® 4.0（Service Pack6 以上）/ Windows® 2000/Windows® XP/Windows Server™ 2003
	オプション： Mac OS® 8.6 ～ 9.2.2、Mac OS X 10.1.5/10.2/10.3.3 注記 ・オプションの PostScript® ソフトウエアキット（平成 3 書体もしくはモリサワ 2 書体）が必要です。
インターフェイス	標準： 双方向パラレル（IEEE1284 準拠）、Ethernet 100BASE-TX、10BASE-T、USB1.1 注記 ・USB1.1 は、4pin。Windows® 98SE/Me/2000/XP、Windows Server™ 2003 プレインストールモデルに対応。
	オプション： USB2.0（High Speed 480Mbps） 注記 ・オプションの USB2.0(High Speed) インターフェイスキットが必要です。本オプション増設時は、標準装備の USB1.1 インターフェイスは使用できません。 ・4pin。Windows® 2000/XP、Windows Server™ 2003 プレインストールモデルに対応。
対応プロトコル	TCP/IP（lpd、SMB、Port9100、IPP、BM-LinkS）、IPX/SPX、EtherTalk 注記 ・Mac OS® X は TCP/IP（lpr）も対応。
電源 注記 ・推薦コンセント容量、機械側最大電流 15A。	AC 100V±10%、15A 以下、50/60Hz 共用
動作音 注記 ・ISO9296 に基づき測定。単位 B：音響パワーレベル、単位 dB（A）：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）	DocuPrint 405： 稼動時：7.0B 以下、53.2dB(A) 以下 待機時：3.8B 以下、24.7dB(A) 以下
	DocuPrint 505： 稼動時：7.1B 以下、54.0dB(A) 以下 待機時：3.9B 以下、29.0dB(A) 以下

項　目	内　　容
消費電力 注記 ・弊社測定基準による。消費電力は関連商品取り付けのフル構成時。低電力モード時（標準構成時）：57W 以下。	最大 1,370W 以下 スリープモード時：7W 以下（標準構成時）
	平均消費電力　待機時：140W 稼働時：DocuPrint 405　920W DocuPrint 505　950W
大きさ 注記 ・標準構成時	DocuPrint 405：幅 640×奥行 520×高さ 505mm
	DocuPrint 505：幅 640×奥行 520×高さ 577mm
質量 注記 ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを含む。	DocuPrint 405：44.2kg
	DocuPrint 505：48.3kg

フィニッシャー

項　目		内　容
トレイ形式	排出トレイ	ソート スタック
	フィニッシャートレイ	ソート（オフセット可） スタック（オフセット可）
用紙サイズ / 使用可能用紙 注記 ・フィニッシャーへのOHP/ 封筒 / ラベルの出力はできません。センタートレイに排出されます。	排出トレイ	A3、A4、B4、B5、Letter（8.5 × 11"）、Legal（8.5 × 13"、8.5 × 14"） 用紙坪量：60 ～ 215g/m²
	フィニッシャートレイ	A3、A4、B4、B5 タテ、Letter（8.5 × 11"）、Legal（8.5 × 13"、8.5 × 14"） 用紙坪量：60 ～ 215g/m²
トレイ容量 注記 ・弊社 P 紙の場合。	排出トレイ	A4 最大 500 枚
	フィニッシャートレイ	A4 ヨコ：最大 3,000 枚、A4 タテ、B4 以上：最大 1,500 枚 ミックススタック：300 枚以上 注記 ・ミックススタック： 小さいサイズの上に大きいサイズの用紙が積載された場合
ステープル	ステープル可能用紙サイズ	最大：A3 最小：B5
	最大ステープル枚数	50 枚 注記 ・用地坪量 90g/m2 以内の場合。
	ステープル位置	1ヶ所（手前・奥 / 斜め打） 2ヶ所（並行打）
パンチ	パンチ可能用紙サイズ	最大：A3 最小：B5
	パンチ穴数	2 穴
電源		本体から供給
大きさ		幅 680 ×奥行 639 ×高さ 995㎜（延長トレイ未使用時） 幅 750 ×奥行 639 ×高さ 1,050㎜（延長トレイ使用時）
質量		50kg 以下
本体接続時の占有寸法		幅 1,320 ×奥行 639㎜（本体＋フィニッシャー）

印刷できる領域

内蔵フォント

標準で以下のフォントを使用できます。

参照
・PostScript フォント（オプション）については、PostScript ソフトウエアキット内のマニュアルを参照してください。

ストロークフォント（HP-GL、HP-GL/2 専用）

・欧文＋カタカナストロークフォント
・日本語ストロークフォント

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript では使用できません。

●：装備

	名称	ART EX	ART IV	ESC/P, 201H	HP-GL, HP-GL/2	PDF Bridge
和文	平成明朝体 ™W3	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体 ™W5	●	●	●	●	●
	平成明朝体 ™W3P					●
	平成角ゴシック体 ™W5P					●
	ストロークフォント				●	
欧文	ストロークフォント				●	
	ITC ZapfDingbats					●
	Arial	●	●			●
	Arial Bold	●	●			●
	Arial Italic	●	●			●
	Arial Bild Italic	●	●			●
	Courier New	●	●			●
	Courier New Bold	●	●			●
	Courier New Italic	●	●			●
	Courier New Bold Italic	●	●			●

	名称	ART EX	ART IV	ESC/P, 201H	HP-GL, HP-GL/2	PDF Bridge
欧文	Times New Roman	●	●			●
	Times New Roman Bold	●	●			●
	Times New Roman Italic	●	●			●
	Times New Roman Bold Italic	●	●			●
	Century	●	●			
	Symbol	●	●			●
	Wingdings	●	●			
	OCR-B		●	●		

フィニッシャーで扱える用紙サイズ

フィニッシャーでは、次の表にある用紙が扱えます。

補足
・「向き」が「たて置き」の場合、用紙の長辺にパンチ、ホチキスができることを示します。
・「向き」が「よこ置き」の場合、用紙の短辺にパンチ、ホチキスができることを示します。
・ 原稿の向きに対するパンチ、ホチキスの可能 / 不可能を示すものではありません。注意してください。

○：扱える用紙　　×：扱えない用紙

用紙サイズ	向き	排出先			ホチキス		パンチ
		本体	フィニッシャー				
		センタートレイ	排出トレイ	フィニッシャートレイ	1 か所	2 か所	
A6	たて置き	○	×	×	×	×	×
A5	よこ置き	○	×	×	×	×	×
	たて置き	○	×	×	×	×	×
A4	よこ置き	○	○	○	○	○	○
	たて置き	○	○	○	○	○	○
A3	よこ置き	○	○	○	○	○	○
B6	よこ置き	○	×	×	×	×	×
	たて置き	○	×	×	×	×	×
B5	よこ置き	○	○	×	×	×	×
	たて置き	○	○	○	○	○	○
B4	よこ置き	○	○	○	○	○	○
5.5 × 8.5"	よこ置き	○	×	×	×	×	×
	たて置き	○	×	×	×	×	×
Executive	よこ置き	○	○	×	×	×	×
	たて置き	○	○	○	○	○	○
8.5 × 10"	よこ置き	○	○	○	○	○	○
	たて置き	○	○	○	○	○	×
8.5 × 11" (Letter)	よこ置き	○	○	○	○	○	○
	たて置き	○	○	○	○	○	○
Spanish	よこ置き	○	○	○	○	○	×
8.5 × 13"	よこ置き	○	○	○	○	○	○
8.5 × 14" (Legal)	よこ置き	○	○	○	○	○	○
11 × 15"	よこ置き	○	○	○	○	○	○
11 × 17"	よこ置き	○	○	○	○	○	○
表紙 A4	たて置き	○	○	○	○	○	○
9 × 11" (表紙レター)	たて置き	○	○	○	○	○	○
十六開 (194 × 267㎜)	よこ置き	○	○	×	×	×	×
	たて置き	○	○	○	○	○	○
八開 (267 × 388㎜)	よこ置き	○	○	○	○	○	○

用紙サイズ	向き	排出先			ホチキス		パンチ
		本体	フィニッシャー				
		センタートレイ	排出トレイ	フィニッシャートレイ	1か所	2か所	
十六開 (195×270mm)	よこ置き	○	○	×	×	×	×
	たて置き	○	○	○	○	○	○
八開 (270×398mm)	よこ置き	○	○	○	○	○	○
はがき	たて置き	○	×	×	×	×	×
往復はがき	よこ置き	○	×	×	×	×	×
4×6"	よこ置き	○	×	×	×	×	×
写真2L	よこ置き	○	×	×	×	×	×
封筒 長形3号	たて置き	○	×	×	×	×	×
封筒 長形洋3号	たて置き	○	×	×	×	×	×
封筒 長形洋4号	たて置き	○	×	×	×	×	×
封筒#10	たて置き	○	×	×	×	×	×
封筒モナーク	たて置き	○	×	×	×	×	×
封筒DL	たて置き	○	×	×	×	×	×
封筒C4	よこ置き	○	×	×	×	×	×
封筒C5	たて置き	○	×	×	×	×	×
ユーザー定義		○	×	×	×	×	×

A.2　オプション製品と消耗品の紹介

オプション製品

主なオプション製品は以下のとおりです。お買い上げの際は、販売店までご連絡ください。

商　品　名	商品コード	備考
内蔵増設ハードディスク	E3300087	セキュリティープリント機能やサンプルプリント機能を使用できるようになります。使用するには、増設メモリー（オプション）の取り付けが必要です。
増設メモリー（128MB）	E3300035	内蔵増設ハードディスク、PostScript ソフトウエアキットなどを取り付ける場合などに必要です。また、印刷する用紙サイズによっては、両面印刷時に増設メモリーが必要な場合があります。（A3 サイズで高解像度で両面印刷する場合など）
増設メモリー（256MB）	EC100235	
両面印刷ユニット （DocuPrint 505 の場合は標準）	E3300075	用紙の両面に印刷できます。また、印刷する用紙サイズによっては、両面印刷時に増設メモリーが必要な場合があります。（A3 サイズで高解像度で両面印刷する場合など）
インターフェイスユニット （DocuPrint 505 の場合は標準）	E3300090	オプションの両面印刷ユニットやフィニッシャーを使用するときに必要です。両面印刷時に用紙を裏返します。
2 トレイモジュール	E3300076	標準の用紙トレイと同じ、標準紙（P 紙）を 500 枚までセットできる用紙トレイを 2 段を装備しています。
大容量給紙トレイ	E3300077	標準紙（P 紙）を 800 枚までセットできる用紙トレイと、1,200 枚までセットできる用紙トレイを装備しています。大量の印刷に適しています。
大容量給紙キャビネット	E3300078	標準紙（P 紙）を 2,000 枚までセットできるキャビネットです。大量の印刷に適しています。
フィニッシャー	Q3300009	ホチキス留めや、パンチ穴を開けることができます。排出トレイには最大 500 枚まで、フィニッシャートレイには最大 300 枚までスタックできます。
USB2.0(High Speed) キット	E3300086	USB2.0(High Speed) を使用できるようになります。
PostScript ソフトウエアキット ・平成 3 書体 ・モリサワ 2 書体	 E3300088 E3300089	本機を PostScript 対応プリンターとして利用できます。また、Macintosh からも印刷できるようになります。 使用するには、増設メモリー（オプション）の取り付けが必要です。
パラレルインターフェイスケーブル ・PC/AT 用 D-Sub25Pin ・PC98 用 フルピッチ 36Pin ・PC98 MATE 用 ハーフピッチ 36Pin	 E3200011 VD14 YH57	本機をローカルプリンターとして使用する場合に必要です。

商品の種類や商品コードは 2004 年 9 月現在のものです。

消耗品について

消耗品の種類と取り扱いについて説明します。消耗品の交換手順については、消耗品の梱包箱に記載されている手順、および「6.1 トナーカートリッジを交換する」(P. 160)、「6.2 ドラムカートリッジを交換する」(P. 164)、「6.3 フィニッシャーのホチキス針を補給する」(P. 167) を参照してください。

注記

・ 弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、本機の本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

消耗品の種類

補足

・ 本機を購入時は、ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ各 1 個が同梱されています。

消耗品の種類	商品コード	形態
ドラムカートリッジ	CT350307	1 個 /1 箱
トナーカートリッジ	CT200425	1 個 /1 箱
ホチキス針	CWAA0540	3 個 /1 箱

消耗品の取り扱いについて

・ ドラムカートリッジ、トナーカートリッジの箱は、立てた状態で保管しないでください。

・ 消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。

  ・ 高温多湿の場所

  ・ 火気がある場所

  ・ 直射日光が当たる場所

  ・ ほこりが多い場所

・ 消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。

・ 消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

・ 消耗品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご注文ください。

A.3　消耗品の寿命について

消耗品の寿命について

商品名	印刷可能ページ数
ドラムカートリッジ（60K）	約 60,000 ページ
トナーカートリッジ（30K）	約 30,000 ページ

補足

- ドラムカートリッジ / トナーカートリッジの印刷可能ページ数は、A4□の用紙を使用し、印字比率 5% で連続印刷した場合のページ数です。
- 印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境、本機電源の入切の頻度などによって異なります。

補修用性能部品について

弊社は、消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 7 年間保有しています。

A.4　製品情報の入手方法

最新のプリンタードライバーについて

最新のプリンタードライバーは、弊社のホームページからダウンロードできます。

補足
・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

1. **プリンターのプロパティダイアログボックスの［詳細設定］タブ＞［バージョン情報］をクリックします。**

2. **［Fuji Xerox ホームページ］をクリックします。**
   Web ブラウザーが起動して、ホームページが表示されます。

3. **指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードします。**

補足
・ 本機に同梱されている CentreWare の CD-ROM を使って弊社のホームページを参照することもできます。インストールメニューの［ホームページ］をクリックしてください。
・ 弊社のダウンロードサービスページのアドレス (URL) は、次のとおりです。
http://download.fujixerox.co.jp/
・ 最新のプリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。
・ CentreWare EasyOperator のドライバーインストールツールを使用すると、弊社ホームページからダウンロードできるプリンタードライバーがお使いのプリンタードライバーより新しい場合、新しいプリンタードライバーを自動でダウンロードできます。更新方法の詳細については、本機に同梱されている CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。

本機のファームウエアのバージョンアップについて

弊社では、プリンター本体に組み込まれたソフトウエア（以下、ファームウエアと呼びます）を、コンピューターからバージョンアップするツールを提供しています。
最新のファームウエアおよびバージョンアップ用ツールは、下記の弊社ホームページのアドレス（URL）から取り出すことができます。
表示されたホームページの指示に従って、該当するファームウエアをダウンロードしてください。
http://download.fujixerox.co.jp/

補足
・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

A.5 用紙サイズとメモリー容量について

プリンタードライバーの印刷モードの設定と印刷する用紙サイズによって、必要なメモリー容量は異なります。なお、必要なメモリー容量の数値は、本機の使用環境などによって異なります。下表のメモリー容量を参考にして、印刷を指示してください。

注記
・ データによっては、メモリー容量が足りないために印刷できないことがあります。その場合には、オプションの増設メモリー（128MB または 256MB）を増設してください。また、以下の場合は、メモリーの増設が必要です。
  ・内蔵増設ハードディスクを増設して使用する場合：＋ 128MB
  ・PostScript メモリーを増して使用する場合［30MB 以上］：＋ 256MB

参照
・ 増設メモリー（オプション）については、「オプション製品」（P. 198）を参照してください。

補足
・ プリンタードライバーの種類によって、必要なメモリー容量は異なります。
・ 下表のメモリー容量は、本機が工場出荷時の設定であることを前提にした数値です。必要なメモリー容量は、プロトコルの起動状態や受信バッファサイズによって異なります。

ART EX プリンタードライバー

		メモリー容量 片面（単位：MB）	メモリー容量 両面（単位：MB）
印刷 モード	用紙サイズ	出力可能	出力可能
標準	A5	128	128
	B5	128	128
	A4	128	128
	B4	128	128
	A3	128	128
	ユーザー定義	128	128
高精細	A5	128	128
	B5	128	128
	A4	128	128
	B4	128	128
	A3	128	128
	ユーザー定義	128	128

PostScript プリンタードライバー

		メモリー容量 片面（単位：MB）	メモリー容量 両面（単位：MB）
印刷 モード	用紙サイズ	出力可能	出力可能
標準	A5	128	128
	B5	128	128
	A4	128	128
	B4	128	128
	A3	128	128
	ユーザー定義	128	128
高精細	A5	128	128
	B5	128	128
	A4	128	128
	B4	128	128
	A3	128	128
	ユーザー定義	128	128

A.6　注意 / 制限事項

本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

内蔵増設ハードディスク（オプション）について

- 本機に内蔵増設ハードディスクを取り付けた場合は、増設メモリーの取り付けが必要です。
- 内蔵増設ハードディスクを取り付けている場合、本機の使用中に停電などで電源が切られると、ハードディスク内のデータが壊れることがあります。
- 内蔵増設ハードディスクを取り付けた場合、LPD、SMB、IPP からの印刷データの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART EX、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2 それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2 の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、SMB フォルダー、セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント文書です。セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント文書の各ログは、消去されません。

印刷結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。

- 両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
- ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）

オプション製品について

- セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント、ページ印刷モードを使用する場合は、内蔵増設ハードディスク（オプション）が必要です。
- 本機を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が必要です。

両面印刷でのメーターのカウントについて

両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

TCP/IP（LPD）

TCP/IP（LPD）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定について

- IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目の設定をしてください。

・ポートを起動したときメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
・使用環境に応じて、受信バッファ容量［LPD スプール］のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量［LPD スプール］のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定について

・IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
・NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているコンピューターで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

［LPD スプール］の設定が［メモリースプール］のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

［LPD スプール］の設定が［ハードディスクスプール］のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

［LPD スプール］の設定が［スプールシナイ］のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

［LPD スプール］の設定が［ハードディスクスプール］、または［メモリースプール］のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足
・印刷データが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターがハングアップしたように見えます。対処として、コンピューター側でその印刷データの送信を中止してください。

［LPD スプール］の設定が［スプールシナイ］のとき

あるコンピューターから印刷要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからの印刷要求を受け付けることができません。

TIFF ファイルのフォーマット

サポートする TIFF フォーマットは、次のとおりです。

BitPer Sample	Photometric Interpretation	Compression	多値カラーで JPEG あり / PackBits、RGB Palette
1	WhiteIsZero	Uncompressed (1)	○
		G3 FAX (3)	○
		G4 FAX (4)	○
		LZW (5)	×
		PackBits (32773)	○
	BlackIsZero	Uncompressed (1)	○
		G3 FAX (3)	○
		G4 FAX (4)	○
		LZW (5)	×
		PackBits (32773)	○
4	WhiteIsZero	Uncompressed (1)	○
	BlackIsZero	Uncompressed (1)	○
8	WhiteIsZero	Uncompressed (1)	○
		LZW (5)	×
		JPEG (6)	○
		JPEG (7)	○
		PackBits (32773)	○
	BlackIsZero	Uncompressed (1)	○
		LZW (5)	×
		JPEG (6)	○
		JPEG (7)	○
		PackBits (32773)	○
	ITULAB	JPEG (7)	○
	RGB Palette (3)	Uncompressed (1)	○
		LZW (5)	×
		JPEG (6)	×
		JPEG (7)	×
		PackBits (32773)	○

BitPer Sample	Photometric Interpretation	Compression	多値カラーで JPEG あり / PackBits、RGB Palette
8,8,8,8	CMYK (5)	Uncompressed (1)	×
		LZW (5)	×
		JPEG (6)	×
		JPEG (7)	×
		PackBits (32773)	×
8,8,8	RGB (2)	Uncompressed (1)	○
		LZW (5)	×
		JPEG (6)	×
		JPEG (7)	×
		PackBits (32773)	○
	YCbCr (6)	Uncompressed (1)	×
		LZW (5)	×
		JPEG (6)	○
		JPEG (7)	○
		PackBits (32773)	×
	ITULAB (10)	Uncompressed (1)	○
		LZW (5)	×
		JPEG (6)	×
		JPEG (7)	○
		PackBits (32773)	×

A.7 用語集

【10M（全二重）/（半二重)】

IEEE802.3 の規格の中で、通信速度 10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルの 10BASE-T による通信です。全二重は上り下り各 10Mbps、半二重は、上り下りの合計が 10Mbps になります。

【100M（全二重）/（半二重)】

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの 1 つである 100BASE-TX を使った通信です。全二重は上り下り各 100Mbps、半二重は、上り下りの合計が 100Mbps になります。

【ART】

Advanced Rendering Tool の略で、弊社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。

【ART EX】

弊社製のページ記述言語です。

【BMLinkS】

Business Machine Linkage Service の略で、JBMIA が提唱する OA 機器の標準インターフェイス。またはその標準ドライバーのことです。

【CD-ROM】

コンパクトディスク (CD) にコンピューター用ソフトウエアや画像などのデータを記録したものです。

【DHCP】

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【dpi】

Dot Per Inch の略で、1 インチ（約 25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【EtherTalk】

Macintosh 専用のネットワークソフトウエア「AppleTalk」の通信プロトコルの一つです。

【FQDN】

Fully Qualified Domain Name の略です。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP のネットワークで、あるホストやドメインを指定する場合に、ドメイン名部分を省略しないですべて指定した記述形式のことです。

【HTTP】

インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【IPP】

HTTP を使用して印刷するためのプロトコルです。

【IP アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた4 つの数値（10 進数）で表します。

【JavaScript】

Netscape Communications 社が開発したスクリプト言語で、Web ブラウザー上で実行できます。

【NetWare】

Novell 社が開発したネットワーク OS です。

【N アップ】

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。

【OS】

コンピューターのハードウエアとソフトウエアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウエアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウエアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】

このマニュアルでは、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウエアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示するには、Adobe Acrobat Reader というソフトウエアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】

Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP 上でデータを送信できる、ネットワーク通信方法です。
Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合は、弊社の TCP/IP Direct Print Utility が必要です。Windows 2000/Windows XP の場合は、標準 TCP/IP ポートモニター上で使用できます。

【SMB】

Windows ネットワーク（Microsoft ネットワーク）上でデータを送信できるネットワーク通信方法で､Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP 上で使用できます。

【SNMP】

ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。管理する側には SNMP マネージャーというソフトウエアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウエアを組み込んで実行します。

【SNTP】

Simple Network Time Protocol の略で、時刻情報を同期させるためのプロトコルです。

【SOAP】

Simple Object Access Protocol の略で、XML や HTTP など使って、リモート環境でオブジェクトにアクセスするためのプロトコルです。

【HTTP-SSL/TLS】

SSL は Secure Socket Layer の略、TLS は Transport Layer Security の略で、データを暗号化し、HTTP で送受信するためのプロトコルです。

【TCP/IP】

DARPANET (Defense Advanced Research Project Agency NetWork) で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】

Universal Serial Busの略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の1つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピューターと周辺機器を簡単に接続できます。

【Web画面】

このマニュアルでは、Webブラウザーを使用して情報を表示する画面のことを、「Web画面」と呼びます。

【WINS】

Windows Internet Name Servicesの略で、TCP/IP環境でコンピューター名からIPアドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WWW】

World Wide Webの略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【アドレス】

ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウエア】

コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウエアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウエアが販売されています。

【印字領域】

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【インストール】

ソフトウエアやハードウエアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウエアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ネットワーク拡張カードをプリンターに組み込むことをいいます。
このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウエアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インターフェイス】

互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとプリンターの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。
インターフェイスの仕様、特に電気的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。
プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブルやUSBケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【エミュレーション】

他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【オンラインヘルプ】

コンピューターの画面に表示されるマニュアルです。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常1インチあたりのドット数（単位はdpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

【階調】

色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

【共通メニュー】

メーター確認、レポート / リスト、システム設定、ネットワーク / ポート設定、メモリー設定、初期化 / データ削除、プリント設定などから構成され、すべてのプリントモードに共通の設定をするためのメニューです。

【クリック】

マウスボタンを 1 回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。
また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。
逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【受信バッファ】

バッファとはコンピューターから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、コンピューターの解放を早くすることができます。

【初期値】

工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1 つのファイルを印刷する処理が 1 件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【双方向通信】

2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】

複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1、2、3...1、2、3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウエア】

コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウエアもソフトウエアの一種です。

【ドライブ】

ディスクを駆動する装置のことです。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ、ハードディスクドライブなどがあります。

【ネットワークパス】

ネットワーク上の目的のコンピューターやファイルまでの経路のことです。
サーバー名を指定する場合などに使用します。

【ネットワークプリンター】

このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインターフェイス】

コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の 1 つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】

書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の 1 セットを指します。

【ブラウザー】

インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウエアです。代表的なものには、Netscape Communicator や Internet Explorer などがあります。

【プリンタードライバー】

アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウエアです。

【プリントページバッファ】

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

【プロトコル】

複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウエア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】

コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】

1m^2 の用紙 1 枚の質量です。

【モードメニュー】

201H エミュレーションモード、ESC/P エミュレーションモード、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードなどで構成され、エミュレーションモードごとにその処理に固有な条件を設定するためのメニューです。

【ローカルプリンター】

このマニュアルでは、パラレルケーブルまたは USB ケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】

コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

・マニュアルの名称	DocuPrint 405/505 ユーザーズガイド	・管理番号	ME3291J1-2

・ご 芳 名		・貴 社 名	
・所属部門		・電話番号	[内線]
・所 在 地			

・ページ	・行	・内容へのご指摘 / ご要望

・富士ゼロックス記入欄		
・記事	・受付 NO.	・受付担当印

2 版

[折り込み線]

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

［送付先］

HID 開発部

マニュアルグループ　行

担当社員

事業部　　営業所　　課 G

氏名

[折り込み線]

切り取り線

・ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。

・このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守**、**操作**、**修理**のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、
  および本機を廃却する場合は、
  商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
  または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時30分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint 405/505 ユーザーズガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社　　発行年月 ― 2004年　9月　第2版
発行者 ― 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

（帳票 No:ME3291J1-2）